# 消　防　年　報

令和６年版

座間市消防本部

# 座間市市民憲章

私たち座間市民は、めぐまれた自然と、文化や伝統を誇りとし、明るい街づくりのために、全ての英知をそそぐことを誓って、この憲章を定めます。

１　清らかな空と水、緑あふれる郷土を誇りとします。

１　いのちを大切にし、健やかな日々のために、力をわかちあいます。

１　仕事を生きがいとし、活力ある街をつくります。

１　学びあい、心をみがき、豊かな文化をきずきます。

１　思いやり、はげましあい、心と心の輪をひろげます。

昭和５６年１１月１日制定

# 座間市消防安全訓

１　点検・確認が出発点

２　気をつけろ熟練した時に落とし穴

３　能力の差は小さく努力の差は大きい

# は　し　が　き

この消防統計は、令和６年（一部令和６年度）中、令和７年３月３１日及び令和７年４月１日現在における座間市の消防現勢及び消防業務に関する諸般の事項を収録し、消防事情を紹介するものです。

本書により消防の実態を御理解いただくとともに広く御活用頂ければ幸いです。

◇　この統計を作成するための資料は、消防本部の各課、消防署及び市役所関係各課の資料提供によるものです。

◇　気象概況については、消防本部屋上に設置された観測機器により測定したもので、消防・防災活動の資料とするものです。

# 目　　次


座間市の位置 …… 1
座間市の変遷 …… 2
座間市消防のあゆみ …… 3
市勢の推移 …… 31
市民と消防 …… 31
消防庁舎及び施設等状況 …… 31
消防の組織 …… 32
消防本部・署・分署全景 …… 33
消防本部・署・分署配置図 …… 34
分掌事務 …… 35

## 総務関係

消防予算 …… 38
一般会計予算と消防予算 …… 38
消防費財源内訳 …… 38
令和７年度消防費と人口の比 …… 39
消防費の推移 …… 39
消防職員 …… 40
消防職員配置状況 …… 40
消防職員階級別年齢調 …… 41
消防職員階級別勤続年数調 …… 41

## 警防関係

消防水利の状況 …… 42
消防本部・署現有車両調 …… 46
令和６年度導入車両 …… 47
消防機関の火災以外の災害出動状況 …… 48
消防機関の災害以外の出動状況 …… 48
警防資機材保有状況 …… 49
救急資器材保有状況 …… 50

## 予防関係

防火対象物状況 …… 51
中高層階別防火対象物棟数 …… 52
地域別中高層階別 …… 53
建築に関わる火災予防 …… 54
５年間の消防同意処理件数 …… 54
月別消防同意申請処理状況 …… 55
業態別消防同意申請処理状況 …… 55
危険物関係 …… 56
類別危険物施設数及び許可・完成検査・廃止届 …… 56
手数料 …… 56
タンク容量別検査実施状況 …… 56
指定数量別危険物施設数 …… 57
危険物施設届出状況 …… 57
地域別危険物施設数 …… 58
消防法・火災予防条例届出状況 …… 58
防火管理・火災予防対策等の主な事業 …… 59
防火管理者と消防計画 …… 62
査察 …… 64
火災予防査察実施状況調 …… 65
危険物施設査察実施状況 …… 67

## 通信関係

通信 …… 67
消防指令業務共同運用 …… 67
無線設備の現況 …… 68
指令台受付件数調 …… 69
気象状況 …… 71
気象特報発令回数 …… 71

## 火災関係

火災関係 …… 72
１０年間火災状況調 …… 73
火災状況（その１） …… 74
火災状況（その２） …… 75
月別火災状況調 …… 76
建物火災出火場所別調 …… 76
地域別火災発生調 …… 77
１０年間の火災発生調 …… 77
出火時間別火災状況調 …… 78
出火時間別原因調 …… 79
署所別火災状況調 …… 80

火災原因別出火件数 ……８０
火災原因別調 ……８１
建物火災用途別調 ……８１

## 救急関係

救急関係 ……８２
出動件数 ……８２
搬送人員 ……８２
海老名市、座間市及び綾瀬市応援受援状況 ……８３
月別救急事故種別調 ……８４
月別救急出動件数調 ……８５
救急事故種別出動件数調 ……８５
月別救急搬送人員 ……８６
救急事故種別搬送人員 ……８６
救急月別・傷病程度調 ……８７
署所別出動件数調 ……８７
地域別出動件数調 ……８８
時間別出動状況調 ……８９
時間別搬送人員調 ……８９
救急隊員の行った応急処置に関する調 …９０
収容時間に関する調 ……９１
傷病者年齢区分調 ……９１
自動体外式除細動器（AED）設置場所一覧 ……９２

## 救助関係

救助の体制 ……９３
５年間の救助発生状況 ……９３
救助出動状況調 ……９４
救助出動件数及び救助人員 ……９４
地域別出動件数調 ……９５

## 水防関係

水防関係 ……９６
風水害出動状況調 ……９６
水防倉庫の状況 ……９６
資機材備蓄状況 ……９６
座間市水防倉庫位置図 ……９７

## 消防団関係

消防団の組織等 ……９８
消防団員報酬調 ……９９
消防団活動状況調 ……９９
消防団員出動手当等調 ……９９
産業別消防団員調 ……９９
消防団員勤続年数調 ……１００
消防団員階級別年齢調 ……１０１
消防団車両の配置 ……１０２
消防団受持区域表 ……１０２
消防団現有車両調 ……１０３
消防団資機材保有状況 ……１０４
消防団器具置場の現況 ……１０５
消防団施設配置図 ……１０６

## 附属資料

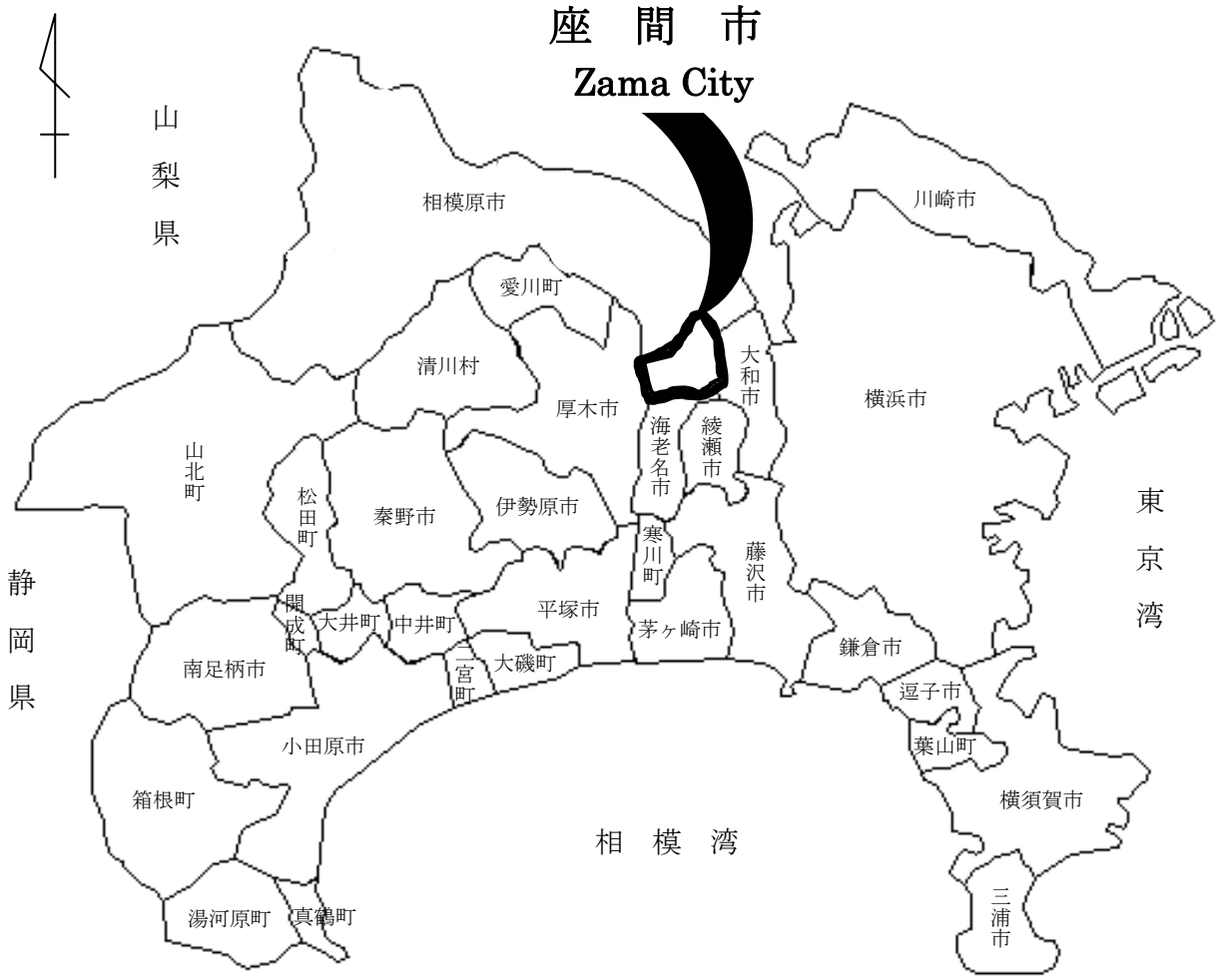
防災備蓄倉庫設置一覧 ……１０７
地震防災応急対策整備状況 ……１０８
災害用飲料水貯水槽 ……１０８
生活用水施設（プール）……１０９
広域避難場所 ……１０９
防災行政無線設備（固定系）……１１０
デジタルＭＣＡ無線設置場所 ……１１１
消防力の整備指針 ……１１２
消防水利の基準 ……１１３

# 座 間 市 の 位 置

| 方　位 | 経　度 | 地　名 | 方　位 | 緯　度 | 地　名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 極　東 | 経度 139°　26' 19″<br>緯度　35°　28' 48″ | ひばりが丘 | 極　北 | 経度 139°　25' 13″<br>緯度　35°　30' 56″ | 相 模 が 丘 |
| 極　西 | 経度 139°　22' 26″<br>緯度　35°　29' 20″ | 中　河　原 | 極　南 | 経度 139°　25' 17″<br>緯度　35°　28' 07″ | さ が み 野 |

座間市は、首都圏４０ｋｍの内側に位置し、神奈川県のほぼ中央にあり、相模平野の一角を占めている。東部は相模原台地の高台で、住宅や工業地帯が広がり、中央に座間丘陵が南北に連なり、西部は相模川に沿って低い水田地帯が広がっている。

市の面積は、１７．５７ｋｍ$^2$で東西に５．３ｋｍ、南北に４．０ｋｍの広がりをもち、東は大和市、西は相模川を隔てて厚木市に、南は海老名市、北は相模原市にそれぞれ接しています。



# 座 間 市 の 変 遷

現在の市域が形成されたのは、明治２２年（１８８９年）の市制及び町村制で、座間入谷村、座間宿村、栗原村、新田宿村、四ツ谷村の５カ村と新戸村飛地とが合併し「座間村」が誕生したときで、そのころは、米麦、養蚕を中心とした農村でした。

その後、大正から昭和初期にかけて神中線（現相模鉄道）、小田急線、相模鉄道（現ＪＲ相模線）の開通などにつれて村の様相も次第に変わり、さらに、昭和１２年（１９３７年）に陸軍士官学校が東京市ヶ谷から移転してくるとともに町制が施行され、座間町へと発展しました。

そして、昭和１６年（１９４１年）に上溝町及び近隣６村（現相模原市）とともに相模原町を構成しましたが、終戦後には町民からの分町機運が高まり、昭和２３年（１９４８年）に独立し、新生「座間町」がスタートしました。

昭和２０年（１９４５年）の終戦とともに陸軍士官学校が閉鎖され、跡地はキャンプ座間として在日米陸軍司令部が置かれ、昭和４６年（１９７１年）から陸上自衛隊が一部共同使用しながら今日に至っています。

昭和３０年代から、国のめざましい経済発展に呼応するように人口の急増など都市化が進み、昭和４６年１１月１日に県下１７番目の市として市制を施行しました。

その後、平成７年には核づくり計画に基づき市庁舎を本市の中心部に移転、平成３０年にキャンプ座間の返還跡地に新消防庁舎が完成し、令和３年には市制施行５０周年を迎え、今日に至っています。

# 座 間 市 消 防 の あ ゆ み

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 明治３２年<br>～昭和１４年 | | 消防組として部落自衛消防を自主的に組織する。 |
| 昭和１４年<br>～昭和２０年 | | 戦時中町的な組織として警防団を編成する。 |
| 昭和１６年１１月 | | 相模原８ヶ町村の合併団結により相模原町警防団の中に合併する。 |
| 昭和２３年　３月 | | 消防組織法発令とともに相模原町座間消防団として新発足１０ヶ分団編成団員６００名 |
| 昭和２３年　９月 | | 当市が相模原町から分離独立し座間町消防団となる。<br>初代消防団長<br>山田　和夫氏就任 |
| 昭和２６年　３月 | | 初代消防団長<br>山田　和夫氏退任 |
| 昭和２６年　４月 | | ２代目消防団長<br>若林　則氏就任 |
| 昭和２９年　３月 | | 日本消防協会から竿頭綬授与 |
| 昭和３０年　３月 | | ２代目消防団長<br>若林　則氏退任 |
| 昭和３０年　４月 | | ３代目消防団長<br>瀬戸　俊孝氏就任 |
| 昭和３６年　３月 | | ３代目消防団長<br>瀬戸　俊孝氏退任 |
| 昭和３６年　４月 | | ４代目消防団長<br>長谷川　秀太郎氏就任 |
| 昭和３７年　９月 | | 第１２回神奈川県消防操法大会において優秀賞を獲得 |
| 昭和３８年１２月 | 消防本部分団結成、役場職員２０名で消防団常備部として発足、昼夜出動体制をとる。小型動力ポンプ付積載車１台配備、庶務課消防係担当 | 消防団１０ヶ分団を５ヶ分団に統合団員６００名を３４５名に減員 |
| 昭和４０年　４月 | 消防常備体制準備のため職員１名採用 | |
| 昭和４０年　７月 | 職員１名採用 | |
| 昭和４１年　４月 | 消防課設置消防士５名役場職員から転属。課長１名、係長１名、消防士５名、事務員１名（女性職員）計８名とし、同時に本部分団１０名減員、消防団から本部要員３０名を指名消防士に援助させる。<br>小型動力ポンプ付積載車１台配備 | 消防団員を３１４名に減員 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和４１年　７月 | 消防士７名採用、実員１５名となる。<br>救急車１台配備<br>小型動力ポンプ付積載車１台配備<br>６名あて隔日勤務に入る。<br>本部分団解散 | |
| 昭和４１年　８月 | 消防士２名採用、実員１７名となる。 | |
| 昭和４１年１０月 | 消防ポンプ自動車１台購入配備、積載車は消防団に配備 | |
| 昭和４２年　２月 | | 日本消防協会から消防団表彰旗授与される。 |
| 昭和４２年　４月 | 消防本部設置（非指定）初代消防長に稲垣　功氏就任（兼任）新たに消防士４名採用、実員２２名となる。<br>町長部局へ１名出向、町長部局から２名出向 | 消防団員を２７０名に減員 |
| 昭和４２年　５月 | 消防指令車１台購入配備、超短波無線電話機基地局１局、車載用２局購入 | |
| 昭和４２年１０月 | 消防署設置（非指定）危険物関係事務県防災消防課より引継ぎ規制事務を開始する。危険物施設（１５５）<br>消防士１名退職、実員２１名となる。 | |
| 昭和４３年　１月 | 初代消防長　　稲垣　功氏退任<br>２代目消防長　片野　敏氏就任 | |
| 昭和４３年　２月 | 消防士３名採用、実員２４名となる。 | |
| 昭和４３年　４月 | 消防士２名採用、町長部局へ１名出向、実員２５名となる。<br>超短波無線電話機携帯局１局購入<br>気象観測計器購入配備 | 消防団員を２４６名に減員 |
| 昭和４３年　６月 | 消防士１名採用、実員２６名となる。 | |
| 昭和４３年　８月 | 消防士１名採用、実員２７名となる。<br>政令指定され昭和４４年４月１日より施行と決定する。 | |
| 昭和４３年　９月 | 超短波無線電話機携帯局２局購入 | 消防ポンプ自動車新規購入第２分団に配備（更新） |
| 昭和４３年１２月 | 消防士２名採用、実員２９名となる。 | |
| 昭和４４年　１月 | 町長部局へ１名異動、町長部局から１名出向、実員２９名<br>超短波無線電話機携帯局１局購入 | |
| 昭和４４年　２月 | 消防士１名採用、実員３０名となる。 | |
| 昭和４４年　３月 | | ４代目消防団長<br>長谷川　秀太郎氏退任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和４４年　４月 | 政令指定適用される。消防士１名採用、実員３１名となる。水槽付消防ポンプ自動車１台配備（本署） | 消防団員を２３１名に減員<br>５代目消防団長<br>本多　佳治氏就任 |
| 昭和４４年　８月 | 消防士４名採用、町長部局へ１名出向、実員３４名となる。 | |
| 昭和４５年　３月 | 救急車１台購入配備 | |
| 昭和４５年　４月 | 条例定数　３４名となる。<br>消防士１名採用、町長部局へ１名出向、実員３４名。 | 消防団員を２１５名に減員 |
| 昭和４５年　８月 | 消防士１名採用、実員３５名となる。 | |
| 昭和４５年１１月 | | 小型動力ポンプ付積載車１台購入配備（更新） |
| 昭和４５年１２月 | 消防庁舎落成、鉄筋コンクリート造り２階建、延面積６４３．５㎡、町長部局から１名出向、実員３６名となる。 | |
| 昭和４６年　１月 | 町長部局から２名出向（女性職員）、実員３８名となる。 | |
| 昭和４６年　３月 | ２代目消防長　片野　敏氏退任<br>消防士１名採用、実員３９名となる。 | |
| 昭和４６年　４月 | ３代目消防長　金子　四郎氏就任<br>条例定数　３９名となる。<br>消防士１名採用、実員４０名となる。 | |
| 昭和４６年　５月 | 消防士２名採用、実員４２名となる。 | |
| 昭和４６年　６月 | 指令車１台廃車 | |
| 昭和４６年　７月 | 消防士１名採用、２名退職、実員４１名となる。 | |
| 昭和４６年　８月 | 指令車１台購入配備 | 小型動力ポンプ付積載車２台購入配備（更新） |
| 昭和４６年　９月 | 消防士１名採用、実員４２名となる。 | |
| 昭和４６年１０月 | 消防士１名採用、１名退職、実員４２名となる。 | 小型動力ポンプ付積載車１台購入配備（更新） |
| 昭和４６年１２月 | 訓練塔竣工 | |
| 昭和４７年　１月 | 消防士１名採用、実員４３名となる。 | |
| 昭和４７年　４月 | 条例定数　４１名となる。<br>消防士４名採用、実員４７名となる。 | |
| 昭和４７年　８月 | | 第３分団第５部新設、小型動力ポンプ付積載車１台配備<br>消防団員を２２４名に増員<br>第２２回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和４７年　９月 | ３代目消防長　金子　四郎氏退任 | |
| 昭和４７年１０月 | ４代目消防長　稲垣　功氏就任 | |
| 昭和４７年１１月 | 超短波無線電話機を郵政省令の改正に基づき挟帯化に切替える基地局１局、車載用５局、携帯用７局 | |
| 昭和４８年　４月 | 条例定数　４７名となる。<br>消防士４名採用、市長部局へ１名出向、実員５０名となる。 | 消防団員を２２３名に減員 |
| 昭和４８年　８月 | | 第２３回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 昭和４８年　９月 | | 第２分団第３部・小型動力ポンプ付積載車１台配備（更新） |
| 昭和４８年１０月 | | 第１分団第３部・小型動力ポンプ付積載車１台配備（更新） |
| 昭和４９年　１月 | | 第３分団第４部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 昭和４９年　４月 | 条例定数　５２名となる。 | |
| 昭和４９年　７月 | 消防士１名採用、実員５１名となる。 | |
| 昭和４９年　８月 | 救急車１台購入配備、超短波無線電話機車載用１局購入　　計６局 | 第２４回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 昭和４９年１１月 | 消防士１名採用、実員５２名となる。 | |
| 昭和４９年１２月 | | 第４分団第１部・小型動力ポンプ付積載車に替え、消防ポンプ自動車配備<br>第２分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新）<br>第２分団第２部・器具置場新設 |
| 昭和５０年　２月 | 携帯局１局購入　計８局 | |
| 昭和５０年　８月 | | 第２５回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 昭和５０年　９月 | 消防士１名退職、実員５１名となる。 | 第１分団第１部・小型動力ポンプ付積載車に替え、消防ポンプ自動車配備 |
| 昭和５０年１０月 | 相模原市と１１９番転送装置取扱協定書締結 | |
| 昭和５１年　３月 | 指揮車１台購入配備（消防署）<br>業務連絡車１台購入配備（消防本部） | 第２分団第３部・第３分団第１部・第３分団第５部・第４分団第２部待機室建設 |
| 昭和５１年　７月 | 市長部局から３名出向、実員５４名となる。 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和５１年　８月 | | 第２６回神奈川県消防操法大会において最優秀賞獲得 |
| 昭和５１年１０月 | 消防士３名採用、実員５７名となる。 | |
| 昭和５１年１１月 | はしご付消防ポンプ自動車１台購入配備（消防署） | |
| 昭和５１年１２月 | 市長部局から出向の職員１名退職、実員５６名となる。消防ポンプ自動車１台購入配備（消防署）　超短波無線電話機車載用１局購入　計７局 | 第２分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（新規） |
| 昭和５２年　２月 | 査察車１台購入配備（消防本部）<br>超短波無線電話機携帯用２局購入<br>計１０局 | |
| 昭和５２年　４月 | 条例定数　６５名となる。 | |
| 昭和５２年　５月 | 市長部局から１名出向、実員５７名となる。 | |
| 昭和５２年　８月 | | 第２７回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 昭和５２年１０月 | 消防士７名採用、実員６４名となる。<br>超短波無線電話機車載用１局購入<br>計８局 | 第５分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和５３年　２月 | 救急自動車１台配備（消防署） | 第１分団第２部、第１分団第３部車庫・待機室改築<br>第２分団第１部待機室新築<br>第４分団第３部車庫・待機室新築 |
| 昭和５３年　３月 | | 第５分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 昭和５３年　４月 | 条例定数　７７名となる。<br>消防士７名採用、実員７１名となる。 | |
| 昭和５３年　７月 | ４代目消防長　稲垣　功氏退任<br>５代目消防長　金子　四郎氏就任 | |
| 昭和５３年　８月 | 第８回全国消防救助技術大会はしご登はんに出場 | 第２８回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 昭和５３年１０月 | 消防士５名採用、実員７６名となる。<br>機構改革により危険物係（新設） | |
| 昭和５３年１２月 | 東分署開署に伴い化学消防ポンプ自動車１台購入配備 | |
| 昭和５４年　１月 | 消防士１名採用、１名退職、実員７６名となる。 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和５４年　２月 | 東分署開署に伴い広報車１台購入配備、超短波無線電話機携帯用４局購入<br>計１４局 | 第３分団第１部・小型動力ポンプ付積載車に替え消防ポンプ自動車配備<br>第１分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和５４年　３月 | 超短波無線電話機車載用１局購入<br>計９局 | ５代目消防団長<br>本多　佳治氏退任 |
| 昭和５４年　４月 | 条例定数　８４名となる。<br>消防士８名採用、実員８４名となる。<br>東分署開設（鉄筋コンクリート造、床面積３８０．４５㎡） | ６代目消防団長<br>谷田　要氏就任 |
| 昭和５４年　８月 | | 第２９回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 昭和５４年　９月 | 水槽付消防ポンプ自動車１台配備（本署） | |
| 昭和５４年１０月 | 東分署救急業務開始に伴い救急車１台配備、機構改革により、消防本部に総務課（庶務係、企画係）予防課（審査係､指導係）を新設、消防署に管理室を設け、当直隊に主幹を置く。 | 第４分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和５４年１１月 | 超短波無線電話機携帯用２局購入<br>計１６局 | |
| 昭和５４年１２月 | ５代目消防長　金子　四郎氏退任<br>６代目消防長　稲垣　要氏就任<br>消防ポンプ自動車１台配備（本署）<br>超短波無線電話機車載用３局購入<br>計１２局 | 第３分団第３部・小型動力ポンプ付積載車に替え消防ポンプ自動車配備 |
| 昭和５５年　３月 | 本部庁舎増築（鉄骨造延床面積２２７．７㎡）電話交換機購入設置 | |
| 昭和５５年　４月 | 消防士６名採用、実員９０名となる。 | |
| 昭和５５年　６月 | | 第４分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和５５年　８月 | | 第３０回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 昭和５５年１０月 | 超短波無線電話機車載用４局購入<br>計１６局 | |
| 昭和５５年１２月 | 指令車購入　超短波無線電話機携帯用１局廃止､計１５局　広報車１台購入、消防本部に配備 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和５６年　４月 | 条例定数　９０名となる。<br>市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、消防士４名採用、実員９４名となる。 | |
| 昭和５６年　８月 | | 第３１回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 昭和５６年１０月 | ６代目消防長　稲垣　要氏退任<br>７代目消防長　大矢　勉氏就任<br>消防士３名採用、実員９７名となる。<br>超短波電話無線機車載用３局購入、計１９局、消防ポンプ自動車１台購入配備（東分署）、広報車１台購入配備（消防本部） | 第４分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和５７年　１月 | | 第４分団第１部車庫・待機室新築<br>車載用受令機１６台配備 |
| 昭和５７年　４月 | 条例定数　９７名となる。<br>市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、消防士４名採用、実員１０１名となる。 | |
| 昭和５７年　８月 | ７代目消防長　大矢　勉氏退任<br>８代目消防長　吉山　武治氏就任<br>第１１回全国消防救助技術大会ほふく救出に出場 | 第３２回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 昭和５７年１２月 | | 第３分団第２部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 昭和５８年　２月 | 超短波無線電話機車載用２局更新 | |
| 昭和５８年　３月 | | 第１分団第１部車庫・待機室新築<br>日本消防協会から竿頭綬授与<br>６代目消防団長<br>谷田　要氏退任 |
| 昭和５８年　４月 | 条例定数　１０１名となる。<br>消防士３名採用、実員１０４名となる。 | ７代目消防団長<br>中村　知司氏就任 |
| 昭和５８年　８月 | | 第２分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新）<br>第３３回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和５８年１０月 | 機構改革により消防本部総務課に防災係を置く。市長部局から３名出向、消防士３名採用、実員１１０名となる。<br>救急車１台配備（消防署）、防災車１台配備（消防本部） | |
| 昭和５８年１１月 | 北分署開署に伴い、広報車１台、消防ポンプ自動車１台購入配備<br>超短波無線電話機車載用２局購入<br>計２１局、超短波無線電話機携帯用３局購入　計１８局 | |
| 昭和５８年１２月 | ８代目消防長　　吉山　武治氏退任<br>消防長事務取扱　中村　孟氏就任 | |
| 昭和５９年　１月 | 消防長事務取扱　中村　孟氏退任<br>９代目消防長　　大矢　勉氏就任<br>市長部局へ１名出向、実員１０９名となる。 | |
| 昭和５９年　４月 | 条例定数　１０７名となる。<br>消防士２名採用、市長部局へ２名出向、市長部局から２名出向、実員１１１名となる。北分署開署（鉄筋コンクリート造、床面積４４８．７８７㎡） | |
| 昭和５９年　８月 | | 第３４回神奈川県消防操法大会において最優秀賞獲得 |
| 昭和５９年　９月 | | 第３分団第５部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和５９年１０月 | 北分署救急業務開始（救急車１台配備） | |
| 昭和５９年１２月 | 超短波無線電話機車載用１局、可搬用２局購入、車載用１局更新　計２４局 | |
| 昭和６０年　２月 | 消防士長１名退職、実員１１０名となる。 | |
| 昭和６０年　３月 | 救急指令装置Ｂ型配備、超短波無線電話機車載用１局購入、車載用２局更新計２５局<br>事務吏員１名、消防士１名退職、実員１０８名となる。 | 第２分団第１部車庫新築<br>７代目消防団長<br>中村　知司氏退任 |
| 昭和６０年　４月 | 条例定数　１１２名となる。<br>市長部局へ２名出向、市長部局から２名出向、実員１０８名となる。<br>消防テレホンサービス開始<br>℡０４６２（５１）０１１９ | ８代目消防団長<br>森田　源養氏就任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和６０年　９月 | | 第１分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新）<br>座間市消防団消防操法合同訓練会 |
| 昭和６０年１０年 | 消防士３名採用、市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、実員１１１名となる。<br>超短波無線電話機車載用１局廃止<br>計２４局 | |
| 昭和６１年　３月 | 消防庁長官から竿頭綬授与される。<br>（消防本部、消防団） | 第５分団第２部車庫・待機室新築 |
| 昭和６１年　４月 | 市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、消防士１名退職、実員１１０名となる。 | |
| 昭和６１年　７月 | 救急自動車１台更新（寄贈） | |
| 昭和６１年　８月 | | 第３５回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 昭和６１年１０月 | 消防士１名採用、実員１１１名となる。 | |
| 昭和６１年１１月 | | 第２分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和６２年　１月 | 消防ポンプ自動車１台更新 | |
| 昭和６２年　４月 | 条例定数　１１５名となる。<br>市長部局へ２名出向、市長部局から２名出向、消防士３名採用、実員１１４名となる。 | |
| 昭和６２年　９月 | | 第１回座間市消防団消防操法大会 |
| 昭和６２年１０月 | 指揮車１台更新 | |
| 昭和６２年１２月 | 救助工作車Ⅱ型１台購入配備、広報車１台更新、超短波無線電話機車載用１局購入　計２５局、超短波無線電話機携帯用２局購入３局更新　計２０局 | 第２分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和６３年　２月 | | 第２分団第３部車庫・待機室新築 |
| 昭和６３年　３月 | 消防司令補１名退職、実員１１３名となる。 | |
| 昭和６３年　４月 | 条例定数　１１７名となる。<br>消防士２名採用、市長部局へ２名出向、市長部局から２名出向、実員１１５名となる。 | |
| 昭和６３年　７月 | 査察車１台更新 | |
| 昭和６３年　８月 | | 第３６回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 昭和６３年　９月 | | 第５分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 昭和６３年１１月 | 超短波無線電話機車載用１局更新　計２５局、携帯用４局更新　計２０局<br>消防士１名退職、実員１１４名となる。 | |
| 平成　元年　２月 | 消防士１名退職、実員１１３名となる。<br>危険物屋内貯蔵所新築 | |
| 平成　元年　３月 | ９代目消防長　大矢　勉氏退任<br>消防無線用パンザマスト設置 | ８代目消防団長<br>森田　源養氏退任<br>第３分団第５部車庫・待機室新築 |
| 平成　元年　４月 | １０代目消防長　森田　実氏就任<br>条例定数　１１８名となる。<br>消防士４名採用、市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、実員１１７名となる。 | ９代目消防団長<br>鈴木　茂氏就任 |
| 平成　元年　７月 | 市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、実員１１７名となる。 | |
| 平成　元年　９月 | 救急自動車１台更新 | 第２回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成　元年１１月 | 水槽付消防ポンプ自動車１台更新<br>超短波無線電話機車載用２局更新<br>計２５局、携帯用２局更新　計２０局 | |
| 平成　２年　３月 | | 第３分団第４部・消防ポンプ自動車配備（更新）<br>第５分団第１部車庫・待機室新築 |
| 平成　２年　４月 | 条例定数　１２０名となる。<br>消防士３名採用、市長部局へ１名併任出向、市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向、実員１２０名となる。 | |
| 平成　２年　５月 | 相模川において水難救助活動中職員１名が殉職、実員１１９名となる。<br>化学消防ポンプ自動車１台更新（寄贈） | |
| 平成　２年　７月 | 指令車１台更新<br>広報車１台更新<br>資機材搬送車１台更新<br>超短波無線電話機車載用２局購入<br>計２７局、携帯用２局更新　計２０局 | 第３７回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成　２年　９月 | 救急車１台更新（寄贈） | |
| 平成　２年１０月 | | 第４分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成　３年　３月 | 消防庁舎増築、はしご車車庫移転<br>機構改革により消防署に第１警備課・第２警備課を新設する。 | 第３分団第１部車庫・待機室新築 |
| 平成　３年　４月 | 条例定数　１２３名となる。<br>消防士６名採用、市長部局へ３名出向、市長部局から１名出向、実員１２３名となる。 | |
| 平成　３年　８月 | 座間市立野台地区女性消防隊発足 | 第３回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成　３年　９月 | 広報車１台更新（東分署）<br>超短波無線電話機車載用１局購入　計２８局、携帯用２局購入　計２２局 | 第１分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成　３年１０月 | １５ｍ級はしご付消防ポンプ自動車１台購入配備 | |
| 平成　３年１１月 | | 第１分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新）<br>元消防団長　森田　源養氏勲６等瑞宝章を授与される。 |
| 平成　３年１２月 | 消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ｉ型）１台更新 | |
| 平成　４年　３月 | 消防司令１名退職、実員１２２名となる。 | 第３分団第３部車庫・待機室新築<br>消防団長　鈴木　茂氏消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。 |
| 平成　４年　４月 | 条例定数　１２７名となる。<br>消防士６名採用、市長部局から１名併任出向を解かれる。市長部局へ１名併任出向、市長部局へ１名出向、実員１２７名となる。次長制度導入 | |
| 平成　４年　５月 | 消防士１名退職、実員１２６名となる。 | |
| 平成　４年　７月 | 広報車１台更新（企画係）<br>防災広報車１台更新 | 第３８回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成　４年　８月 | 第２１回全国消防救助技術大会はしご登はんに出場 | 第４分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成　４年　９月 | 超短波無線電話機車載用１局更新　計２８局、携帯用２局更新　計２２局<br>救急車１台更新<br>自動車電話機１機購入 | 第５分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成　４年１２月 | | 第３分団第２部車庫・待機室新築 |
| 平成　５年　３月 | １０代目消防長　森田　実氏退任<br>実員１２５名となる。 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成　５年　４月 | １１代目消防長　山田　正明氏就任<br>条例定数　１３５名となる。<br>消防士１０名採用、市長部局から１名併任出向を解かれる。<br>市長部局へ３名出向、市長部局から３名出向、実員１３５名となる。 | |
| 平成　５年　７月 | 超短波無線電話機車載用１局更新　計２８局、携帯用３局更新　計２２局 | |
| 平成　５年　８月 | | 第４回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成　５年１１月 | | 第４分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（日本消防協会寄贈） |
| 平成　６年　３月 | | 第３分団第４部車庫・待機室新築 |
| 平成　６年　４月 | 条例定数　１３７名となる。<br>消防士３名採用、市長部局へ１名併任出向、市長部局へ２名出向、市長部局から１名出向、実員１３７名となる。 | |
| 平成　６年　７月 | | 第３９回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 平成　６年　９月 | 超短波無線電話機車載用１局更新　計２８局、携帯用１局更新　計２２局 | |
| 平成　６年１１月 | 救急救命士１名養成（計１名） | |
| 平成　６年１２月 | | 第３分団第１部・第３部消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成　７年　１月 | 兵庫県南部地震災害に救助応援隊派遣<br>救急自動車１台配備（寄贈） | |
| 平成　７年　３月 | 兵庫県南部地震災害応援隊派遣により神奈川県知事から感謝状を授与される。<br>高規格救急自動車１台配備（寄贈） | |
| 平成　７年　４月 | 条例定数　１４０名となる。<br>消防士３名採用、実員１４０名となる。 | 元消防団長　本多　佳治氏勲５等瑞宝章を授与される。 |
| 平成　７年　５月 | 消防庁長官から阪神淡路大震災の応援活動に対し感謝状を授与される。 | |
| 平成　７年　８月 | 第２４回全国消防救助技術大会ロープ応用登はんに出場 | 第５回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成　７年１１月 | 救急救命士２名養成（計３名） | 元消防団長　谷田　要氏勲６等瑞宝章を授与される。 |
| 平成　８年　３月 | 消防庁長官から消防庁長官表彰旗を授与される。 | ９代目消防団長<br>鈴木　茂氏退任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成　８年　４月 | 市長部局から１名併任出向を解かれる。市長部局へ１名出向、市長部局から１名出向<br>条例定数　１４３名となる。<br>消防士３名採用、実員１４３名となる。 | １０代目消防団長<br>中村　壽志氏就任 |
| 平成　８年　６月 | | 第４分団第２部車庫・待機室新築 |
| 平成　８年　７月 | | 第４０回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成　８年　９月 | 超短波無線電話機携帯用３局更新<br>計２２局　車載用計２８局 | |
| 平成　８年１０月 | 消防士１名退職、実員１４２名となる。 | |
| 平成　８年１２月 | 救急救命士２名養成（計５名） | 第３分団第２部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成　９年　２月 | ３８ｍ級はしご付消防自動車１台更新（消防署）<br>消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）１台更新（東分署）<br>超短波無線電話機車載用１局更新<br>計２８局、携帯用計２２局 | |
| 平成　９年　３月 | １１代目消防長　山田　正明氏退任<br>超短波無線電話機車載用１局更新<br>計２８局、携帯用計２２局 | |
| 平成　９年　４月 | １２代目消防長　入部　昇氏就任<br>市長部局から１名出向、市長部局へ２名出向<br>条例定数　１４６名となる。<br>消防士５名採用、実員１４５名となる。 | |
| 平成　９年　７月 | | 第６回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成　９年１１月 | 指揮車１台更新<br>救急救命士１名養成（計６名） | |
| 平成　９年１２月 | 高規格救急自動車１台更新<br>広報車１台更新（庶務係）<br>超短波無線電話機携帯用４局更新 | 第２分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成１０年　３月 | 消防司令長１名退職<br>立野台消防施設等（女性消防隊車庫・待機室及び防災備蓄倉庫）新築<br>女性消防隊小型動力ポンプ付積載車１台配備<br>超短波無線電話機車載用１局更新 | １０代目消防団長<br>中村　壽志氏退任 |
| 平成１０年　４月 | 市長部局から１名出向、市長部局へ１名出向<br>条例定数　１４７名となる。<br>消防士３名採用、実員１４７名となる。 | １１代目消防団長<br>坂本　文彦氏就任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成１０年　６月 | 救急救命士１名養成（計７名） | |
| 平成１０年　７月 | | 第４１回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 平成１０年　８月 | 第２７回全国消防救助技術大会ロープ応用登はん・ほふく救出に出場 | |
| 平成１０年１０月 | 超短波無線電話機携帯用４局更新 | |
| 平成１０年１１月 | 超短波無線電話機車載用２局更新 | 第３分団第５部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成１０年１２月 | 救急救命士１名養成（計８名） | |
| 平成１１年　２月 | 消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）１台更新（北分署） | |
| 平成１１年　３月 | 消防本部庁舎耐震補強工事 | |
| 平成１１年　４月 | 機構改革により市長部局に総務部防災課を置く。<br>条例定数　１４６名となる。<br>市長部局へ３名併任出向、市長部局へ１名出向、実員１４６名となる。 | |
| 平成１１年　７月 | | 第７回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成１１年　８月 | 第２８回全国消防救助技術大会斜めブリッジ救助に出場 | |
| 平成１１年　９月 | 広報車１台更新（審査係） | |
| 平成１１年１１月 | 超短波無線電話機携帯用２局購入<br>計２４局 | |
| 平成１２年　２月 | | 第１分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成１２年　３月 | １２代目消防長　入部　昇氏退任<br>消防司令長　１名退職 | １１代目消防団長<br>坂本　文彦氏退任 |
| 平成１２年　４月 | １３代目消防長　香取　利光氏就任<br>市長部局へ２名出向（１名併任）、市長部局から１名出向<br>市長部局から１名併任出向解かれる。<br>条例定数　１４７名となる。<br>消防士３名採用、実員１４７名となる。 | １２代目消防団長<br>本多　英雄氏就任 |
| 平成１２年　５月 | 救急救命士１名養成（計９名） | |
| 平成１２年　７月 | | 第４２回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成１２年　８月 | 資機材搬送車１台更新（消防署） | |
| 平成１２年　９月 | 超短波無線電話機車載用２局、携帯用２局更新 | |
| 平成１２年１１月 | 救急救命士１名養成（計１０名） | 第２分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成１３年　１月 | 緊急消防援助隊、消火部隊１隊登録 | |
| 平成１３年　２月 | | 第２分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成１３年　３月 | 消防司令長　１名退職 | |
| 平成１３年　４月 | 市長部局へ１名併任出向<br>市長部局から１名併任出向解かれる。<br>条例定数　１４９名となる。<br>消防士３名採用、実員１４９名となる。 | |
| 平成１３年　５月 | 消防司令補　１名退職 | |
| 平成１３年　７月 | 査察車１台更新（指導係） | 第８回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成１３年　８月 | 指令車１台更新 | |
| 平成１３年１１月 | 超短波無線電話機可搬式２局、携帯用４局更新<br>救急救命士１名養成（計１１名） | |
| 平成１３年１２月 | 新通信指令装置運用開始 | |
| 平成１４年　２月 | 高規格救急自動車１台更新<br>消防ポンプ自動車（ＣＤ－１型）１台更新（消防署） | |
| 平成１４年　３月 | １３代目消防長　香取　利光氏退任<br>消防司令長　１名退職 | １２代目消防団長<br>本多　英雄氏退任 |
| 平成１４年　４月 | １４代目消防長　石井　康正氏就任<br>市長部局へ２名出向（１名併任）<br>消防士３名採用、実員１４８名となる。 | １３代目消防団長<br>澤田　善光氏就任 |
| 平成１４年　７月 | | 第４３回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得<br>平成１４年度、神奈川県・座間市・相模原市水防演習（相模原市新戸地先） |
| 平成１４年１０月 | 災害救助資機材搬送車１台購入配備 | |
| 平成１４年１１月 | 超短波無線電話機車載用１局、携帯用３局更新<br>救急救命士１名養成（計１２名） | |
| 平成１５年　２月 | 救助工作車（Ⅱ型）１台更新（本署） | 第５分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成１５年　３月 | 水槽付消防ポンプ自動車１台更新<br>消防司令長　２名退職<br>超短波無線電話機車載用１局更新 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成１５年　４月 | 市長部局へ１名併任出向<br>市長部局から１名併任出向を解かれる。<br>消防士２名採用、実員１４８名となる。 | |
| 平成１５年　７月 | 広報車１台更新（東分署）<br>超短波無線電話機車載用１局<br>携帯用３局更新 | 第９回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成１５年　８月 | 広報車１台更新（企画係）<br>消防司令　　１名退職 | |
| 平成１５年１１月 | 救急救命士１名養成（計１３名） | |
| 平成１５年１２月 | 高規格救急自動車１台更新（東分署）<br>消防司令　　１名退職 | |
| 平成１６年　３月 | 消防司令長　１名退職<br>消防司令　　３名退職<br>１４代目消防長　石井　康正氏退任 | １３代目消防団長<br>澤田　善光氏退任 |
| 平成１６年　４月 | １５代目消防長　増井　京市氏就任<br>消防士５名採用、実員１４６名となる。<br>市長部局から１名併任出向を解かれる。 | １４代目消防団長<br>片野　光司氏就任 |
| 平成１６年　７月 | | 第４４回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成１６年　８月 | 第３３回全国消防救助技術大会ロープ応用登はん出場 | |
| 平成１６年１０月 | 新潟県中越地震災害に緊急消防援助隊として余震警戒活動派遣及び救援物資搬送<br>超短波無線電話機車載用２局<br>携帯用４局更新 | |
| 平成１６年１２月 | 消防庁長官から新潟県中越地震における緊急援助隊の応援活動に対し褒状を授与される。 | |
| 平成１７年　１月 | | 第３分団第４部及び第４分団第１部、消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成１７年　２月 | 超短波無線電話機車載用１局更新 | （公財）日本消防協会から竿頭綬が授与される。 |
| 平成１７年　３月 | 消防司令長　１名退職 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成１７年　４月 | ４月１日をもって新機構改革施行<br>市長部局へ１名併任出向<br>市長部局から１名併任出向を解かれる。<br>消防士２名採用、実員１４７名となる。 | |
| 平成１７年　５月 | 救急救命士１名養成（計１４名） | |
| 平成１７年　７月 | | 第１０回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成１７年　９月 | 消防司令補　１名退職 | |
| 平成１７年１２月 | 超短波無線電話機車載用３局<br>携帯用６局更新 | 第１分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成１８年　２月 | 高規格救急自動車１台更新（北分署） | |
| 平成１８年　３月 | 消防司令長　１名退職 | １４代目消防団長<br>片野　光司氏退任 |
| 平成１８年　４月 | 緊急消防援助隊、救急部隊１隊登録<br>消防士３名採用、実員１４８名となる。<br>１１代目消防長消防監　山田　正明氏叙勲（瑞宝双光章）を授与される。 | １５代目消防団長<br>鈴野　俊夫氏就任 |
| 平成１８年　５月 | 救急救命士１名養成（計１５名） | |
| 平成１８年　７月 | | 第４５回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成１８年　８月 | 第３５回全国消防救助技術大会ほふく救出に出場 | |
| 平成１８年１１月 | | 第１分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成１８年１２月 | 消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）１台更新（北分署）<br>超短波無線電話機車載用４局<br>携帯用１局更新 | |
| 平成１９年　３月 | １５代目消防長　増井　京市氏退任<br>消防司令長　３名退職<br>消防司令　　１名退職<br>消防士　　１名退職<br>元消防司令長　大矢　武史氏<br>叙勲（瑞宝単光章）を授与される。 | |
| 平成１９年　４月 | １６代目消防長　髙橋　富夫氏就任<br>消防士５名採用、実員１４７名となる。<br>市長部局へ１名併任出向<br>市長部局から１名併任出向解かれる。 | 元消防団長　鈴木　茂氏瑞宝単光章を授与される。 |
| 平成１９年　５月 | 救急救命士１名養成（計１６名） | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成１９年　７月 | | 第１１回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成１９年　８月 | 第３６回全国消防救助技術大会<br>ロープ応用登はんに出場 | |
| 平成１９年　９月 | | 第４分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成２０年　１月 | 超短波無線電話機車載用１局<br>携帯用２局更新 | |
| 平成２０年　３月 | 消防司令長　３名退職 | |
| 平成２０年　４月 | 消防士４名採用、実員１４８名となる。 | |
| 平成２０年　５月 | 救急救命士２名養成（計１８名） | |
| 平成２０年　７月 | | 第４６回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成２０年１０月 | 消防無線基地局整備（市波・救急波を市役所に増設） | |
| 平成２０年１１月 | | 第４分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成２１年　１月 | 超短波無線電話機車載用１局<br>携帯用２局更新 | |
| 平成２１年　３月 | 高規格救急自動車１台更新（本署）<br>１６代目消防長　髙橋　富夫氏退任<br>消防司令長　１名退職<br>消防司令　　１名退職 | （財）神奈川県消防協会から竿頭綬が授与される。 |
| 平成２１年　４月 | １７代目消防長　林　正純氏就任<br>消防士３名採用、実員１４８名となる。<br>市長部局へ１名併任出向<br>市長部局から１名併任出向解かれる。 | |
| 平成２１年　５月 | 救急救命士１名養成（計１９名） | |
| 平成２１年　７月 | 会議室１棟新築５０．７８㎡（リース） | 第１２回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成２２年　１月 | 高規格救急自動車１台更新（東分署） | |
| 平成２２年　２月 | 広報車１台更新（本署）<br>指揮車１台更新（本署）<br>超短波無線電話機車載用１局<br>携帯用２局更新 | |
| 平成２２年　３月 | 消防相互援助協約締結（改訂）<br>座間市及び在日米陸軍 | １５代目消防団長<br>鈴野　俊夫氏退任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成２２年　４月 | １２代目消防長　入部　昇氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>市長部局から１名併任出向解かれる。 | １６代目消防団長<br>川島　健三氏就任 |
| 平成２２年　５月 | 救急救命士１名養成（計２０名） | 平成２２年度水防演習 |
| 平成２２年　７月 | 第３９回全国消防救助技術大会ロープ応用登はんに出場 | 第４７回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 平成２２年１１月 | １３代目消防長　香取　利光氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>超短波無線電話機携帯用４局更新 | |
| 平成２３年　３月 | 消防司令長　４名退職<br>消防司令　　１名退職<br>消防司令補　１名退職<br>東日本大震災に伴い、緊急消防援助隊として宮城県に消火部隊、福島県に救急部隊を派遣<br>はしご付消防ポンプ自動車（１５ｍ級）１台更新（本署） | 第５分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成２３年　４月 | １４代目消防長　石井　康正氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>元消防司令長　椎野　悟氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。<br>消防士４名採用（救急救命士３名含む)、実員１４６名となる。<br>再任用制度により、３名を再任用する。<br>市長部局から１名併任出向解かれる。 | |
| 平成２３年　５月 | 救急救命士１名養成（計２４名） | |
| 平成２３年　７月 | 通信指令装置運用機器更新 | 第１３回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成２３年１１月 | 元消防司令長　大木　紀一氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。 | |
| 平成２３年１２月 | 海老名市、座間市及び綾瀬市消防通信指令事務協議会を設置する。 | |
| 平成２４年　２月 | 消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）１台更新（東分署） | |
| 平成２４年　３月 | 消防司令長　２名退職<br>消防司令　　２名退職<br>再任用職員　１名退職 | １６代目消防団長<br>川島　健三氏退任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成２４年　４月 | 消防士６名採用（女性救急救命士１名含む)、実員１４８名となる。<br>再任用制度により、１名を再任用する。<br>消防司令補　１名退職<br>消防士　　１名退職<br>実員１４６名となる。<br>元消防司令長　田中　敏夫氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。 | １７代目消防団長<br>田中　賢一氏就任 |
| 平成２４年　５月 | 救急救命士１名養成（計２６名） | |
| 平成２４年　７月 | | 第４８回神奈川県消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成２４年　８月 | 第４１回全国消防救助技術大会はしご登はんに出場 | |
| 平成２４年１０月 | 消防署北分署改築工事<br>消防司令　２名退職（１名救命士）<br>実員１４４名となる。 | 第３分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成２４年１１月 | 元消防司令長　大塚　賢次氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。 | |
| 平成２５年　３月 | 消防司令長　２名退職<br>化学消防ポンプ付自動車（Ⅱ型）１台更新（東分署） | |
| 平成２５年　４月 | 消防士６名採用（女性消防吏員２名・救急救命士２名内女性救急救命士１名含む)、実員１４８名となる。<br>再任用制度により、２名を再任用する。 | |
| 平成２５年　４月 | １５代目消防長　増井　京市氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>元消防司令長　清水　勝男氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。 | |
| 平成２５年　５月 | 救急救命士１名養成（計２８名） | |
| 平成２５年　６月 | 広報車１台更新（審査係） | |
| 平成２５年　７月 | | 第１４回座間市消防団消防操法大会 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成２５年１１月 | 消防司令長　１名退職<br>元消防司令長　吉川　　進氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>元消防司令長　片倉　春夫氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>元消防司令長　濱川　洋平氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。 | 第３分団第３部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成２６年　１月 | 高規格救急自動車１台更新（北分署） | |
| 平成２６年　３月 | １７代目消防長　林　正純氏退任<br>消防司令長　１名退職<br>消防司令　　１名退職<br>消防司令補　２名退職（１名救命士） | １７代目消防団長<br>田中　賢一氏退任 |
| 平成２６年　４月 | １８代目消防長　篠﨑　光平氏就任<br>消防士６名採用（救急救命士１名含む)、実員１４８名。<br>再任用制度により、１名を再任用する。 | １８代目消防団長<br>鈴木　文也氏就任 |
| 平成２６年　５月 | 元消防司令長　市川　安男氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>救急救命士１名養成（計２９名） | |
| 平成２６年　７月 | | 第４９回神奈川県消防操法大会において最優秀賞獲得 |
| 平成２６年１１月 | 消防司令　　１名退職 | 第２４回全国消防操法大会において準優勝獲得<br>第３分団第２部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成２６年１２月 | 消防署東分署改築工事 | |
| 平成２７年　１月 | 資機材搬送車１台更新（本署） | |
| 平成２７年　２月 | 署活動用無線局３２局（４００ＭＨｚ）運用開始 | |
| 平成２７年　３月 | 消防司令　　２名退職 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成２７年　４月 | 消防士４名採用（救急救命士１名含む)、実員１４９名となる。<br>再任用制度により、２名を再任用する。<br>海老名市・座間市・綾瀬市消防指令センター（海老名市柏ヶ谷１０４７番地３）開所、消防救急デジタル無線運用開始。<br>緊急消防援助隊、後方支援小隊登録 | |
| 平成２７年　５月 | 救急救命士１名養成（計３１名） | |
| 平成２７年　６月 | 消防司令　　１名退職<br>査察車１台更新（指導係） | |
| 平成２７年　７月 | | 第１５回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成２７年　８月 | 第４４回全国消防救助技術大会ほふく救出に出場 | |
| 平成２７年１０月 | | 第２分団第１部・消防ポンプ自動車配備（更新） |
| 平成２７年１１月 | １６代目消防長　髙橋　富夫氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>元消防司令長　髙橋　義一氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>人員搬送車１台配備（寄付） | |
| 平成２８年　３月 | １８代目消防長　篠﨑　光平氏退任<br>消防司令長　５名退職<br>消防司令　　１名退職<br>消防司令補　１名退職<br>再任用職員　２名退職 | １８代目消防団長<br>鈴木　文也氏退任 |
| 平成２８年　４月 | １９代目消防長　落合　勝男氏就任<br>元消防司令長　井上　昇氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。<br>条例定数　１７５名となる。<br>消防士９名採用（救急救命士３名含む)、実員１４９名<br>再任用制度により、３名を再任用する。<br>高規格救急自動車１台配備（増強） | １９代目消防団長<br>京免　康彦氏就任 |
| 平成２８年　５月 | １５０ＭＨｚ帯　消防・救急無線（アナログ波）廃止する。<br>救急救命士１名養成（計３５名） | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成２８年　６月 | 座間総合病院派遣型ワークステーション運用開始 | |
| 平成２８年　７月 | | 第５０回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 平成２８年　８月 | 第４５回全国消防救助技術大会はしご登はんに出場 | |
| 平成２８年１１月 | | 第３分団第５部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成２９年　３月 | 消防司令　　１名退職<br>消防副士長　１名退職 | |
| 平成２９年　４月 | 消防士６名採用、実員１５３名となる。<br>再任用制度により、１名を再任用する。<br>本署救急隊増隊により４隊運用開始 | |
| 平成２９年　５月 | 救急救命士１名養成（計３６名） | |
| 平成２９年　８月 | 第４６回全国消防救助技術大会ほふく救出に出場 | 第１６回座間市消防団消防操法大会 |
| 平成２９年１２月 | 高規格救急自動車１台更新（消防署）<br>再任用職員　１名退職 | |
| 平成３０年　１月 | | 第１分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成３０年　２月 | 消防庁舎落成、鉄筋コンクリート造り４階建、延面積５，２３８．０６㎡<br>消防本部創立５０周年記念式典を挙行 | |
| 平成３０年　３月 | 災害救助資機材搬送車１台更新<br>消防司令　　１名退職<br>消防副士長　１名退職 | １９代目消防団長<br>京免　康彦氏退任<br>神奈川県消防協会から表彰旗を授与 |
| 平成３０年　４月 | 消防士３名採用（救急救命士１名含む)、実員１５４名となる。<br>再任用制度により、１名を再任用する。<br>本署消防隊の増強により４隊運用開始<br>元消防司令長　野頭　忠明氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。 | ２０代目消防団長<br>齋藤　通泰氏就任 |
| 平成３０年　５月 | 救急救命士１名養成（計３７名） | 平成３０年度水防演習 |
| 平成３０年　７月 | | 第５１回神奈川県消防操法大会において最優良賞獲得 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 平成３０年１０月 | 消防司令補　１名退職 | 第２６回全国消防操法大会において優良賞獲得 |
| 平成３０年１１月 | 高規格救急自動車１台更新（東分署）<br>消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型）１台更新（本署） | 第２分団第３部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 平成３１年　１月 | 広報車１台更新（警防係） | |
| 平成３１年　２月 | | 第１分団第２部車庫・待機室新築 |
| 平成３１年　３月 | １９代目消防長　落合　勝男氏退任<br>消防司令　　１名退職<br>消防副士長　１名退職<br>再任用職員　１名退職 | |
| 平成３１年　４月 | ２０代目消防長　山田　淳氏就任<br>消防士５名採用（救急救命士１名含む)、実員１５５名となる。<br>再任用制度により、１名を再任用する。（市長部局からの出向）<br>消防士　　１名退職 | |
| 令和　元年　５月 | 救急救命士１名養成（計３８名）<br>元消防司令長　船田忠成氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。 | |
| 令和　元年　７月 | | 第１７回座間市消防団消防操法大会 |
| 令和　元年１１月 | １７代目消防長　林　正純氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝双光章）を授与される。<br>元消防司令長　吉澤　喜好氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。 | |
| 令和　元年１２月 | 消防司令　　１名退職 | 第２分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 令和　２年　１月 | 水槽付消防ポンプ自動車１台更新（消防署） | |
| 令和　２年　２月 | 女性消防隊広報車１台更新（消防本部） | |
| 令和　２年　３月 | 消防司令長　４名退職<br>再任用職員　１名退職 | （公財）日本消防協会から特別表彰「まとい」を授与される。<br>２０代目消防団長<br>齋藤　通泰氏退任 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 令和　２年　４月 | 消防士６名採用（救急救命士３名含む)、実員１５５名<br>再任用制度により、４名を再任用する。<br>消防本部に警防課（警防係、地域消防係）を新設する。<br>消防司令補　１名退職 | ２１代目消防団長<br>八木　正純氏就任 |
| 令和　２年　５月 | 救急救命士１名養成（計３９名） | |
| 令和　２年　８月 | 消防副士長　１名退職<br>消防士　　１名退職 | |
| 令和　２年１０月 | 北分署広報車１台更新（北分署） | |
| 令和　２年１２月 | | 第５分団第２部・小型動力ポンプ付積載車配備（更新） |
| 令和　３年　２月 | ３５m級はしご付消防自動車１台更新（消防署）<br>消防士　　１名退職 | |
| 令和　３年　３月 | ２０代目消防長　山田　淳氏退任<br>高規格救急自動車更新（北分署）<br>消防司令長　１名退職<br>消防司令　　４名退職<br>再任用職員　３名退職 | |
| 令和　３年　４月 | ２１代目消防長　宮野　敬氏就任<br>消防士１０名採用（救急救命士３名含む)、実員１５５名。<br>再任用制度により、５名を再任用する。<br>消防士　　１名退職 | |
| 令和　３年　６月 | 再任用職員　１名退職<br>元消防司令長　清水　登　氏<br>危険業務従事者叙勲（瑞宝単光章）を授与される。 | |
| 令和　３年　７月 | 静岡県熱海市土石流災害に伴い、緊急消防援助隊として、静岡県に救急小隊を派遣 | |
| 令和　３年１１月 | 警防課地域消防係車　１台配備 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
| --- | --- | --- |
| 令和　３年１２月 | 消防司令補　１名退職<br>消防士長　　１名退職<br>消防士　　１名退職 | |
| 令和　４年　２月 | | 第２分団第２部<br>車庫・待機室兼水防倉庫　新築 |
| 令和　４年　３月 | 消防庁長官から竿頭綬を授与される。<br>消防司令長　２名退職<br>消防司令　　４名退職 | ２１代目消防団長<br>八木　正純氏退任 |
| 令和　４年　４月 | 消防士１２名採用（救急救命士５名含む)、実員１５７名となる。<br>再任用制度により、４名再任用する。<br>消防管理課に救急担当課長を新たに配置する。 | ２２代目消防団長<br>井上　美仁氏就任 |
| 令和　４年　７月 | | 第５４回神奈川県消防操法大会において優秀賞獲得 |
| 令和　４年１２月 | 消防司令補　１名退職 | |
| 令和　５年　３月 | 指令車１台更新（消防本部）<br>救助工作車１台更新（消防署）<br>消防司令長　２名退職<br>消防司令　　２名退職<br>消防副士長　２名退職<br>消防士　　２名退職<br>再任用職員　１名退職 | |
| 令和　５年　４月 | 行政組織改編により<br>消防総務課庶務係から<br>消防総務課消防総務係へ変更<br>消防管理課庶務係から<br>消防管理課消防管理係へ変更<br>消防署５課（消防管理課、第１警備課第２警備課、東分署、北分署）から<br>消防署３課（消防管理課、第１警備課第２警備課）へ変更 | |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
|---|---|---|
| 令和　５年　４月 | 消防署第１・第２警備課にそれぞれ警備担当課長を新たに配置する。<br>条例定数　１７９名となる。<br>消防士８名採用（救急救命士３名含む)、実員１４８名となる。<br>再任用制度により、４名再任用する市長部局へ１名併任出向 | |
| 令和　５年　９月 | 消防士長　１名退職 | |
| 令和　６年　１月 | 令和６年能登半島地震に伴い、緊急消防援助隊として、石川県に消火小隊、後方支援小隊を派遣 | |
| 令和　６年　２月 | 東分署広報車１台更新（消防署） | |
| 令和　６年　３月 | 再任用職員　２名退職<br>消防司令長　１名退職 | （公財）日本消防協会から竿頭綬が授与される。<br>２２代目消防団長<br>井上　美仁氏退任 |
| 令和　６年　４月 | 条例定数　１８５名となる。<br>消防士８名採用（救急救命士４名含む)、実員１５４名となる。<br>役職定年（管理監督職勤務年齢上限制）により、３名の職員を配置する。<br>消防副士長　１名退職 | ２３代目消防団長<br>吉山　美智雄氏就任 |
| 令和　６年　６月 | 消防士　１名退職 | |
| 令和　６年１２月 | 消防副士長　１名退職 | |
| 令和　７年　２月 | 高規格救急自動車１台更新<br>指揮車１台更新 | |
| 令和　７年　３月 | ２１代目消防長　宮野　敬氏退任<br>再任用職員　５名退職<br>消防司令　　１名退職<br>令和７年岩手県大船渡市林野火災に伴い緊急援助隊として、岩手県に消火小隊、後方支援小隊を派遣 | ２３代目消防団長　吉山　美智雄氏<br>（公財）日本消防協会から功績章を授与される。 |

| 年　　月 | 消　防　本　部 | 消　防　団 |
| --- | --- | --- |
| 令和７年　４月 | ２２代目消防長　三本　千春氏就任<br>消防士８名採用（救急救命士２名含む）<br>実員１５５名となる。<br>役職定年（管理監督職勤務年齢上限制）<br>により、４名の職員を配置する。<br>再任用制度により、２名再任用する。 | |

# 市 勢 の 推 移

各年度４月１日現在

| 区　　分 | | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 | 令和７年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 面　　積 | | 17.57ｋ㎡ | | | | |
| 人　口　（　人　） | | 130,716 | 131,518 | 131,308 | 131,329 | 131,893 |
| 世　帯　数　（　世　帯　） | | 60,175 | 64,149 | 64,766 | 65,502 | 63,079 |
| １世帯あたりの人口（人） | | 2.17 | 2.05 | 2.02 | 2.1 | 2.1 |
| １ｋ㎡あたり | 人口（人） | 7,440 | 7,485 | 7,473 | 7,507 | 7,507 |
| | 人口（世帯） | 3,424 | 3,651 | 3,699 | 3,575 | 3,575 |

※　人口と世帯数は、令和２年国勢調査速報値を基礎として住民基本台帳法および戸籍法に定める届け出などの増減を調整して推計したもの。

# 市 民 と 消 防

令和７年４月１日現在

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 消防職員 | 条例定数 | 実員 | 消防ポンプ車 | 消防署 | ５台 |
| | １８５人 | １５５人 | | | |
| 消防団員 | 条例定員 | 実員 | | 消防団 | １６台 |
| | ２２３人 | １８４人 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防職員１人に対し | 人口（人） | 851 | 消防ポンプ車１台に対し | 消防署 | 人口（人） | 26,379 |
| | 世帯（世帯） | 407 | | | 世帯（世帯） | 12,616 |
| | 面積（ｋ㎡） | 0.11 | | | 面積（ｋ㎡） | 3.51 |
| 消防団員１人に対し | 人口（人） | 717 | | 消防団 | 人口（人） | 8,243 |
| | 世帯（世帯） | 343 | | | 世帯（世帯） | 3,942 |
| | 面積（ｋ㎡） | 0.10 | | | 面積（ｋ㎡） | 1.10 |

# 消防庁舎及び施設等状況

令和７年４月１日現在

| 署所別 | 所在地 | 竣工年 | 建築構造 | 建築延面積 | 敷地面積 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本　部<br>消防署 | 相武台一丁目48番1号<br>電話 046-256-2211 | H 30年 | 鉄筋コンクリート造4階建 | 5,238.060㎡ | 4,798.10㎡ |
| 東分署 | 東原二丁目7番11号<br>電話 046-256-2400 | S 54年 | 鉄筋コンクリート造1階建 | 380.450㎡ | 1,030.00㎡ |
| 北分署 | 相模が丘四丁目2番48号<br>電話 046-253-2166 | S 59年 | 鉄筋コンクリート造2階建 | 448.787㎡ | 1,181.56㎡ |
| その他 | 立野台三丁目4番3号 | H 10年 | 重量鉄骨ラーメン構造2階建 | 54.000㎡ | 594.84㎡ |

【消防力の整備指針：令和４年度消防施設整備計画実態調査】

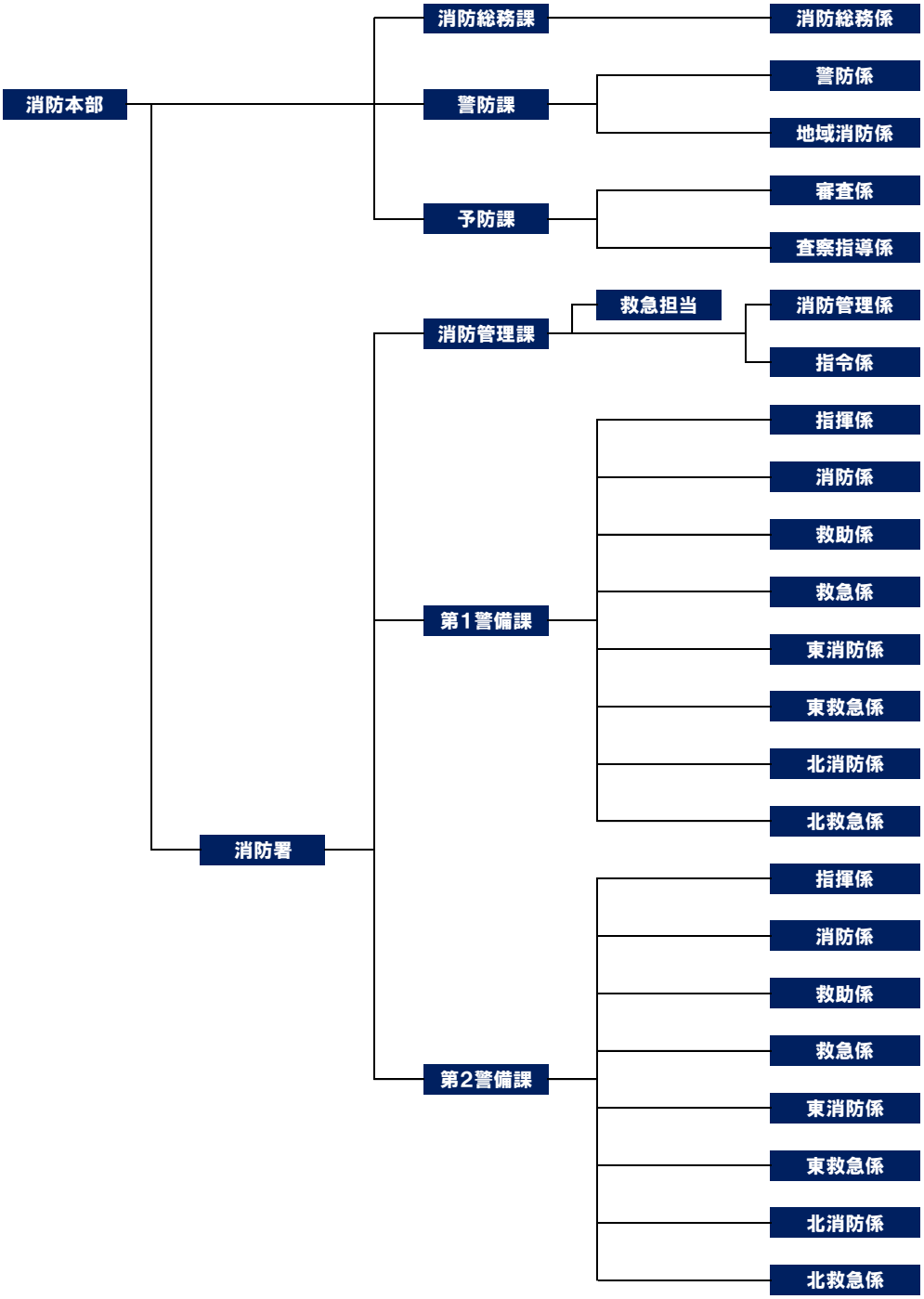
| 施設等 | 算定数 | 整備数 | 比率 |
|---|---|---|---|
| 署　所 | 4署所 | 3署所 | 75% |

# 消 防 の 組 織

管轄面積は、１７．５７ｋ㎡で、常備消防における組織体制は、１本部３課、１署３課で、指揮隊、救助隊、消防隊４隊、救急隊４隊を運用するとともに、はしご車、化学車等を配備し、消防長以下１５５人である。そして、これらの施設機材を活用し、１３万の市民の生命、身体、財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としている。

座間市消防組織図

令和７年４月１日現在



# 消 防 本 部 ・署 ・分 署 全 景

本 部 ・消 防 署

東　分　署

北　分　署

# 消防本部・署・分署配置図

| 凡　　例 | |
|---|---|
| | 消防本部 |
| | 消防署 |
| | 分署 |
| ―――― | 受持区域線 |
| - - - - | 地区境界線 |

# 分　掌　事　務

## 消防本部

### 消防総務課

１　部内の連絡調整に関すること。
２　消防広報に関すること。
３　儀式、褒賞及び表彰に関すること。
４　公印の管理に関すること。
５　例規の制定及び改廃に関すること。
６　消防職員の身分、服務、研修及び福利厚生に関すること。
７　消防職員の公務災害補償に関すること。
８　消防用財産に関すること。
９　消防庁舎及び施設に関すること。
１０　市民防災啓発施設の利用に関すること。
１１　消防職員委員会の庶務に関すること。
１２　消防職員衛生委員会の庶務に関すること。
１３　消防償慰金等審査委員会の庶務に関すること。
１４　消防功労審査会の庶務に関すること。
１５　県央東部消防通信指令事務協議会に関すること。

### 警防課

１　消防計画及び水防計画に関すること。
２　消防の統計及び調査に関すること。
３　災害時の応援及び受援に関すること。
４　消防職員の訓練に関すること。
５　消防水利に関すること。
６　開発行為等に対する協議及び検査に関すること。
７　消防装備及び施設機材の研究開発に関すること。
８　車両の更新に関すること。
９　消防団の庶務に関すること。
１０　消防団の広報に関すること。
１１　消防団の統計及び調査に関すること。
１２　消防団員の身分、服務、研修、教育訓練及び福利厚生に関すること。
１３　消防団員の公務災害補償に関すること。
１４　消防団員の被服及び貸与品に関すること。
１５　消防団施設に関すること。
１６　消防団車両に関すること。
１７　消防団資機材に関すること。
１８　女性消防隊に関すること。

### 予防課

１　危険物施設に係る許認可に関すること。
２　建築許可等の同意に関すること。
３　消防用設備等の設置に係る指導及び検査に関すること。
４　座間市火災予防条例（昭和３８年座間町条例第２０号）に関すること。
５　液化石油ガス等の保安に関すること。
６　予防業務の統計及び調査に関すること。
７　防火・防災思想の普及啓発及び相談に関すること。
８　防火・防災管理者の指導及び講習に関すること。
９　危険物取扱者及び保安監督者の指導及び講習に関すること。
１０　防火対象物及び危険物施設の査察に関すること。
１１　火災原因及び損害に関すること。
１２　り災証明等に関すること。
１３　消防協力団体に関すること。

## 消防署

### 消防管理課

１　消防署内の連絡調整に関すること。
２　消防署の庶務に関すること。
３　消防署の公印の管理に関すること。
４　消防署の予算調整及び執行管理に関すること。
５　消防署の設備に関すること。
６　消防車両の整備に関すること。
７　消防、救助及び救急資機材の整備に関すること。
８　消防活動上支障を及ぼす行為の届出に関すること。
９　救急業務に関すること。
１０　救急の広報に関すること。
１１　救急の研修に関すること。
１２　メディカルコントロールに関すること。
１３　応急手当等の普及及び啓蒙活動に関すること。
１４　消防訓練、施設見学、救命講習等に関すること。
１５　通信業務に関すること。
１６　災害通信の受信及び出動指令に関すること。
１７　火災警報の発令及び解除に関すること。
１８　災害の即報及び連絡に関すること。
１９　気象情報に関すること。
２０　災害情報収集に関すること。
２１　消防通信の運用及び機器に関すること。
２２　県央東部消防指令センターとの連絡調整に関すること。

## 第１警備課・第２警備課

１　水火災、地震等の警戒及び防除に関すること。
２　消防訓練、救命講習等の指導に関すること。
３　警防計画及び査察に関すること。
４　消防通信の運用に関すること。
５　火災の原因調査、損害調査に関すること。
６　り災証明等に関すること。
７　座間市火災予防条例（昭和３８年座間町条例第２０号）の規定による届出の受理に関すること。
８　指揮業務に関すること。
９　災害現場の情報収集及び現場広報に関すること。
１０　消防業務に関すること。
１１　消防資機材の維持管理に関すること。
１２　消防地理及び消防水利の調査に関すること。
１３　救助業務に関すること。
１４　救助資機材の維持管理に関すること。
１５　消防署の施設及び設備の維持管理に関すること。
１６　救急業務に関すること。
１７　救急資器材の維持管理に関すること。
１８　救急高度化の推進に関すること。
１９　メディカルコントロールに関すること。

# 総　務　関　係

# 消　　防　　予　　算

令和７年度一般会計予算は、５０，８２２，３５６千円（対前年比９．６％増）であり、消防予算については、一般会計の４．８％、２，４３８，６９９千円（対前年比２１％増）である。

# 一般会計予算と消防予算

令和７年度（単位：千円）

| 区　　分 | | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 増　減 | 伸　率% |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計予算 A | | 50,822,356 | 46,389,614 | 4,432,742 | 9.6 |
| 消防予算 B | | 2,438,699 | 2,014,847 | 423,852 | 21.0 |
| 比率（B/A×100） | | 4.8% | 4.3% | － | － |
| 消　　防　　費 | | 2,375,790 | 1,931,969 | 443,821 | 22.3 |
| | 常備消防費 | 2,244,648 | 1,723,987 | 520,661 | 30.2 |
| | 非常備消防費 | 130,555 | 207,454 | △ 76,899 | △ 37.1 |
| | 水防費 | 587 | 528 | 59 | 11.2 |
| | 災害対策費 | 62,909 | 82,878 | △ 19,969 | △ 24.1 |

※　災害対策費は、くらし安全部危機管理課の所管事業です。

# 消防費財源内訳

令和７年度（単位：千円）

| 消防費 | 消防費財源 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,438,699 | 14,818 | 45,565 | 517,200 | 6,837 | 1,854,279 |

※　その他は、手数料、雑入

# 令和7年度消防費と人口の比

令和７年４月１日現在（単位：円）

| 区　　分 | 常備消防費 | 非常備消防費 | 水防費 | 災害対策費 | 消防費歳出予算額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 予　　算　　額 | 2,244,648,000 | 130,555,000 | 587,000 | 62,909,000 | 2,438,699,000 |
| 人口１人当たり | 17,019 | 990 | 4 | 477 | 18,490 |
| 一世帯当たり | 35,585 | 2,070 | 9 | 997 | 38,661 |

# 消　防　費　の推　移

各年度中（単位：円）

| 区分<br>年度 | 当初予算額 | 決算額 | 区分<br>年度 | 当初予算額 | 決算額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 平成24年度 | 1,592,054,000 | 1,522,120,954 | 令和元年度 | 2,066,060,000 | 1,998,156,758 |
| 平成25年度 | 1,692,192,000 | 1,628,276,907 | 令和2年度 | 2,059,799,000 | 2,095,742,824 |
| 平成26年度 | 1,915,013,000 | 1,826,080,570 | 令和3年度 | 1,837,409,000 | 1,741,209,303 |
| 平成27年度 | 2,182,464,000 | 1,843,217,450 | 令和4年度 | 1,843,958,000 | 1,825,341,635 |
| 平成28年度 | 2,121,175,000 | 2,145,260,300 | 令和5年度 | 1,782,983,000 | 1,714,514,069 |
| 平成29年度 | 3,198,769,000 | 3,196,076,543 | 令和6年度 | 2,014,847,000 | 1,954,291,837 |
| 平成30年度 | 2,089,885,000 | 2,001,043,211 | 令和7年度 | 2,438,699,000 | |

# 消 防 職 員

消防力の基幹となる消防職員は、およそ１３万市民の期待に応えるべく、消防・防災の担い手として市民の暮らしを守るために、火災の予防、防ぎょ、救急、救助等の消防業務に専念している。

# 消 防 職 員 配 置 状 況

令和７年４月１日現在

| 所属別 ＼ 階級別 | | | 小計 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定員（条例） | | | 185 | 階級別定員なし | | | | | | |
| 合計（実員） | | | 155 | 1 | 10 | 38 | 35 | 11 | 39 | 21 |
| 消防本部 | 消防長 | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 次長 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 消防総務課 | 消防総務課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 課長補佐 | | | | | | | | |
| | | 消防総務係 | 4 | | | 1 | 1 | | 2 | |
| | | 消防総務課付 | 1 | | | 1 | | | | (8) |
| | 警防課 | 警防課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 警防係 | 3 | | | 1 | 1 | 1 | | |
| | | 地域消防係 | 3 | | | 1 | 1 | | 1 | |
| | 予防課 | 予防課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 審査係 | 3 | | | 1 | 2 | | | |
| | | 査察指導係 | 4 | | | 3 | 1 | | | |
| | 小計 | | 23 | 1 | 4 | 8 | 6 | 1 | 3 | |
| 消防署 | 消防署長 | | | | | | | | | |
| | 消防管理課 | 消防管理課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 救急担当課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 消防管理係 | 3 | | | 2 | | 1 | | |
| | | 指令係 | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | | 県央東部消防指令センター | 8 | | | 5 | 2 | 1 | | |
| | 第1警備課 | 警備課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 警備担当課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 指揮係 | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | | 消防係 | 12 | | | 2 | 2 | 1 | 6 | 1 |
| | | 救助係 | 9 | | | 1 | 2 | | 4 | 2 |
| | | 救急係 | 10 | | | 1 | 2 | | 4 | 3 |
| | | 東分署長 | 1 | | | 1 | | | | |
| | | 東消防係 | 5 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | | 東救急係 | 5 | | | 1 | 2 | | 2 | |
| | | 北分署長補佐 | 1 | | | 1 | | | | |
| | | 北消防係 | 6 | | | 1 | 2 | 1 | 2 | |
| | | 北救急係 | 5 | | | 1 | 1 | | 2 | 1 |
| | 第2警備課 | 警備課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 警備担当課長 | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 指揮係 | 2 | | | 1 | 1 | | | |
| | | 消防係 | 12 | | | 2 | 2 | 1 | 2 | 5 |
| | | 救助係 | 9 | | | 1 | 1 | 1 | 4 | 2 |
| | | 救急係 | 11 | | | 1 | 2 | 2 | 4 | 2 |
| | | 東分署長補佐 | 1 | | | 1 | | | | |
| | | 東消防係 | 6 | | | 1 | 2 | | 1 | 2 |
| | | 東救急係 | 5 | | | 1 | 2 | | 2 | |
| | | 北分署長 | 1 | | | 1 | | | | |
| | | 北消防係 | 5 | | | 1 | 2 | | 2 | |
| | | 北救急係 | 5 | | | 1 | 1 | 1 | | 2 |
| | 小計 | | 132 | | 6 | 30 | 29 | 10 | 36 | 21 |

※　再任用１１名（市長部局出向３名・警防課２名・予防課３名・消防管理課３名）

※　消防総務課付新採用職員８名は実員に含まないもの。

# 消防職員階級別年齢調

令和７年４月１日現在

| 年齢＼階級 | 計 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人員合計 | 155 | 1 | 10 | 38 | 35 | 11 | 39 | 21 |
| ２０歳未満 | 1 | | | | | | | 1 |
| ２０～２５ | 20 | | | | | | 1 | 19 |
| ２５～３０ | 27 | | | | | | 26 | 1 |
| ３０～３５ | 17 | | | | | 5 | 12 | |
| ３５～４０ | 21 | | | | 15 | 6 | | |
| ４０～４５ | 17 | | | 2 | 15 | | | |
| ４５～５０ | 13 | | 1 | 9 | 3 | | | |
| ５０～５５ | 26 | | 4 | 20 | 2 | | | |
| ５５歳以上 | 13 | 1 | 5 | 7 | | | | |
| 平均年齢 | 37.4 | 56.0 | 49.0 | 48.8 | 40.6 | 34.6 | 28.0 | 22.2 |

※　他に再任用１１名

※　消防総務課付新採用職員８名は実員に含まないもの。

# 消防職員階級別勤続年数調

令和７年４月１日現在

| 年数＼階級 | 計 | 消防監 | 消防司令長 | 消防司令 | 消防司令補 | 消防士長 | 消防副士長 | 消防士 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人員合計 | 155 | 1 | 10 | 38 | 35 | 11 | 39 | 21 |
| ５年未満 | 35 | | | | | | 14 | 21 |
| ５～１０ | 21 | | | | | | 21 | |
| １０～１５ | 19 | | | | 5 | 10 | 4 | |
| １５～２０ | 14 | | | | 13 | 1 | | |
| ２０～２５ | 13 | | | 1 | 12 | | | |
| ２５～３０ | 14 | | 1 | 9 | 4 | | | |
| ３０～３５ | 23 | | 4 | 18 | 1 | | | |
| ３５～４０ | 11 | 1 | 4 | 6 | | | | |
| ４０年以上 | 5 | | 1 | 4 | | | | |
| 平均年数 | 16.7 | 38.0 | 35.5 | 32.7 | 19.2 | 12.3 | 6.0 | 1.7 |

※　他に再任用１１名

※　消防総務課付新採用職員８名は実員に含まないもの。

# 警　防　関　係

# 消 防 水 利 の 状 況

○本署

令和７年４月１日現在

| 管区名 | 消火栓 | 公設防火水槽 | | | | | | 私設防火水槽 | | | | | プール池 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 60m³ | 40m³ | 30m³ | 20m³給 ※1 | 20m³ | 小計 | 40m³超 ※2 | 40m³ | 20m³給 ※1 | 20m³ | 小計 | |
| 新田宿 | 32 | | | | 2 | 1 | 3 | | 1 | | | 1 | |
| 四ツ谷 | 24 | | 2 | | 2 | | 4 | | | | | | |
| 座間１ | 47 | 1 | 3 | | 2 | 2 | 8 | | | | | | 1 |
| 座間２ | 25 | 1 | 5 | | 1 | | 7 | | 1 | | | 1 | 1 |
| 入谷東１ | 7 | | | | 1 | | 1 | | | | | | |
| 入谷東２ | 17 | | 10 | | | | 10 | | | | | | 1 |
| 入谷東３ | 20 | | 5 | | | 1 | 6 | | 5 | | | 5 | |
| 入谷東４ | 36 | | 5 | | 1 | 2 | 8 | | 3 | | | 3 | |
| 入谷西１ | 3 | | | | | | | | 4 | | | 4 | |
| 入谷西２ | 24 | 1 | 2 | | 1 | | 4 | 1 | 1 | | | 2 | |
| 入谷西３ | 20 | | 4 | | | | 4 | | 1 | | | 1 | |
| 入谷西４ | 9 | | | | 1 | 1 | 2 | | 1 | | | 1 | |
| 入谷西５ | 17 | | 3 | | | | 3 | 1 | | | | 1 | 3 |
| 明王 | 15 | | 2 | | | | 2 | | | | | | |
| 立野台１ | 10 | | 4 | | | | 4 | | 1 | | | 1 | 1 |
| 立野台２ | 12 | | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| 立野台３ | 21 | | 3 | | | | 3 | | 2 | | | 2 | 1 |
| 緑ケ丘１ | 8 | | 5 | | | | 5 | | | | | | |
| 緑ケ丘２ | 13 | | 3 | | | | 3 | | | | | | |
| 緑ケ丘３ | 19 | | 1 | | 2 | | 3 | | | | | | |
| 緑ケ丘４ | 13 | | 3 | | | | 3 | | 2 | | | 2 | |
| 緑ケ丘５ | 10 | | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| 緑ケ丘６ | 13 | | 2 | | 1 | | 3 | | 1 | | | 1 | |
| 相武台１ | 13 | 1 | 2 | | | | 3 | 5 | 1 | | | 6 | |
| 合計 | 428 | 4 | 66 | | 14 | 7 | 91 | 7 | 24 | | | 31 | 8 |

○東分署

令和７年４月１日現在

| 管区名 | 消火栓 | 公設防火水槽 | | | | | | 私設防火水槽 | | | | | プール池 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 60m³ | 40m³ | 30m³ | 20m³給 ※1 | 20m³ | 小計 | 40m³超 ※2 | 40m³ | 20m³給 ※1 | 20m³ | 小計 | |
| ひばりが丘１ | 21 | 1 | 2 | | 1 | | 4 | | 2 | | | 2 | |
| ひばりが丘２ | 21 | | 3 | | 1 | | 4 | | 1 | | | 1 | |
| ひばりが丘３ | 20 | | 4 | | 2 | | 6 | | 5 | | | 5 | 1 |
| ひばりが丘４ | 14 | | 1 | | | | 1 | 7 | 11 | 1 | | 19 | 1 |
| ひばりが丘５ | 21 | | 3 | | | | 3 | | 5 | | 1 | 6 | 1 |
| 栗原 | 12 | | 1 | | | | 1 | 6 | 3 | | | 9 | 1 |
| 南栗原１ | 11 | | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| 南栗原２ | 2 | | | | | | | | 3 | | | 3 | |
| 南栗原３ | 8 | 1 | | | | | 1 | | | | | | |
| 南栗原４ | 16 | | 1 | | | | 1 | | 3 | | | 3 | |
| 南栗原５ | 10 | | | | 1 | | 1 | | | | | | |
| 南栗原６ | 15 | | 3 | | | | 3 | | | | | | |
| 栗原中央１ | 17 | | 1 | 1 | 1 | | 3 | | | | | | |
| 栗原中央２ | 8 | | | 1 | 1 | | 2 | | | | | | |
| 栗原中央３ | 12 | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | |
| 栗原中央４ | 11 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | |
| 栗原中央５ | 9 | | 2 | | 1 | | 3 | | | | | | |
| 栗原中央６ | 10 | 1 | 1 | | 1 | | 3 | | | | | | 1 |
| 東原１ | 11 | | 1 | | | | 1 | 3 | 1 | | | 4 | |
| 東原２ | 7 | | 3 | | | | 3 | | 2 | | 1 | 3 | |
| 東原３ | 13 | | 2 | | | | 2 | | | | | | 1 |
| 東原４ | 6 | 2 | 3 | | | | 5 | 2 | 2 | | | 4 | |
| 東原５ | 7 | 1 | 4 | | | | 5 | | 9 | | | 9 | |
| さがみ野１ | 5 | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| さがみ野２ | 3 | | | | 2 | | 2 | | | | | | |
| さがみ野３ | 4 | | | | 1 | | 1 | | | | | | |
| 西栗原１ | 8 | 1 | 2 | | | | 3 | | | | | | |
| 西栗原２ | 8 | | 1 | | 1 | | 2 | | 2 | | | 2 | 1 |
| 合計 | 310 | 7 | 40 | 2 | 14 | | 63 | 18 | 52 | 1 | 2 | 73 | 7 |

## ○北分署

令和７年４月１日現在

| 管区名 | 消火栓 | 公設防火水槽 | | | | | | 私設防火水槽 | | | | | プール池 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 60m³ | 40m³ | 30m³ | 20m³ 給 ※1 | 20m³ | 小計 | 40m³ 超 ※2 | 40m³ | 20m³ 給 ※1 | 20m³ | 小計 | |
| 小　　池 | 13 | | 2 | | 2 | | 4 | | 2 | | | 2 | |
| 小松原１ | 23 | | 2 | | | | 2 | 3 | 10 | | 1 | 14 | |
| 小松原２ | 27 | 1 | 1 | | | | 2 | 3 | 10 | 1 | | 14 | |
| 広野台１ | 20 | 1 | 3 | | 1 | | 5 | 1 | 5 | 1 | | 7 | 1 |
| 広野台２ | 8 | | | | | | | 16 | 21 | | | 37 | |
| 相武台北 | 12 | 1 | 2 | | | | 3 | | 2 | | | 2 | |
| 相武台２ | 19 | | 1 | | | | 1 | 2 | 6 | | | 8 | |
| 相武台３ | 29 | | 3 | | | | 3 | 1 | 6 | 1 | | 8 | |
| 相武台４ | 7 | | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 |
| 相模が丘１ | 24 | | 2 | | | | 2 | 2 | 9 | 1 | | 12 | |
| 相模が丘２ | 16 | 1 | 2 | | 1 | | 4 | | 2 | | | 2 | 1 |
| 相模が丘３ | 15 | 2 | 3 | | 1 | | 6 | | | | | | |
| 相模が丘４ | 24 | 1 | 3 | | 1 | | 5 | | 1 | | | 1 | |
| 相模が丘５ | 28 | | 1 | | 1 | | 2 | | 5 | 2 | | 7 | |
| 相模が丘６ | 19 | | 6 | | | | 6 | | 12 | | | 12 | |
| 合　　計 | 284 | 7 | 31 | | 8 | | 46 | 28 | 91 | 6 | 1 | 126 | 3 |

## ○消防水利の総合計

令和７年４月１日現在

| 総合計 | 消火栓 | 公設防火水槽 | | | | | | 私設防火水槽 | | | | | プール池 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 60m³ | 40m³ | 30m³ | 20m³ 給 ※1 | 20m³ | 小計 | 40m³ 超 ※2 | 40m³ | 20m³ 給 ※1 | 20m³ | 小計 | |
| | 1,022 | 18 | 137 | 2 | 36 | 7 | 200 | 53 | 167 | 7 | 3 | 230 | 18 |

※１　給とは、補水装置が設けられている防火水槽

※２　超とは、40m³を超える貯水量を持つ防火水槽

消　火　栓

ホース格納箱

箱の中にはホースが２本・管そう１本・消火栓開栓器１器が入っています。

防　火　水　槽

地下に埋めてあります。

**※　小学校のプールや池も消防用水利として活用されます。**

○消防水利（消防法第２０条第２項及び同法第２１条第１項）

消防水利は、地図上で市内の市街地及び近隣商業地域等を一定の間隔でメッシュ状に区分けした総数を基準数とし、一定の能力を満たした消防水利が含まれる場合を充足数としています。

【消防力の整備指針：令和４年度消防施設整備計画実態調査】

| 基準数 | 充足数（実充足数） | 不足数（実不足数） | 充足率％（実充足率％） |
|---|---|---|---|
| ５６２ | ５６２<br>（６０１） | ０<br>（－３９） | １００<br>（１０６．９３） |

# 消 防 本 部・署 現 有 車 両 調

令和７年４月１日現在

| 配置 | 車種名称 | 局名称 | 車名 | 登録番号 | 登録年月日 | 気筒容積 | 型　別 | ポンプ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防本部 | 消防総務課総務係車 | ざましょむ1 | 日産 | 相模800す6872 | H23.12.21 | 1,990cc | | |
| | 警防課警防係車 | ざまけいぼう1 | ﾄﾖﾀ | 相模800せ2965 | H31.1.25 | 2,390cc | | |
| | 予防課審査係車 | ざましんさ1 | 日産 | 相模800す8277 | H25.8.30 | 1,590cc | | |
| | 予防課査察係車 | ざまささつ1 | 日産 | 相模800す9712 | H27.8.3 | 1,590cc | | |
| | 女性消防隊広報車 | ― | ﾀﾞｲﾊﾂ | 相模880あ3763 | R2.2.27 | 650cc | | |
| | 警防課地域消防係車 | ― | ﾀﾞｲﾊﾂ | 相模880あ2021 | R3.11.26 | 650cc | | |
| 本署 | 災害救助資機材搬送車 | ざましえん1 | 日野 | 相模800せ2026 | H30.3.14 | 4,000cc | | |
| | 指令車 | ざましれい1 | 三菱 | 相模800さ2022 | R5.3.29 | 2,260cc | | |
| | 指揮車 | ざましき1 | ﾄﾖﾀ | 相模830た702 | R7.2.21 | 2,690cc | | |
| | はしご自動車 | ざまはしご1 | 日野 | 相模800は1555 | R3.2.2 | 8,860cc | 35m級 | |
| | はしご付消防ポンプ自動車 | ざまはしご2 | 日野 | 相模800は759 | H23.2.18 | 6,400cc | 15m級 | A－２ |
| | 救助工作車 | ざまきゅうじょ1 | 日野 | 相模830は3119 | R5.3.13 | 5,120cc | Ⅱ型 | |
| | 水槽付消防ポンプ自動車 | ざまたんく1 | 日野 | 相模800は1463 | R2.1.15 | 5,120cc | Ⅰ-B型 | A－２ |
| | 消防ポンプ自動車 | ざまぽんぷ1 | 日野 | 相模800せ2781 | H30.11.15 | 4,000cc | CD-Ⅰ型 | A－２ |
| | 高規格救急自動車 | きゅうきゅうざま1 | 日産 | 相模830そ2024 | R7.2.4 | 2,480cc | | |
| | 高規格救急自動車 | きゅうきゅうざま2 | ﾄﾖﾀ | 相模800せ1810 | H29.12.19 | 2,690cc | | |
| | 非常用救急自動車 | きゅうきゅうざま3 | ﾄﾖﾀ | 相模800せ106 | H28.2.16 | 2,690cc | | |
| | 資機材搬送車 | ざまさぎょう1 | 日野 | 相模800す9285 | H27.1.29 | 4,000cc | | |
| | 消防管理課管理係車 | ざまこうほう1 | 日産 | 相模800す5743 | H22.2.12 | 1,990cc | | |
| | その他の車両 | ― | 日産 | 相模301ふ296 | H27.11.30 | 2,480cc | | |
| | 小型二輪・原付 | ― | ﾎﾝﾀﾞ | 座間市Z3412 | R5.11.16 | 49cc | | |
| | 小型二輪・原付 | ― | ﾎﾝﾀﾞ | 座間市Z3413 | R5.11.16 | 49cc | | |
| 東分署 | 化学消防ポンプ自動車 | ざまひがしかがく1 | 日野 | 相模800は879 | H25.3.5 | 6,400cc | Ⅱ型 | A－２ |
| | 消防ポンプ自動車 | ざまひがしぽんぷ1 | 日野 | 相模830そ119 | H24.1.30 | 4,000cc | CD-Ⅰ型 | A－２ |
| | 高規格救急自動車 | きゅうきゅうざまひがし1 | ﾄﾖﾀ | 相模800せ2753 | H30.11.8 | 2,690cc | | |
| | 東分署広報車 | ざまひがしこうほう1 | ﾀﾞｲﾊﾂ | 相模883い2023 | R6.2.8 | 650cc | | |
| 北分署 | 消防ポンプ自動車 | ざまきたぽんぷ1 | 日産 | 相模800す3095 | H18.12.7 | 4,770cc | CD-Ⅰ型 | A－２ |
| | 非常用消防ポンプ自動車 | ざまきたぽんぷ2 | 日野 | 相模800さ6186 | H14.2.21 | 4,890cc | CD-Ⅰ型 | A－２ |
| | 高規格救急自動車 | きゅうきゅうざまきた1 | ﾄﾖﾀ | 相模800せ5066 | R3.3.23 | 2,690cc | | |
| | 北分署広報車 | ざまきたこうほう1 | 日産 | 相模800せ4610 | R2.10.1 | 1,990cc | | |

【消防力の整備指針：令和４年度消防施設整備計画実態調査】

| | ポンプ車 | はしご車 | 化学車 | 救助工作車 | 指揮車 | 救急車 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 算定数 | ５台 | ２台 | １台 | １台 | １台 | ４台 |
| 整備数 | ４台 | ２台 | １台 | １台 | １台 | ４台 |
| 比　率 | 80％ | 100％ | 100％ | 100％ | 100％ | 100％ |

# 令和６年度　導入車両

令和７年２月　本署　高規格救急自動車

令和７年２月　指揮車

# 消防機関の火災以外の災害出動状況

令和６年中

| 区　　分 | 消防本部・消防署 | | 消防団 | | 出動延回数 | 出動延人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 出動回数 | 出動人員 | 出動回数 | 出動人員 | | |
| 救　助　活　動 | 155 | 2,221 | | | 155 | 2,221 |
| 誤　　報　　等 | 116 | 804 | 3 | 22 | 119 | 826 |
| 風　水　害　等 | 12 | 48 | | | 12 | 48 |
| 市　外　応　援 | 13 | 102 | | | 13 | 102 |
| 支　　援 | 634 | 4,075 | | | 634 | 4,075 |
| そ の 他 の 出 動 | 86 | 755 | 1 | 1 | 87 | 756 |
| 合　　計 | 1016 | 8,005 | 4 | 23 | 1020 | 8,028 |
| 救　　急 | 7,324 | 21,974 | | | 7,324 | 21,974 |

「誤報等」とは、誤報、誤認、いたずら等（救急出動における誤報、いたずらは含まない。）をいう。
「風水害等」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、その他異常な自然現象による災害をいう。
「市外応援」とは、神奈川県下相互応援協定に基づき出動したものをいう。
「支援」とは、救急隊が行う救急活動を支援したものをいう。
「その他の出動」とは上記以外に出動したものをいう。

# 消 防 機 関 の 災 害 以 外 の 出 動 状 況

令和６年中

| 区　　分 | | 消防本部・消防署 | | 消防団 | | 出動延回数 | 出動延人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 出動回数 | 出動人員 | 出動回数 | 出動人員 | | |
| 演　習・訓　練　等 | | 31 | 622 | 11 | 910 | 42 | 1,532 |
| 広報・指導 | 住宅防火診断 | | | | | | |
| | その他の活動 | 58 | 611 | | | 58 | 611 |
| 警 防 調 査 | 荒 地 調 査 | 23 | 124 | | | 23 | 124 |
| | その他の調査 | 177 | 817 | | | 177 | 817 |
| 火　災　調　査 | | 25 | 100 | | | 25 | 100 |
| 特　別　警　戒 | | 52 | 298 | 21 | 1,974 | 73 | 2,272 |
| 予　防　査　察 | | 29 | 127 | | | 29 | 127 |
| そ　の　他 | | | | 29 | 2,780 | 29 | 2,780 |
| 合　　計 | | 395 | 2,699 | 61 | 5,664 | 456 | 8,363 |

「演習・訓練等」とは消防機関又は関係機関と合同して行う演習及び訓練等をいい、消防車両等が出動したものをいう。（消防機関単独で行うものも含む。）
「広報・指導」とは市民、自衛消防隊等が行う消防訓練に対する指導及び住宅防火診断等の市民に対する広報活動をいう。
「警防調査」とは荒地の調査及びその他の調査（水利、危険区域、対象物調査等）をいう。
「火災調査」とは火災の原因、損害調査をいう。
「特別警戒」とは火災警報発令時、火災シーズン、台風時、花火大会、祭礼、競馬、競輪、運動競技、催し物、歳末等においての警戒出動をいう。
「予防査察」とは防火対象物のうち、消防法令により消防用設備等の設置を義務付けられている対象物の立入検査回数を１対象物１回として行ったものをいう。
「その他」とは警察との協力、焼跡処理、公共作業、危険排除等表中他の区分に属さないものをいう。

# 警防資機材保有状況

令和７年４月１日現在

| 分類 | 種別 | 数量 本 | 数量 東 | 数量 北 | 数量 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般救助用器具 | かぎ付きはしご | 5 | 1 | | 6 |
| | 三連はしご | 4 | 2 | 2 | 8 |
| | ワイヤはしご | 1 | | | 1 |
| | 空気式救助マット | 1 | | | 1 |
| | 救命索発射銃 | 2 | | | 2 |
| | 救助縛帯 | 11 | 1 | 1 | 13 |
| | サバイバースリング | 1 | | | 1 |
| | 平担架 | | | | |
| 重量物排除用器具 | 油圧ジャッキ | 1 | | | 1 |
| | 大型油圧スプレッター | 1 | | | 1 |
| | 可搬ウインチ | 4 | 1 | 1 | 6 |
| | マンホール救助器具 | 1 | | | 1 |
| | マット型空気ジャッキ一式 | 2 | | | 2 |
| 切断用器具 | 油圧救助器具（カッター） | 2 | | | 2 |
| | エンジンカッター | 5 | 2 | 2 | 9 |
| | 酸素溶断機 | | | | |
| | チェーンソー | 5 | 2 | 3 | 10 |
| | 鉄線カッター | 11 | 2 | 2 | 15 |
| | 空気鋸 | 1 | | | 1 |
| | 電動カッター | 4 | | | 4 |
| 破壊用器具 | 携帯用コンクリート破壊器具 | 2 | | | 2 |
| | 削岩機 | 3 | | | 3 |
| | ハンマードリル | 2 | | | 2 |
| 測定用器具 | 可燃性ガス測定器 | 5 | 2 | 2 | 9 |
| | 有毒ガス測定器 | 2 | | | 2 |
| | 放射線測定器（ポケット含む） | 37 | 6 | | 43 |

| 分類 | 種別 | 数量 本 | 数量 東 | 数量 北 | 数量 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 山岳救助用器具 | バスケット担架 | 4 | | | 4 |
| 呼吸保護用器具 | 空気呼吸器 | 51 | 10 | 10 | 71 |
| | 酸素呼吸器 | | | | |
| | 送排風機 | 6 | 1 | | 7 |
| 検索用器具 | 簡易画像探索機 ※ | 1 | | | 1 |
| 隊員保護用器具 | 防毒マスク | 19 | 6 | 6 | 31 |
| | 耐電手袋 | 6 | | | 6 |
| | 耐電衣 | 6 | | | 6 |
| | 耐電ズボン | 6 | | | 6 |
| | 耐電長靴 | 6 | | | 6 |
| | 耐熱防護服 ※ | 2 | 2 | | 4 |
| | 放射線防護服 ※ | 2 | | | 2 |
| | 陽圧式化学防護服 ※ | 6 | | | 6 |
| | 化学防護服 ※ | 16 | 5 | 5 | 26 |
| 水難救助用器具 | 潜水器具一式 | 8 | | | 8 |
| | 救命胴衣 | 66 | 8 | 8 | 82 |
| | 救命ボート | 5 | | | 5 |
| | 船外機 | 4 | | | 4 |
| 高度救助用器具 | 熱画像直視装置 | 10 | 1 | 1 | 12 |
| | 夜間用暗視装置 | | | | |
| 除染用器具 | 除染シャワー ※ | 1 | | | 1 |
| その他の救助用器具 | 投光器一式 | 8 | 2 | 2 | 12 |
| | 緩降機 | 2 | | | 2 |
| | 発電機 | 10 | 2 | 3 | 15 |

※印のものについては、地域の実情に応じて備えるもの。

# 救急資機材保有状況

令和７年４月１日現在

| 種別 | 数量 | | | | 種別 | 数量 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 救急器具等 | 本 | 東 | 北 | 計 | 救急器具等 | 本 | 東 | 北 | 計 |
| 血圧計 | 9 | 3 | 3 | 15 | 布担架 | 10 | 7 | 5 | 22 |
| 血中酸素飽和度測定機 | 9 | 3 | 5 | 17 | 椅子型布担架 | 9 | 5 | 4 | 18 |
| 脈拍呼吸回数計 | 2 | 2 | 2 | 6 | バッグボード | 7 | 3 | 5 | 15 |
| 患者監視装置 | 4 | 1 | 1 | 6 | リングカッター | 5 | 1 | 2 | 8 |
| 血糖値測定器 | 5 | 2 | 2 | 9 | 輸液ポンプ | 2 | 1 | 1 | 4 |
| 小型電動吸引器 | 6 | 1 | 2 | 9 | メインストレッチャー | 3 | 1 | 1 | 5 |
| 喉頭鏡 | 4 | 1 | 3 | 8 | 刃防ベスト | 9 | 3 | 3 | 15 |
| 流量計付加湿酸素吸入装置 | 4 | 1 | 1 | 6 | 酸素ボンベ（１０Ｌ） | 37 | 22 | 19 | 78 |
| 人工呼吸器 | 4 | 1 | 1 | 6 | 酸素ボンベ（２Ｌ） | 32 | 20 | 25 | 77 |
| 半自動式電気的除細動器 | 4 | 1 | 1 | 6 | オートクレーブ | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 手動式人工呼吸器 | 9 | 2 | 3 | 14 | オゾン発生装置 | 5 | 1 | 1 | 7 |
| 薬剤投与セット | 3 | 1 | 1 | 5 | ＡＥＤ | 10 | 2 | 2 | 14 |
| 気管挿管セット | 3 | 1 | 1 | 5 | 高度救命処置訓練人形 | 2 | 1 | 1 | 4 |
| ビデオ硬性挿管用喉頭鏡 | 4 | 1 | 1 | 6 | 心肺蘇生法訓練人形（成人型） | 8 | 4 | 3 | 15 |
| スクープストレッチャー | 4 | 2 | 1 | 7 | 〃（小児型） | 6 | 1 | 1 | 8 |
| 上半身固定器具 | 2 | 1 | | 3 | 〃（乳児型） | 6 | 4 | 9 | 19 |
| 減圧式固定マット | 2 | 1 | 1 | 4 | 〃（簡易型） | 41 | 31 | 21 | 93 |
| 自在副子 | 2 | 2 | 1 | 5 | 白衣・防護服用オゾン除菌庫 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| ｽﾄﾚｯﾁｬｰ取付式簡易ｱｲｿﾚｰﾀｰ | | | 1 | 1 | 自動心肺蘇生器 | 3 | 1 | 1 | 5 |

# 予　防　関　係

# 防 火 対 象 物 状 況

防火対象物とは、消防法第１７条第１項により消防用設備等を設置し、維持しなければならない対象物で、令和７年３月３１日現在、市内に３，０２３棟あります。

内訳としては、５項ロ（共同住宅等）が１，７５０棟と全体の過半数を占めています。

各年度中

| 消防法施行令別表第１の防火対象物 ＼ 年度別 | | | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | イ | 劇場、映画館等 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ロ | 公会堂又は集会場 | 27 | 26 | 28 | 28 | 28 |
| 2 | イ | キャバレー、カフェー等 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ロ | 遊技場、ダンスホール | 5 | 4 | 4 | 3 | 2 |
| | ハ | 性風俗関連特殊営業を営む店舗等 | | | | | |
| | ニ | カラオケボックス等 | | | | | |
| 3 | イ | 待合、料理店等 | | | | | |
| | ロ | 飲食店 | 29 | 31 | 34 | 35 | 33 |
| 4 | | 百貨店、マーケット、店舗 | 97 | 98 | 101 | 100 | 100 |
| 5 | イ | 旅館、ホテル又は宿泊所 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ロ | 寄宿舎、下宿又は共同住宅 | 1,743 | 1,758 | 1,780 | 1,770 | 1,750 |
| 6 | イ | ⑴病院　※１ | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | ⑵有床診療所　※２ | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | ⑶病院・有床診療所等　※３ | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | ⑷無床診療所・無床助産所 | 18 | 18 | 18 | 19 | 19 |
| | ロ | ⑴［高齢者施設］特別養護老人ホーム等 | 38 | 39 | 40 | 43 | 44 |
| | | ⑵［生活保護者施設］救護施設 | | | | | |
| | | ⑶［児童施設］乳児院 | | | | | |
| | | ⑷［障害児施設］障害児入所施設 | | | | | |
| | | ⑸［障害者施設］障害者支援施設等 | 12 | 12 | 14 | 14 | 14 |
| | ハ | ⑴［高齢者施設］老人デイサービス等 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| | | ⑵［生活保護者施設］更生施設 | | | | | |
| | | ⑶［児童施設］保育所等 | 27 | 27 | 29 | 30 | 30 |
| | | ⑷［障害児施設］児童発達支援センター等 | | | | 1 | 1 |
| | | ⑸［障害者施設］身体障害者福祉センター等 | 15 | 15 | 15 | 14 | 14 |
| | ニ | 幼稚園、盲学校、養護学校等 | 20 | 20 | 21 | 21 | 21 |
| 7 | | 小・中・高・大学校等 | 57 | 57 | 57 | 57 | 57 |
| 8 | | 図書館、博物館等 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 9 | イ | 蒸気浴場、熱気浴場 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | ロ | イ以外の公衆浴場 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 10 | | 車両の停車場等 | | | | | |
| 11 | | 神社、寺院、教会等 | 9 | 9 | 9 | 9 | 10 |
| 12 | イ | 工場又は作業場 | 273 | 262 | 260 | 260 | 257 |
| | ロ | 映画・テレビスタジオ等 | | | | | |
| 13 | イ | 自動車車庫又は駐車場 | 27 | 26 | 26 | 23 | 23 |
| | ロ | 飛行機等の格納庫 | | | | | |
| 14 | | 倉庫 | 154 | 156 | 158 | 161 | 159 |
| 15 | | 事務所等 | 152 | 148 | 146 | 147 | 150 |
| 16 | イ | 複合用途防火対象物 | 203 | 191 | 191 | 192 | 196 |
| | ロ | イ以外の複合用途防火対象物 | 79 | 79 | 82 | 84 | 86 |
| 16の2 | | 地下街 | | | | | |
| 16の3 | | 準地下街 | | | | | |
| 17 | | 重要文化財、重要民族資料等 | | | | | |
| 18 | | 延長50ﾒｰﾄﾙ以上のｱｰｹｰﾄﾞ | | | | | |
| 19 | | 市町村長の指定する山林 | | | | | |
| 20 | | 自治省で定める舟車 | | | | | |
| 合　計 | | | 3,013 | 3,005 | 3,042 | 3,040 | 3,023 |

防火対象物実態調査（消防庁）に基づく件数

※１　療養病床、一般病床があり、特定診療科名がある一定の条件の職員数を満たさない病院

※２　病床数が４以上で特定診療科名のある診療所

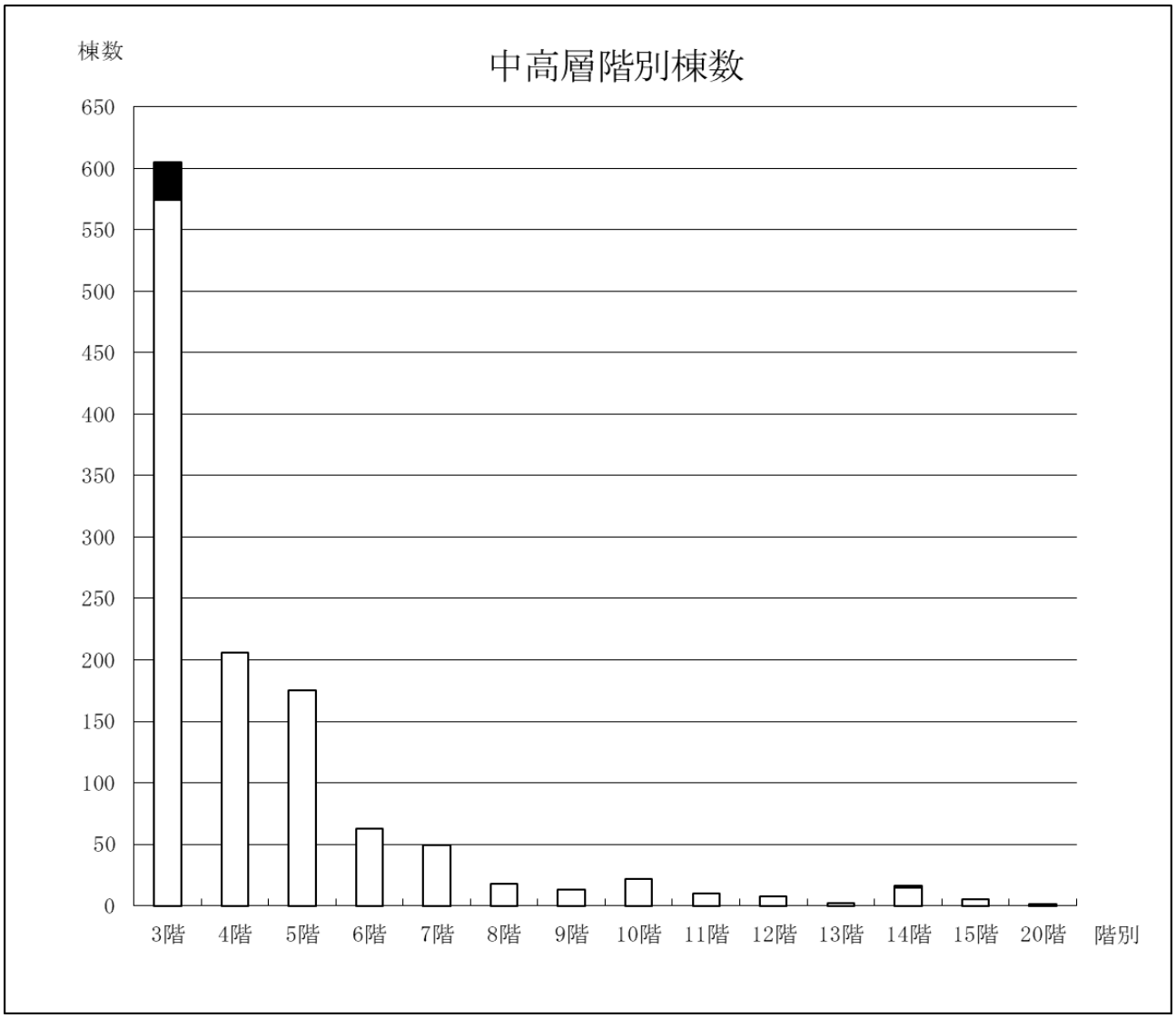
※３　療養病床、一般病床がない病院。療養病床、一般病床がある病院で、特定診療科名がない病院
療養病床、一般病床及び特定診療科名がある病院で、一定の条件の職員数を満たす病院
病床数が３以下の診療所及び病床のある助産所

# 中高層階別防火対象物棟数

中高層建築物は１，１９２棟で前年と比較し、３１棟の増加となった。

各年度中

| 階数 | 3階 | 4階 | 5階 | 6階 | 7階 | 8階 | 9階 | 10階 | 11階 | 12階 | 13階 | 14階 | 15階 | 20階 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和６年度<br>棟　数 | 606 | 205 | 175 | 63 | 48 | 18 | 13 | 22 | 10 | 8 | 2 | 16 | 5 | 1 | 1,192 |
| 令和５年度<br>棟　数 | 574 | 206 | 175 | 63 | 49 | 18 | 13 | 22 | 10 | 8 | 2 | 15 | 5 | 1 | 1,161 |
| 増減 | 32 | −1 | | | −1 | | | | | | | 1 | | | 31 |



# 地域別中高層階別

相模が丘、相武台、ひばりが丘地域で全体の約５０％を占めている。

令和７年３月３１日現在

| 区分 | 3階 | 4階 | 5階 | 6階 | 7階 | 8階 | 9階 | 10階 | 11階 | 12階 | 13階 | 14階 | 15階 | 20階 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 相模が丘 | 159 | 46 | 42 | 21 | 15 | 2 | 5 | 6 | 3 | 4 | 1 | 8 | 2 | 1 | 315 |
| 相武台 | 86 | 33 | 24 | 13 | 11 | 8 | 3 | 5 | | | | 2 | 1 | | 186 |
| 入谷東 | 37 | 15 | 12 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | | | 4 | | | 75 |
| 入谷西 | 26 | 10 | 12 | 11 | 4 | | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | 68 |
| ひばりが丘 | 49 | 11 | 24 | 3 | 5 | 5 | | 2 | 5 | | | | | | 104 |
| 東原 | 21 | 21 | 26 | 3 | 3 | | 1 | 2 | | 1 | | | | | 78 |
| 小松原 | 25 | 16 | 10 | 1 | | 3 | 2 | 2 | | | | | | | 59 |
| 緑ケ丘 | 56 | 8 | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | | | | 1 | | 70 |
| さがみ野 | 28 | 10 | 4 | 2 | 1 | | | | | | | | | | 45 |
| 広野台 | 22 | 10 | 8 | 1 | 2 | | | 1 | | 1 | | 1 | | | 46 |
| 座間 | 21 | 4 | 5 | | 2 | | | | | | | | | | 32 |
| 南栗原 | 14 | 5 | 3 | 2 | 1 | | | 2 | | 2 | | | | | 29 |
| 栗原 | 8 | 4 | 2 | 1 | | | 1 | | | | | | | | 16 |
| 立野台 | 28 | 3 | | | | | | | | | | | | | 31 |
| 栗原中央 | 13 | 5 | 2 | | | | | | | | | | | | 20 |
| 西栗原 | 6 | 4 | | 1 | | | | | | | | | | | 11 |
| 四ツ谷 | 3 | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 新田宿 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 明王 | 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 合計 | 606 | 205 | 175 | 63 | 48 | 18 | 13 | 22 | 10 | 8 | 2 | 16 | 5 | 1 | 1,192 |

# 建築に関わる火災予防

消防同意は、建築物の安全確保のため、建築確認を必要とする建物の確認の前に、消防機関が、防火及び避難に関する安全性並びに消火活動上の円滑性を十分に配慮し、消防設備や建築物の防火に関する法令に問題がないことを確認し、審査・指導を行ったうえで建築に同意するものです。

特に平成２３年６月より全ての住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器は、住宅火災による犠牲者を減らし、人命と財産を守ることを目的としており、適正な維持管理の指導をおこなっていく。

# 5年間の消防同意処理件数

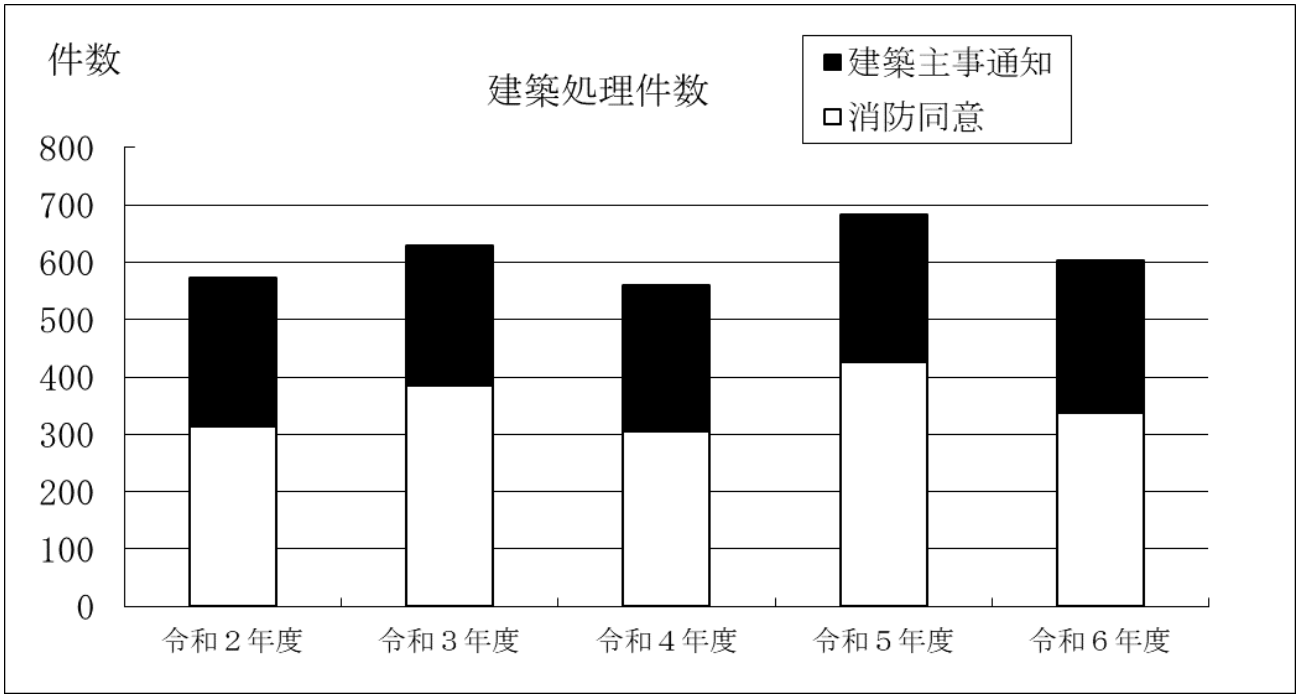
消防同意事務処理状況は、３３７件で前年と比較し、８９件の減少となっている。

建築基準法の一部改正（昭和５９年４月１日施行）による建築主事からの通知件数は、２６６件である。

各年度中

| 年度別 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 消　防　同　意 | 313 | 385 | 305 | 426 | 337 |
| 建築主事通知 | 261 | 245 | 254 | 258 | 266 |

各年度中




※　防火対象物実態調査（消防庁）に基づく件数。

# 月別消防同意申請処理状況

処理状況は、７月の４５件が最も多く、次いで６月の３９件で、最も少ないのが３月の１０件となっている。

令和７年３月３１日現在

| 区分<br>月別 | 新築件数 | 増築件数 | 改築件数 | 用途変更件数 | 計画変更件数 | 取り下げ件数 | その他件数 | 合計件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4　月 | 30 | 1 | | | 3 | | | 34 |
| 5　月 | 33 | | | 1 | 2 | | 1 | 37 |
| 6　月 | 36 | 1 | | | 1 | | 1 | 39 |
| 7　月 | 41 | 1 | | | 3 | | | 45 |
| 8　月 | 34 | | | | 4 | | | 38 |
| 9　月 | 23 | | | | 3 | | | 26 |
| 10　月 | 18 | | | | 2 | | | 20 |
| 11　月 | 18 | | | | 2 | | | 20 |
| 12　月 | 18 | | | | 1 | | 1 | 20 |
| 1　月 | 26 | 1 | | | 3 | | | 30 |
| 2　月 | 16 | 1 | | | | | 1 | 18 |
| 3　月 | 10 | | | | | | | 10 |
| 合　計 | 303 | 5 | | 1 | 24 | | 4 | 337 |

# 業態別消防同意申請処理状況

業態別に見ると、専用住宅が２５９件と最も多く全体の８４．５％を占めている。

令和７年３月３１日現在

| 項別 | 業態別 | 新築件数 | 増築件数 | 改築件数 | 用途変更件数 | 計画変更件数 | 取り下げ件数 | その他件数 | 合計件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 劇場・公会堂等 | | | | | | | | |
| 2 | 遊技場・キャバレー等 | | | | | | | | |
| 3 | 料理店・飲食店等 | | | | | | | | |
| 4 | 百貨店・店舗等 | 1 | | | | | | | 1 |
| 5 | 共同住宅・旅館等 | 39 | | | | 4 | | 1 | 44 |
| 6 | 病院・幼稚園等 | 2 | 1 | | | 1 | | | 4 |
| 7 | 学校 | | 1 | | | | | | 1 |
| 8 | 図書館 | | | | | | | | |
| 9 | 公衆浴場等 | | | | | | | | |
| 10 | 停車場等 | | | | | | | | |
| 11 | 神社・寺院・教会等 | | | | | | | | |
| 12 | 工場又は作業場等 | 1 | | | | | | | 1 |
| 13 | 自動車車庫等 | 3 | 1 | | | | | | 4 |
| 14 | 倉庫 | 3 | | | | | | | 3 |
| 15 | その他事業所 | 3 | | | 1 | 2 | | 1 | 7 |
| 16 | 複合用途 | | | | | | | 1 | 1 |
| | 専用住宅 | 239 | 2 | | | 17 | | 1 | 259 |
| | その他 | 12 | | | | | | | 12 |
| | 合計 | 303 | 5 | | 1 | 24 | | 4 | 337 |

※　防火対象物実態調査（消防庁）に基づく件数

# 危　険　物　関　係

令和７年３月３１日現在、市内の危険物施設事業所は６４事業所、施設数は１２４施設である。

## 類別危険物施設数及び許可・完成検査・廃止届

類別施設数は、第四類危険物が１１９施設で全体の約９６％を占めており、事務処理状況は、許可・完成検査の件数が２６件、仮使用件数が６件となっている。

令和７年３月３１日現在

| 施設＼区分 | | 類別 第一類 | 第二類 | 第三類 | 第四類 | 第五類 | 第六類 | 混在 | 合計 | 処理件数 許可 設置 | 許可 変更 | 完成 設置 | 完成 変更 | 廃止届 | 仮使用 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 製造所 | | | | | 3 | | | 1 | 4 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | 5 |
| 貯蔵所 | 屋内 | | | | 34 | | | 2 | 36 | 2 | 1 | | 1 | | 1 | 5 |
| | 屋外タンク | | | | 7 | | | | 7 | | | | | | | |
| | 屋内タンク | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地下タンク | | | | 25 | | | | 25 | | | 1 | | 2 | | 3 |
| | 簡易タンク | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 移動タンク | | | | 3 | | | | 3 | | | | | | | |
| | 屋外 | | | | 4 | | | | 4 | | | | | | | |
| 取扱所 | 給油 | | | | 18 | | | | 18 | | 1 | | 2 | | 1 | 4 |
| | 販売 第一種 | | | | 2 | | | | 2 | | | | | | | |
| | 販売 第二種 | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | |
| | 一般 | | | | 22 | | | 2 | 24 | | 6 | 1 | 7 | 1 | 3 | 18 |
| 合計 | | | | | 119 | | | 5 | 124 | 2 | 9 | 4 | 11 | 3 | 6 | 35 |

# 手　数　料

各年度中（単位：円）

| 項目・年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設置許可 | 99,000 | 20,000 | 223,000 | 156,000 | 78,000 |
| 変更許可 | 394,000 | 409,500 | 406,500 | 475,500 | 188,500 |
| 完成 | 236,500 | 198,750 | 177,250 | 293,500 | 195,000 |
| 仮使用 | 86,400 | 91,800 | 86,400 | 75,600 | 32,400 |
| 仮貯蔵仮取扱 | | 16,200 | | | 21,600 |
| 水圧 | | | | | |
| 水張 | 112,000 | 53,000 | 17,000 | 24,000 | |
| 合計 | 927,900 | 789,250 | 910,150 | 1,024,600 | 515,500 |

# タンク容量別検査実施状況

各年度中

| 項目・年度 | | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 水張検査 | 10Kリットル以下 | 17 | 7 | 1 | 4 | |
| | 10Kリットルを超え1,000Kリットル以下 | | 1 | 1 | | |
| 水圧検査 | 600リットル以下 | | | | | |
| | 600リットルを超え10Kリットル以下 | | | | | |
| 合計 | | 17 | 8 | 2 | 4 | |

# 指定数量別危険物施設数

倍数別に見ると、５倍以下が５１施設と最も多く、次いで５倍を超え１０倍以下が３２施設となっている。

令和７年３月３１日現在

| 施設／倍数 | 製造所 | 貯蔵所 | | | | | | | 取扱所 | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 屋内 | 屋外タンク | 屋内タンク | 地下タンク | 簡易タンク | 移動タンク | 屋外 | 給油 | 販売 第一種 | 販売 第二種 | 一般 | |
| ５倍以下 | | 16 | 5 | | 10 | | 3 | 2 | | | | 15 | 51 |
| ５倍を超え　１０倍以下 | 3 | 12 | 1 | | 8 | | | | | 1 | | 7 | 32 |
| １０倍を超え　５０倍以下 | | 5 | 1 | | 6 | | | 2 | 7 | 1 | 1 | 2 | 25 |
| ５０倍を超え　１００倍以下 | | | | | | | | | 3 | | | | 3 |
| １００倍を超え　１５０倍以下 | | 1 | | | 1 | | | | 1 | | | | 3 |
| １５０倍を超え　２００倍以下 | | 2 | | | | | | | 2 | | | | 4 |
| ２００倍を超え１０００倍以下 | 1 | | | | | | | | 5 | | | | 6 |
| １０００倍を超え５０００倍以下 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 4 | 36 | 7 | | 25 | | 3 | 4 | 18 | 2 | 1 | 24 | 124 |

# 危険物施設届出状況

届出別に見ると、危険物保安監督者等選解任届が最も多く３９件となっている。

令和７年３月３１日現在

| 施設／届出別 | 製造所 | 貯蔵所 | | | | | | | 取扱所 | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 屋内 | 屋外タンク | 屋内タンク | 地下タンク | 簡易タンク | 移動タンク | 屋外 | 給油 | 販売 第一種 | 販売 第二種 | 一般 | |
| 名称等変更届 | | 6 | 3 | | 2 | | | | 1 | | | 3 | 15 |
| 危険物保安監督者等選解任届 | 1 | 19 | 6 | | 1 | | | | 5 | | | 7 | 39 |
| 資料提出書 | | 2 | | | | | | | 3 | | | 12 | 17 |
| 品名・数量変更届 | | 2 | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| 廃止・休止・再開届 | | | | | 4 | | | | | | | 1 | 5 |
| 譲渡引渡届 | | | | | | | | | | | | | |
| その他（再交付等） | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 1 | 29 | 9 | | 7 | | | | 9 | | | 24 | 79 |

# 地域別危険物施設数

地域別で見ると、広野台地区（２９施設）ひばりが丘地区（２５施設）小松原地区（１６施設）で過半数を占めている。

令和７年３月３１日現在

| 施設＼地域別 | | 座間 | 入谷東 | 入谷西 | 新田宿 | 四ツ谷 | 立野台 | 栗原 | 南栗原 | 東原 | さがみ野 | ひばりが丘 | 小松原 | 相模が丘 | 広野台 | 相武台 | 緑ケ丘 | 明王 | 栗原中央 | 西栗原 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 製造所 | | | | | | | | 1 | | | | | | | 3 | | | | | | 4 |
| 貯蔵所 | 屋内 | | | | | | | 4 | | 3 | | 7 | 7 | 2 | 11 | 1 | 1 | | | | 36 |
| | 屋外タンク | 1 | 1 | | | | | | | | | 3 | 1 | | 1 | | | | | | 7 |
| | 屋内タンク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 地下タンク | 2 | | 2 | 1 | | 1 | 2 | | 5 | | 4 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 1 | | 25 |
| | 簡易タンク | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 移動タンク | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 屋外 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 | | | | | | 4 |
| 取扱所 | 給油 | 2 | | 1 | | | 2 | | | 2 | | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 18 |
| | 販売 | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | 3 |
| | 一般 | 1 | | | | | | 1 | | 1 | 1 | 7 | 2 | | 9 | 2 | | | | | 24 |
| 合計 | | 7 | 1 | 3 | 1 | | 3 | 10 | | 11 | 1 | 25 | 16 | 6 | 29 | 5 | 3 | | 2 | 1 | 124 |

# 消防法・火災予防条例届出状況

各年度中

| 種類 | 届出件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
| 防火管理者選解任届 | 211 | 292 | 292 | 337 | 377 |
| 消防計画書 | 236 | 329 | 322 | 371 | 377 |
| 圧縮アセチレンガス等貯蔵等届 | 9 | 7 | 15 | 25 | 10 |
| 消防用設備等点検報告 | 887 | 691 | 649 | 710 | 957 |
| 防火対象物使用開始届 | 104 | 123 | 137 | 136 | 161 |
| 少量危険物貯蔵等届 | 16 | 22 | 11 | 14 | 20 |
| 火を使用する設備等届 | 13 | 12 | 15 | 16 | 43 |
| 変電設備等設置届 | 17 | 19 | 20 | 27 | 17 |
| ネオン管灯設備設置届 | | | | | |
| 禁止行為解除承認申請 | 18 | 34 | 33 | 40 | 28 |
| 火煙発生届 | 122 | 155 | 189 | 193 | 164 |
| 花火打ち上げ等届 | 8 | 6 | 13 | 11 | 7 |
| 催物開催届 | 3 | | 1 | | 3 |
| 道路工事届 | 298 | 338 | 335 | 400 | 358 |
| 露店等開設届 | 5 | 10 | 25 | 65 | 76 |
| 合計 | 1,947 | 2,038 | 2,057 | 2,345 | 2,598 |

# 防火管理･火災予防対策等の主な事業

１　防火管理者講習会

甲種防火管理者資格取得講習会を令和７年１月２９日、３０日の二日間実施をした。（事務は、神奈川県消防設備安全協会に委託）

２　火災予防運動

⑴　秋季火災予防運動　　令和６年１１月９日から１１月１５日までの７日間

主な実施事項

○　消防車両を使用しての巡回広報
○　車両ステッカー及びワッペンによる広報
○　横断幕・懸垂幕・桃太郎旗・立看板による広報
○　消防訓練の実施
○　消防初動体制の強化
○　消防資機材取り扱い訓練及び点検整備
○　道路障害調査の実施
○　警防調査及び地水利調査の実施
○　移動タンク貯蔵所の立入検査
○　住宅防火・地震火災対策の広報（イオンモール座間でポスター展）
○　立入検査の実施

⑵　春季火災予防運動　　令和７年３月１日から３月７日までの７日間

主な実施事項

○　消防車両を使用しての巡回広報
○　車両ステッカー及びワッペンによる広報
○　横断幕・懸垂幕・桃太郎旗・立看板による広報
○　消防初動体制の強化
○　消防資機材取り扱い訓練及び点検整備
○　道路障害調査の実施
○　警防調査及び地水利調査の実施
○　立入検査の実施
○　住宅防火・地震火災対策の広報（イオンモール座間でポスター展及びデジタルサイネージを実施）

３　住宅防火診断

住宅火災による死傷者の大幅な低減を図ることを目的とし､市内の住宅に対して火気管理や地震火災対策等の防火意識などを高めるため防火診断を実施

4　防火対象物定期点検報告制度・特例認定制度

⑴　不特定多数の者が出入りする一定の規模、用途の防火対象物の管理について権原を有する者は、防火対象物点検資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防長に報告（１年に１回）することが義務付けられた。

本制度の目的は、管理権原者の責任において行わなければならない防火管理業務等の管理体制を、防火対象物点検資格者に火災予防に関する専門的な観点から補強させることにより防火対象物の基準適合状況を継続的に維持させ、火災危険性を排除し人命安全確保を図るものである。

あわせて、これら防火対象物の利用者等にも容易に当該防火対象物の安全性が確認できるよう、点検基準に適合している対象物は、防火基準点検済証又は防火優良認定証を付することができることとされた。

対象としては、一定の防火対象物で以下に掲げるもの。

・特定防火対象物（不特定多数の者が出入りする対象物）の収容人員が３００人以上のもの。

・地階又は３階以上の特定用途防火対象物で地上に直通する階段が１のみの対象物（屋外に設けられた階段を除く）

市内における点検を必要とする防火対象物数　　令和７年３月３１日現在

| 特定用途防火対象物 | | 対象物数 |
|---|---|---|
| １項イ | 映画館等 | 1 |
| １項ロ | 集会場等 | 9 |
| ４項 | 店舗等 | １６ |
| ６項イ（１） | 病院 | 1 |
| ６項イ（４） | 無床診療所等 | 1 |
| ６項ニ | 幼稚園・特別支援学校 | 2 |
| ９項イ | 公衆浴場等 | 1 |
| １６項イ | 複合用途 | ２７ |
| 合　　計 | | ５８ |

⑵　特例認定制度…一定期間内（３年）継続して消防法令を遵守していると認められた場合は、点検報告義務を免除される特例認定制度が導入された。（３年に１回の報告）

特例認定している対象物数　１４対象物

5　防災管理点検報告制度・特例認定制度

⑴　全国的に切迫性が危惧されている大規模地震に対する防火対象物の安全管理や危機対応の充実･強化を図るため、大規模地震等の火災以外の災害に備えた自衛消防力の確保を目的とした消防法の改正（平成２１年６月１日施行）が行われた。

本改正では、特に近年における防火対象物の大規模化・高層化の急激な進展や社会情勢の変化等を踏まえ、一定規模以上の大規模・高層建築物等（以下「防災管理義務対象物」という。）について、地震災害等に対応した防災体制の整備が義務付けされた。

防災管理義務対象物の管理について権原を有する者は、防災管理点検資格者に防災管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防長に報告（１年に１回）する

ことが義務付けられた。
　対象としては、一定の防火対象物で以下に掲げるもの。
・地階を除く階数が１１以上の防火対象物で、延べ面積が１０，０００㎡以上のもの。
・地階を除く階数が５以上１０以下の防火対象物で、延べ面積が２０，０００㎡以上のもの。
・地階を除く階数が４以下の防火対象物で、延べ面積が５０，０００㎡以上のもの。

市内における点検を必要とする防災管理対象物数　　令和７年３月３１日現在

| 防災管理対象物 | | 対象物数 |
|---|---|---|
| １６項イ | 複合用途 | 3 |
| １６項ロ | 複合用途 | 2 |
| 合　　計 | | 5 |

⑵　特例認定制度…一定期間内（３年）継続して消防法令を遵守していると認められた場合は、点検報告義務を免除される特例認定制度が導入された。（３年に１回の報告）

6　事業所、自治会等に対する消防訓練指導
　避難、消火、通報等の事業所等に対する消防訓練及び地震等の災害に対する防災訓練を実施し、事業所の従業員、市民等に対し、防火安全指導を実施した。

令和６年度中

| | 事業所等訓練に対する指導 |
|---|---|
| 本部職員対応 | １５回 |
| 消防署員対応 | ８回 |
| 合　計 | ２３回 |

7　防災映画の上映
　事業所及び幼稚園、保育園の園児等に対し防災映画を上映し、防火意識の向上を図った。
　上映回数　２回　　参加人員　１３０人

8　少年少女消防教育
　市内に在住・在学の小学校３年生から６年生の少年少女を対象に神奈川県消防学校へ出向し、防火思想を図った。

9　消防教育講座
　市内に在住、在学する少年少女（中学、高校生）を対象に防火、防災教育、救急、救助に関わる教育を実施した。教育を体験することにより、各種災害に対するボランティア意識の高揚を図った。

１０　座間市防火安全協会との協力事業
⑴　消火器取扱い訓練　　参加人員　１６人
⑵　危険物取扱者試験受験準備講習会　　参加人員　５０人
⑶　普通救命講習会（２回）　　参加人員　３８人
⑷　第１６回座間市初期消火競技大会　　参加人員　４２人

# 防火管理者と消防計画

消防法第８条では、多数の者が出入りし、勤務し、又は居住する防火対象物の管理について権原を有する者に対して防火管理者を定めさせ、防火管理に係る消防計画の作成及びその計画に基づいた防火設備の維持、管理など防火管理上必要な業務を行わせるよう義務付けています。

防火管理実施義務対象物は市内に８８２棟あり、防火管理者の選任数で最も多いのが複合用途（１６項イ）で２３６棟、次いで共同住宅（５項ロ）２１１棟となっています。複合用途の選任数が多い理由として、一定規模で管理の権原が分かれている対象物（テナント等）にあっては、それぞれの占有している部分での防火管理者を選任する義務が生ずるためです。

防火管理者が業務を行う上で消防計画の作成があり、消防計画は当該防火対象物における防火管理の基本方針にあたります。消防計画の作成数においても最も多いのが、複合用途（１６項イ）次いで共同住宅（５項ロ）となっています。

令和７年３月３１日現在

| 項目 / 消防法施行令別表第１の防火対象物 | | | 防火管理実施義務対象物 | | 防火管理者選任数 | | 消防計画作成数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 |
| 1 | イ | 劇場、映画館等 | 1 | | 1 | | 1 | |
| | ロ | 公会堂又は集会場 | 16 | 7 | 16 | 7 | 15 | 7 |
| 2 | イ | キャバレー、カフェー等 | | | | | | |
| | ロ | 遊技場、ダンスホール | 1 | | 1 | | 1 | |
| | ハ | 性風俗関連特殊営業を営む店舗等 | | | | | | |
| | ニ | カラオケボックス等 | | | | | | |
| 3 | イ | 待合、料理店等 | | | | | | |
| | ロ | 飲食店 | 11 | 23 | 11 | 22 | 11 | 22 |
| 4 | | 百貨店、マーケット、店舗 | 53 | 29 | 55 | 19 | 55 | 17 |
| 5 | イ | 旅館、ホテル又は宿泊所 | 1 | | 1 | | 1 | |
| | ロ | 寄宿舎、下宿又は共同住宅 | 296 | 1 | 211 | | 186 | |
| 6 | イ | （1）病院　※1 | 1 | | 1 | | 1 | |
| | | （2）有床診療所　※2 | 2 | | 2 | | 2 | |
| | | （3）病院・有床診療所等　※3 | 2 | | 2 | | 2 | |
| | | （4）無床診療所・無床助産所 | 7 | | 6 | | 6 | |
| | ロ | （1）［高齢者施設］特別養護老人ホーム等 | 45 | | 44 | | 44 | |
| | | （2）［生活保護者施設］救護施設 | | | | | | |
| | | （3）［児童施設］乳児院 | | | | | | |
| | | （4）［障害児施設］障害児入所施設 | | | | | | |
| | | （5）［障害者施設］障害者支援施設等 | 10 | | 9 | | 8 | |
| | ハ | （1）［高齢者施設］老人デイサービス等 | 5 | 1 | 4 | 1 | 4 | 1 |
| | | （2）［生活保護者施設］更生施設 | | | | | | |
| | | （3）［児童施設］保育所等 | 21 | 2 | 21 | 2 | 21 | 2 |
| | | （4）［障害者施設］児童発達支援センター等 | 1 | | 1 | | 1 | |
| | | （5）［障害者施設］身体障害者福祉センター等 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | ニ | 幼稚園、盲学校、養護学校等 | 11 | | 11 | | 11 | |

令和７年３月３１日現在

| 項　目 / 消防法施行令別表第１の防火対象物 | | | 防火管理実施義務対象物 | | 防火管理者選任数 | | 消防計画作成数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 |
| 7 | | 小・中・高・大学校等 | 19 | | 19 | | 19 | |
| 8 | | 図書館、博物館等 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 9 | イ | 蒸気浴場、熱気浴場 | 1 | | 1 | | 1 | |
| | ロ | イ以外の公衆浴場 | | | | | | |
| 10 | | 車両の停車場等 | | | | | | |
| 11 | | 神社、寺院、教会等 | 8 | | 8 | | 8 | |
| 12 | イ | 工場又は作業場 | 18 | | 18 | | 18 | |
| | ロ | 映画・テレビスタジオ等 | | | | | | |
| 13 | イ | 自動車車庫又は駐車場 | | | | | | |
| | ロ | 飛行機等の格納庫 | | | | | | |
| 14 | | 倉庫 | 15 | | 41 | | 41 | |
| 15 | | 事務所等 | 28 | 8 | 26 | 6 | 25 | 5 |
| 16 | イ | 複合用途防火対象物 | 161 | 11 | 236 | 12 | 225 | 12 |
| | ロ | イ以外の複合用途防火対象物 | 54 | 7 | 53 | 3 | 49 | 2 |
| 合　計 | | | 791 | 91 | 802 | 74 | 759 | 70 |
| | | | 882 | | 876 | | 829 | |

甲種対象物…（特防）　３０人以上、且つ、３００㎡以上

（非特防）５０人以上、且つ、５００㎡以上

乙種対象物…（特防）　３０人以上、且つ、３００㎡未満（６項ロを含むものは除く）

（非特防）５０人以上、且つ、５００㎡未満

※１　療養病床、一般病床があり、特定診療科名がある一定の条件の職員数を満たさない病院

※２　病床数が４以上で特定診療科名のある診療所

※３　療養病床、一般病床がない病院

療養病床、一般病床がある病院で、特定診療科名がない病院

療養病床、一般病床及び特定診療科名がある病院で、一定の条件の職員数を満たす病院

病床数が３以下の診療所及び病床のある助産所

# 査　　察

１　立入検査

火災予防のため防火対象物及び危険物施設に対し、位置、構造、設備及び管理の状況が適切か立入検査を実施した。

特に、不特定多数の者を収容する特定防火対象物を中心に査察を実施し、防火管理体制、防炎物品使用の推進、消防用設備等の維持管理、避難経路の確保など、防火安全について指導した。

２　防火対象物数・危険物施設数及び立入検査実施状況

市内には令和７年３月３１日現在、３，０２３棟の防火対象物があり、特定用途で収容人員が３０人以上及び非特定用途で収容人員が５０人以上の防火対象物は８８２施設ある。

令和６年度は、防火対象物（棟）３，０２３棟に対し１４８棟の立入検査を実施した。

また、危険物施設については、施設総数１２４施設に対し、１５施設実施し、少量危険物貯蔵所・取扱所施設総数３４９施設に対し、１０施設実施した。

３　歳末火災特別査察

歳末大売り出し等で、不特定多数の人が出入りする大型物品販売店舗（延べ面積１,０００㎡以上）に対し立入検査を実施した。

商品の大量陳列により消防用設備等、避難経路には不備がないかなどを確認して関係者に対し防火の啓発を図った。

大型物品販売店舗等　３３事業所

（令和６年１１月１９日～１２月２３日まで）

# 火災予防査察実施状況調

令和６年度中

| 査察区分 / 消防法施行令別表第１の防火対象物 | | | 防火対象物数（棟） | 査察実施数（棟） | 指導を行った防火対象物 | 指導のなかった防火対象物 | 指導内容 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 指導総数 | 建築物 | 消防用設備 | 火気管理 | 危険物関係 | 電気関係 | 防火管理 | その他 |
| 1 | イ | 劇場、映画館等 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| | ロ | 公会堂又は集会場 | 28 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | | | | |
| 2 | イ | キャバレー、カフェー等 | 2 | | | | | | | | | | | |
| | ロ | 遊技場、ダンスホール | 2 | | | | | | | | | | | |
| | ハ | 性風俗関連特殊営業を営む店舗等 | | | | | | | | | | | | |
| | ニ | カラオケボックス等 | | | | | | | | | | | | |
| 3 | イ | 待合、料理店等 | | | | | | | | | | | | |
| | ロ | 飲食店 | 33 | 17 | 14 | 3 | 51 | 1 | 12 | | 1 | 1 | 27 | 9 |
| 4 | | 百貨店、マーケット、店舗 | 100 | 69 | 42 | 27 | 128 | 12 | 29 | 1 | | 2 | 80 | 4 |
| 5 | イ | 旅館、ホテル又は宿泊所 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | ロ | 寄宿舎、下宿又は共同住宅 | 1,750 | 2 | 2 | | 10 | 1 | 2 | | | | 7 | |
| 6 | イ | (1)病院　※１ | 3 | | | | | | | | | | | |
| | | (2)有床診療所　※２ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | | (3)病院・有床診療所等　※３ | 5 | 3 | 3 | | 9 | 1 | 4 | | 1 | 1 | 3 | |
| | | (4)無床診療所及び無床助産所 | 19 | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| | ロ | (1)［高齢者施設］特別養護老人ホーム等 | 44 | 9 | 8 | 1 | 21 | 3 | 7 | 1 | | | 9 | 1 |
| | | (2)［生活保護者施設］救護施設 | | | | | | | | | | | | |
| | | (3)［児童施設］乳児院 | | | | | | | | | | | | |
| | | (4)［障害児施設］障害児入所施設 | | | | | | | | | | | | |
| | | (5)［障害者施設］障害者支援施設等 | 14 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | |
| | ハ | (1)［高齢者施設］老人デイサービス等 | 9 | | | | | | | | | | | |
| | | (2)［生活保護者施設］更生施設 | | | | | | | | | | | | |
| | | (3)［児童施設］保育所等 | 30 | 2 | | 2 | | | | | | | | |
| | | (4)［障害児施設］児童発達支援センター等 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | (5)［障害者施設］身体障害者福祉センター等 | 14 | | | | | | | | | | | |
| | ニ | 幼稚園、盲学校、養護学校等 | 21 | 5 | 3 | 2 | 8 | | 2 | | 1 | | 4 | 8 |
| 7 | | 小・中・高・大学校等 | 57 | | | | | | | | | | | |
| 8 | | 図書館、博物館等 | 1 | 1 | 1 | | 4 | | 3 | | | | 1 | |
| 9 | イ | 蒸気浴場、熱気浴場 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | ロ | イ以外の公衆浴場 | 4 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | 車両の停車場等 | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | 神社、寺院、教会等 | 10 | | | | | | | | | | | |
| 12 | イ | 工場又は作業場 | 257 | 7 | 2 | 5 | 37 | 8 | 8 | | 9 | | 4 | |
| | ロ | 映画・テレビスタジオ等 | | | | | | | | | | | | |
| 13 | イ | 自動車車庫又は駐車場 | 23 | 1 | 1 | | 3 | | 3 | | | | | |
| | ロ | 飛行機等の格納庫 | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | 倉庫 | 159 | 5 | 5 | | 21 | 3 | 6 | | | | 11 | 1 |
| 15 | | 事務所等 | 150 | 12 | 6 | 6 | 10 | 2 | 2 | | | | 6 | |
| 16 | イ | 複合用途防火対象物 | 196 | 8 | 6 | 2 | 39 | | 8 | | | | 31 | |
| | ロ | イ以外の複合用途防火対象物 | 86 | 3 | 3 | | 18 | | 3 | | 2 | | 13 | |
| 16の2 | | 地下街 | | | | | | | | | | | | |
| 16の3 | | 準地下街 | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | 重要文化財、重要民俗資料等 | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | 延長50ﾒｰﾄﾙ以上のｱｰｹｰﾄﾞ | | | | | | | | | | | | |
| 19 | | 市町村長の指定する山林 | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | 自治省で定める舟車 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 3,023 | 148 | 98 | 50 | 361 | 32 | 90 | 2 | 14 | 4 | 196 | 23 |

防火対象物実態調査（消防庁）に基づく件数

※１　療養病床、一般病床があり、特定診療科名がある一定の条件の職員数を満たさない病院

※２　病床数が４以上で特定診療科名のある診療所

※３　療養病床、一般病床がない病院

療養病床、一般病床がある病院で、特定診療科名がない病院

療養病床、一般病床及び特定診療科名がある病院で、一定の条件の職員数を満たす病院

病床数が３以下の診療所及び病床のある助産所

# 危険物施設査察実施状況

危険物火災を防止するため法令の基準（位置・構造・設備・貯蔵・取扱）が適正に維持管理できているかどうか立入検査を実施し、防火安全の徹底を指導した。

令和６年度中

| 区分 / 施設 | | 施設総数 | 査察実施施設数 | 指導内訳 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 合計 | 位置 | 構造 | 設備 | 管理 | その他 |
| 合計 | | 124 | 15 | 19 | | 3 | 3 | 12 | 1 |
| 製造所 | | 4 | 1 | 1 | | | | 1 | |
| 貯蔵所 | 屋内貯蔵所 | 36 | | | | | | | |
| | 屋外タンク貯蔵所 | 7 | | | | | | | |
| | 屋内タンク貯蔵所 | | | | | | | | |
| | 地下タンク貯蔵所 | 25 | | | | | | | |
| | 簡易タンク貯蔵所 | | | | | | | | |
| | 移動タンク貯蔵所 | 3 | 4 | 2 | | | 1 | 1 | |
| | 屋外貯蔵所 | 4 | | | | | | | |
| | 小計 | 79 | 5 | 3 | | | 1 | 2 | |
| 取扱所 | 給油取扱所 | 18 | 10 | 16 | | 3 | 2 | 10 | 1 |
| | 第一種販売取扱所 | 2 | | | | | | | |
| | 第二種販売取扱所 | 1 | | | | | | | |
| | 一般取扱所 | 24 | | | | | | | |
| | 小計 | 45 | 10 | 16 | | 3 | 2 | 10 | 1 |
| 少量危険物貯蔵所・取扱所 | | 349 | 10 | 1 | | | | | 1 |

※ 移動タンク貯蔵所については、路上検査含む。

# 通　信　関　係

# 通　　信

消防通信は、消防活動の中枢的役割を果たすもので、災害通報の受信及び指令を始めとして、災害の情報連絡等を集中的に取り扱います。

複雑多様化、広域化する災害への対応を迅速確実に行い一層の効率化を図る為、海老名市、座間市及び綾瀬市の三市で平成２７年４月１日から共同運用を開始しました。

# 消防指令業務共同運用

各市の消防職員が２４時間体制で勤務し、三市住民約３５万人の１１９番通報の受付を行い、各署所に災害出場指令を出すとともに、災害出動部隊との無線交信などの業務を行っています。

三市共同運用開始から１０年の経過に合わせ、指令機器の更新計画を進める中、近隣の大和市においても同時期の機器更新を迎えるにあたり、あらゆる協議を重ねた結果、四市の共通認識が図られ、協議会に大和市が加入することが決定し、協議会名称を県央東部消防指令事務協議会に改め、現在は、四市での共同運用開始に向けた具体的な準備を進めています。

三市の１１９番通報はすべて受付されており、次のような効果が期待されています。

◆ 的確な対応が可能に

消防指令センターでは、１１９番通報の受信能力・処理能力が大幅に向上し、通報が集中した際でも確実に対応できるようになりました。

◆ 応援出動が迅速化

災害発生状況や消防車両の出動状況などを一元管理することで、救急事故多発時や大規模災害時、通報受信と同時に各市に応援出動をすることが可能です。

◆ 隣接地域への消防・救急対応がスムーズに

座間市と海老名市、綾瀬市が隣接する地域への対応がスムーズに行えます。

◆ 経費節減

施設整備費や維持管理費を節減できます。

# 無　線　設　備　の 現　況

1　デジタル無線　２６０MHｚ

令和７年４月１日現在

| 無線局（基地局） | 区　　分 | | 局数 | 出力 | 運　用 |
|---|---|---|---|---|---|
| 県央東部消防指令センター | 活　動　波 | 消防波１（海老名） | 1 | １０W | 海老名市、座間市、綾瀬市で無線を共同運用<br><br>県央東部消防指令センター基地局における不感エリアでは各前進基地局を用いて通信を行う。 |
| | | 消防波２（座間） | | | |
| | | 消防波３（綾瀬） | | | |
| | | 救　急　波（3 市共有） | | | |
| | 主運用波 | 主運用波（１～７） | | | |
| | 統　制　波 | 統　制　波（１～３） | | | |
| 座間市役所 | 活　動　波 | 消　防　波 | 1 | ５W | 前進基地局及びバックアップとしての県央東部消防指令センター基地局の保管局 |
| | | 救　急　波 | | | |

| 無線局（陸上移動局） | 区　分 | | 出　力 | 消防本部 | 本署 | 東分署 | 北分署 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 車載型 | 活　動　波 | 消　防　波（１～３） | ５W | ５ | １２ | ４ | ４ |
| 携帯型 | | | １W | | １１ | ３ | ３ |
| 卓上型 | | 救　急　波 | ５W | | １ | １ | １ |
| 可搬型 | 主運用波 | 主運用波 ６ | ５W | | １ | | |

2　アナログ無線　４００MHｚ（署活動無線機）

令和７年４月１日現在

| 無線局（陸上移動局） | 区　分 | 出　力 | 消防本部 | 本　署 | 東分署 | 北分署 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 携帯型 | 署　活　動　波　１ | １W | ５ | ２２ | ７ | ７ |
| | 署　活　動　波　２ | | | | | |
| | 関　東　共　通　波 | | | | | |
| | 防　災　相　互　波 | | | | | |

# 指令台受付件数調

令和６年中

| 項目 | | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 火災受付件数 | 固定電話 | | 1 | | | | | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 9 | 0.8 |
| | 携帯電話 | 1 | 4 | 2 | 1 | | | 1 | | 3 | 7 | | 1 | 20 | 1.7 |
| | ＩＰ電話 | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | | | 4 | 0.3 |
| 救急受付件数 | 固定電話 | 87 | 65 | 62 | 69 | 59 | 57 | 66 | 59 | 61 | 56 | 58 | 67 | 766 | 63.8 |
| | 携帯電話 | 367 | 302 | 328 | 271 | 274 | 327 | 430 | 374 | 316 | 329 | 337 | 406 | 4,061 | 338.4 |
| | ＩＰ電話 | 250 | 209 | 209 | 183 | 196 | 197 | 274 | 188 | 177 | 179 | 184 | 275 | 2,521 | 210.1 |
| 救助受付件数 | 固定電話 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | 7 | 0.6 |
| | 携帯電話 | 9 | 11 | 4 | 6 | 5 | 8 | 7 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 87 | 7.3 |
| | ＩＰ電話 | | 2 | 1 | | 1 | | | | 2 | | 1 | | 7 | 0.6 |
| 火災・救急・救助を除いた受付件数（ＰＡ・支援も含む） | 固定電話 | 1 | 4 | | 4 | | 4 | 4 | 8 | 3 | 1 | 2 | 2 | 33 | 2.8 |
| | 携帯電話 | 3 | 5 | 5 | 7 | 5 | 1 | 6 | 8 | 3 | 4 | 1 | 6 | 54 | 4.5 |
| | ＩＰ電話 | 3 | 2 | | 1 | 2 | | 2 | 6 | 4 | | 1 | | 21 | 1.8 |
| 他市から転送を受けた件数（座間消防が受信した件数も含む） | 火災受付 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 4 | 0.3 |
| | 救急受付 | 31 | 27 | 23 | 30 | 31 | 34 | 54 | 37 | 48 | 32 | 37 | 54 | 438 | 36.5 |
| | 救助受付 | 2 | 3 | 1 | | 2 | | 2 | 1 | | 3 | 1 | 4 | 19 | 1.6 |
| | 除いた受付 | 3 | | 4 | 1 | | 3 | 3 | 2 | | 2 | 1 | 1 | 20 | 1.7 |
| 携帯他市へ転送件数（転送） | | 70 | 41 | 52 | 42 | 43 | 62 | 53 | 55 | 41 | 47 | 60 | 69 | 635 | 52.9 |
| 試験等件数 | | 6 | 12 | 4 | 12 | 5 | 3 | 6 | 2 | 7 | 10 | 3 | 5 | 75 | 6.3 |
| 病院案内件数 | | 26 | 32 | 21 | 16 | 21 | 27 | 21 | 34 | 22 | 17 | 19 | 28 | 284 | 23.7 |
| いたずら件数 | | | | | 1 | 2 | 2 | 1 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 12 | 1.0 |
| 誤報件数 | | 9 | 4 | 1 | 5 | 10 | 5 | 9 | 4 | 10 | 12 | 9 | 13 | 91 | 7.6 |
| 問い合わせ件数 | | 18 | 20 | 11 | 16 | 12 | 10 | 21 | 16 | 15 | 21 | 11 | 12 | 183 | 15.3 |
| ＦＡＸ１１９件数 | | | 1 | | | | | | | | | 14 | | 15 | 1.3 |
| 通報訓練件数 | | 14 | 8 | 17 | 2 | 11 | 17 | 15 | 8 | 16 | 23 | 29 | 15 | 175 | 14.6 |
| その他件数 | | 93 | 110 | 93 | 82 | 78 | 96 | 109 | 108 | 102 | 96 | 102 | 91 | 1,160 | 96.7 |
| 合計 | | 994 | 864 | 839 | 750 | 758 | 855 | 1,088 | 920 | 841 | 851 | 880 | 1,061 | 10,701 | 891.8 |

※　指令台受付件数調は海老名市・座間市・綾瀬市消防指令センターで受信した座間市の件数（海老名市及び綾瀬市の件数は含みません。）

※　ＦＡＸ１１９件数のうち、２４件は通報訓練による件数

○一般加入電話受付件数　　令和６年中

| 項目 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 消防無線件数 | 2 | 7 | 4 | 2 | | | 5 | 2 | 1 | 5 | 4 | 2 | 34 | 2.8 |
| 駆付件数 | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 2 | 2 | | 3 | 1 | 13 | 1.1 |
| 自己覚知件数（その他・内線含む） | | | 3 | | 2 | 2 | 1 | 12 | 7 | 3 | | 4 | 34 | 2.8 |
| 専用線件数 | 6 | 2 | 2 | 1 | 3 | 4 | 5 | | 6 | 6 | 3 | 2 | 40 | 3.3 |
| 緊急通報件数 | 2 | 2 | | 3 | | 3 | 4 | | 5 | 1 | 3 | 4 | 27 | 2.3 |
| 非常用電話件数 | | | | | | | | | | | | | | |
| ＮＥＴ１１９件数 | | | 1 | | | 3 | | | | | 2 | 1 | 7 | 0.6 |
| 県防ＦＡＸ件数 | | | | | | | 2 | | | | | | 2 | 0.2 |
| 合計 | 10 | 11 | 11 | 7 | 6 | 14 | 17 | 16 | 21 | 15 | 15 | 14 | 157 | 13.1 |

○１１９番・一般加入電話以外の受付件数　　令和６年中

| 項目 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 火災水防等受付件数 | 2 | 2 | 4 | 7 | 1 | 3 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 3 | 35 | 2.9 |
| 救急受付件数 | 7 | 3 | 5 | 2 | 2 | 2 | 6 | 5 | 4 | 3 | 4 | 4 | 47 | 3.9 |
| 救助受付件数 | | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 1 | 2 | 21 | 1.8 |
| 災害問い合わせ件数 | 18 | 20 | 11 | 16 | 12 | 10 | 21 | 16 | 15 | 21 | 11 | 12 | 183 | 15.3 |
| 病院案内件数 | 26 | 32 | 21 | 16 | 21 | 27 | 21 | 34 | 22 | 17 | 19 | 28 | 284 | 23.7 |
| 合計 | 53 | 60 | 43 | 42 | 37 | 43 | 53 | 59 | 43 | 50 | 38 | 49 | 570 | 47.6 |

○テレホンガイド゛利用件数　　令和６年中

| 項目 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 合計 | 月平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 災害等案内件数 | 144 | 253 | 212 | 208 | 188 | 201 | 216 | 130 | 225 | 295 | 214 | 283 | 2,569 | 214.1 |
| 病院案内件数 | 195 | 172 | 121 | 124 | 180 | 126 | 131 | 130 | 138 | 118 | 117 | 183 | 1,735 | 144.6 |
| 合計 | 339 | 425 | 333 | 332 | 368 | 327 | 347 | 260 | 363 | 413 | 331 | 466 | 4,304 | 358.7 |

# 気　　象　　状　　況

1　気温

令和６年中

| 月別 / 種別 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最高気温℃ | 18.6 | 24.5 | 28.0 | 28.1 | 29.1 | 34.6 | 39.8 | 37.6 | 35.7 | 31.1 | 24.5 | 18.2 |
| 最低気温℃ | -0.4 | 1.6 | 1.6 | 7.7 | 10.2 | 16.2 | 23.2 | 24.3 | 18.3 | 11.3 | 3.9 | -0.6 |
| 平均気温℃ | 8.1 | 8.9 | 10.5 | 17.7 | 20.6 | 23.9 | 30.0 | 30.1 | 26.7 | 20.5 | 13.8 | 7.9 |

2　湿度

令和６年中

| 月別 / 種別 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平均湿度% | 42.1 | 54.5 | 48.8 | 62.8 | 62.3 | 68.7 | 67.2 | 70.8 | 77.5 | 78.5 | 67.1 | 51.9 | 62.6 |

3　天候

令和６年中

| 月別 / 種別 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 晴（日数） | 24 | 16 | 20 | 12 | 16 | 16 | 20 | 17 | 14 | 8 | 18 | 31 | 212 |
| 曇（日数） | 5 | 6 | 2 | 9 | 3 | 2 | 4 | 4 | 6 | 7 | 3 | | 51 |
| 雨（日数） | 2 | 6 | 9 | 9 | 12 | 12 | 7 | 10 | 10 | 16 | 9 | | 102 |
| 雪（日数） | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |

4　降雨量

令和６年中

| 月別 / 種別 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 降雨量㎜ | 50.0 | 97.5 | 248.5 | 133.5 | 255.5 | 395.0 | 129.0 | 514.0 | 105.5 | 187.5 | 112 | 0.0 | 185.6 |

総雨量２，２２８．０㎜

5　風速

令和６年中

| 月別 / 種別 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最大風速m/s | 14.8 | 18.2 | 18.5 | 16.4 | 19.7 | 15.8 | 16.5 | 12.3 | 15.9 | 13.2 | 13.9 | 13.3 |
| 平均 | 0.8 | 1.0 | 1.2 | 1 | 1.4 | 1.0 | 0.9 | 1.2 | 1.1 | 0.7 | 0.9 | 0.8 |

# 気 象 特 報 発 令 回 数

令和６年中

| 注意報 | 雷 | 強風 | 乾燥 | 大雨 | 洪水 | 低温 | 濃霧 | 霜 | 大雪 | 風雪<br>着雪・着氷 | 光化学スモッグ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 発令回数 | 83 | 47 | 11 | 16 | 8 | 5 | 5 | 9 | 2 | 1 | 3 |

| 警報 | 大雨<br>（土砂災害）・（浸水害） | 洪水 | 大雪 | 暴風 | 暴風雪 |
|---|---|---|---|---|---|
| 発令回数 | 3 | | 1 | | |

# 火　災　関　係

# 火　　災　　関　　係

1　火災件数

令和６年中における座間市の火災件数は２２件で、令和５年中と比べ１６件の減少となっています。

火災種別ごとに見ると、建物火災が１３件（火災件数５９％）、車両火災が２件（９％）、その他火災が７件（３１％）となっています。これらを前年と比較すると建物火災が７件減少、車両火災は変わらず、その他火災が９件増加しています。

2　火災原因

火災原因では、放火の疑いが６件と最も多く、火災件数の２７％を占めており、続いてたばこが４件、その他が３件、放火、電気機器、ストーブが各２件、電気装置、配線器具、火あそびが各１件となっています。

3　建物別火災状況

建物火災１３件のうち、用途別にみると住宅火災が１０件（専用住宅５件、共同住宅５件）で、建物火災の約７６％を占めています。次いで、店舗が２件、工場が１件となっています。

4　月別火災状況

火災件数を四季別に見ると、春季（３・４・５月）５件、夏季（６・７・８月）５件、秋季（９・１０・１１月）６件、冬季（１２・１・２月）６件となっています。

5　出火時刻別火災状況

火災件数を昼間（６時～１８時）、夜間（０時～６時・１８時～２４時）及び不明に分けると、昼間が１４件、夜間が７件、不明が１件となっています。

火災種別ごとに見ると、昼間は建物火災８件、その他火災５件、車両火災１件、夜間は建物火災５件、その他火災１件、車両火災１件となっています。

建物火災の焼損棟数の合計は２２棟です。その内訳は昼間が（６時～１８時）全焼２棟、部分焼１棟、ぼや１４棟で、夜間は（０時～６時・１８時～２４時）部分焼２棟、ぼや３棟でした。

6　地域別火災状況

火災の発生を地域別で見ると、相模が丘で５件、広野台、座間で３件、新田宿、南栗原で各２件、入谷西、四ツ谷、緑が丘、立野台、相武台、栗原中央、東原で各１件、その他の地域で火災の発生はありませんでした。

7　死傷者

火災による令和６年中の負傷者は２人で死者は１人でした。平成２７年以降の１０年間の平均は、負傷者４．９人、死者１．４人となっています。

8　損害額

火災による損害額は、２０，１７７千円で前年に比べて１８，７７４千円の減となっています。

損害額の平成２７年以降の１０年間平均は、４０，７９５千円となっています。

## 10年間火災状況調

各年中

| 項目／年別 | 火災件数 | | | | 焼損棟数 | 死者数 | 負傷者数 | り災世帯 | り災人員 | 焼損床面積 | 焼損表面積 | 損害額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計（件） | 建物（件） | 車両（件） | その他（件） | （棟） | （人） | （人） | （世帯） | （人） | （㎡） | （㎡） | （千円） |
| 27 | 25 | 18 | 1 | 6 | 27 | 4 | 7 | 18 | 48 | 148 | 35 | 35,753 |
| 28 | 10 | 6 | 1 | 3 | 12 | 1 | | 7 | 11 | 134 | 57 | 13,185 |
| 29 | 21 | 13 | 1 | 7 | 17 | 1 | 6 | 10 | 18 | 257 | 26 | 86,494 |
| 30 | 24 | 16 | 2 | 6 | 16 | 2 | 8 | 16 | 21 | 55 | 9 | 18,687 |
| 元 | 34 | 18 | 1 | 15 | 30 | 3 | 11 | 32 | 62 | 593 | 40 | 104,575 |
| 2 | 34 | 19 | 4 | 11 | 21 | 2 | 8 | 22 | 52 | 356 | 9 | 63,220 |
| 3 | 24 | 14 | 2 | 8 | 16 | | 3 | 17 | 26 | 151 | | 14,431 |
| 4 | 31 | 19 | 1 | 11 | 19 | | 3 | 14 | 27 | 127 | 2 | 12,478 |
| 5 | 38 | 20 | 2 | 16 | 24 | | 1 | 21 | 53 | 1157 | 16 | 38,951 |
| 6 | 22 | 13 | 2 | 7 | 22 | 1 | 2 | 20 | 40 | 250 | | 20,177 |
| 平均 | 26.3 | 15.6 | 1.7 | 9.0 | 20.4 | 1.4 | 4.9 | 17.7 | 35.8 | 322.8 | 19.4 | 40,795 |

# 火 災 状 況（ その１ ）

令和６年中

| 区分 / 月別 | 火災種別 | | | | 死傷者 | | 建物火災 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小計 | 建物 | 車両 | その他 | 死者 | 負傷者 | 焼損棟数 | | | | | り災世帯数 | | | | り災人員 | 焼損床面積（㎡） | | | | | 焼損表面積（㎡） | | | |
| | | | | | | | 全焼 | 半焼 | 部分焼 | ぼや | 合計 | 全損 | 半損 | 小損 | 合計 | | 全焼 | 半焼 | 部分焼 | ぼや | 合計 | 半焼 | 部分焼 | ぼや | 合計 |
| １月 | 2 | 2 | | | | 1 | | | | 2 | 2 | | | 2 | 2 | 3 | | | | | | | | | |
| ２月 | 2 | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ３月 | 3 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ４月 | 2 | 2 | | | | | | | | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| ５月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ６月 | 3 | 2 | | 1 | | | | | | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| ７月 | 1 | 1 | | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | 23 | | 23 | | | | |
| ８月 | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 3 | | | | | | | | | |
| ９月 | 2 | 1 | | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | 9 | | 9 | | | | |
| １０月 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | 2 | | 1 | 8 | 11 | 2 | | 8 | 10 | 22 | 170 | | 48 | | 218 | | | | |
| １１月 | 1 | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| １２月 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | 2 | 7 | | | | | | | | | |
| 合 計 | 22 | 13 | 2 | 7 | 1 | 2 | 2 | | 3 | 17 | 22 | 2 | | 18 | 20 | 40 | 170 | | 80 | | 250 | | | | |

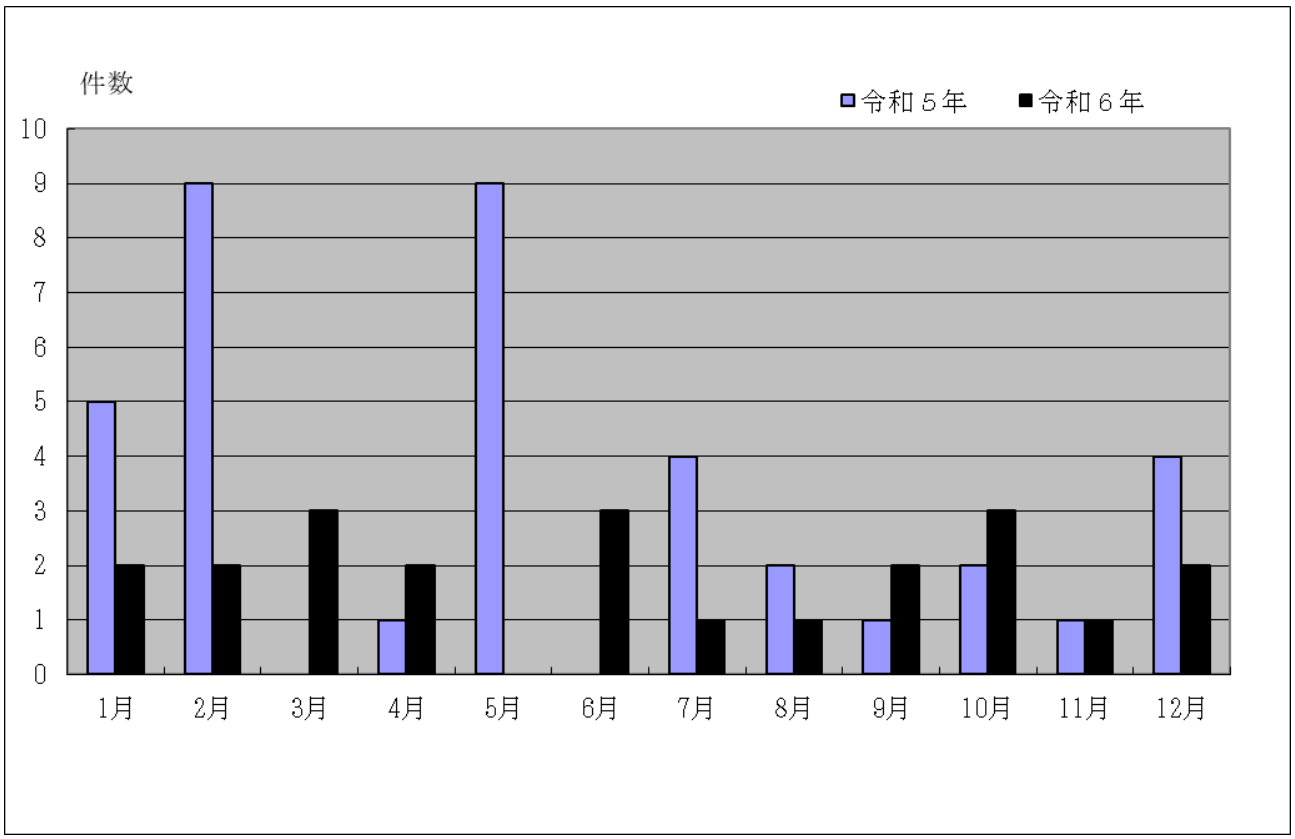
# 火 災 状 況（その２）

令和６年中

| 区分／月別 | 火災種別 | | | | 火災損害額（千円） | | | | | 出動人員 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小計 | 建物 | 車両 | その他 | 建物火災 | | 車両 | その他 | 小計 | 職員 | 団員 | 小計 |
| | | | | | 不動産 | 動産 | | | | | | |
| １月 | 2 | 2 | | | | | | | | 30 | 5 | 35 |
| ２月 | 2 | | 2 | | | | 533 | | 533 | 23 | 2 | 25 |
| ３月 | 3 | | | 3 | | | | | | 51 | 1 | 52 |
| ４月 | 2 | 2 | | | 10 | | | | 10 | 37 | 13 | 50 |
| ５月 | | | | | | | | | | | | |
| ６月 | 3 | 2 | | 1 | | 1 | | | 1 | 53 | | 53 |
| ７月 | 1 | 1 | | | 936 | 10 | | | 946 | 27 | 4 | 31 |
| ８月 | 1 | 1 | | | | | | | | 24 | | 24 |
| ９月 | 2 | 1 | | 1 | 172 | | | | 172 | 36 | | 36 |
| １０月 | 3 | 2 | | 1 | 17,836 | 647 | | | 18,483 | 79 | 29 | 108 |
| １１月 | 1 | 1 | | | | 32 | | | 32 | 27 | 4 | 31 |
| １２月 | 2 | 1 | | 1 | | | | | | 31 | | 31 |
| 合計 | 22 | 13 | 2 | 7 | 18,954 | 690 | 533 | | 20,177 | 418 | 58 | 476 |

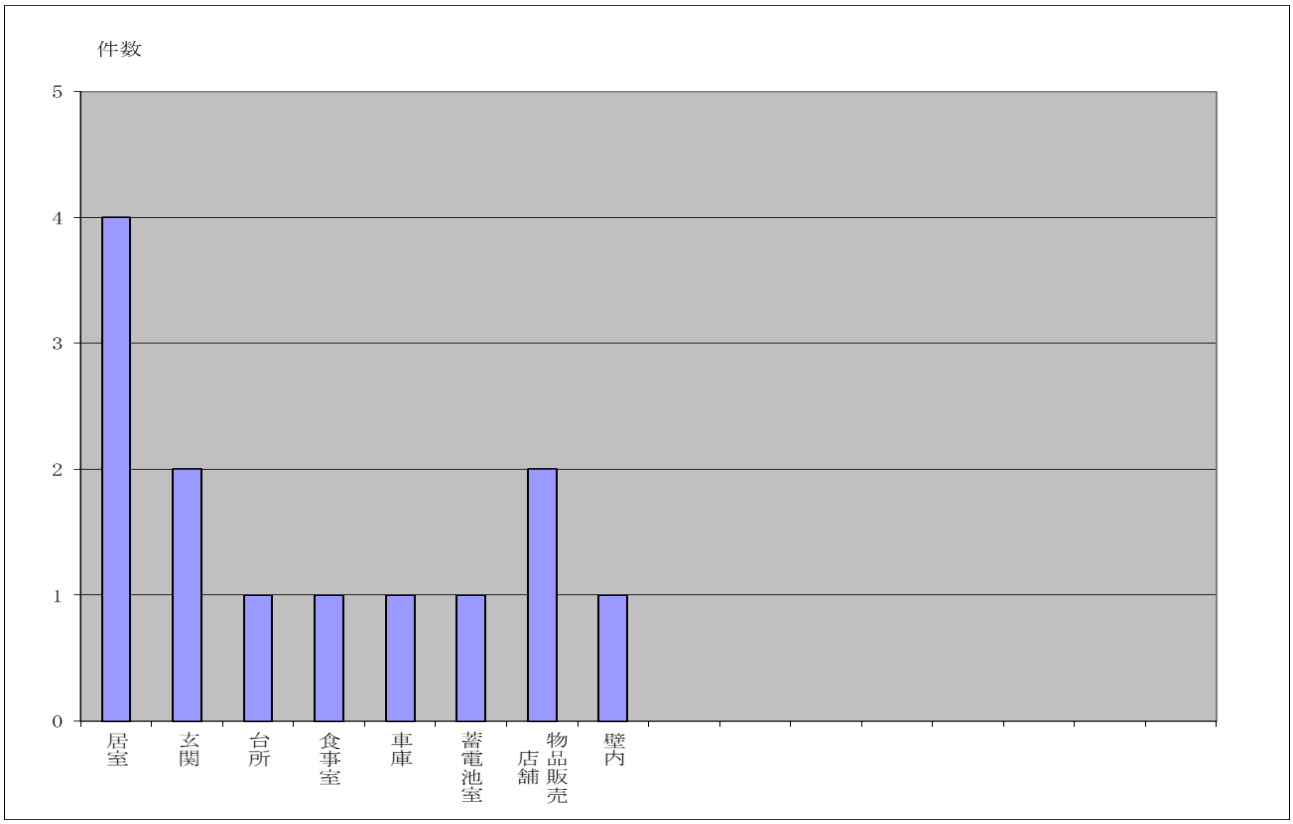
# 月 別 火 災 状 況 調

各年中



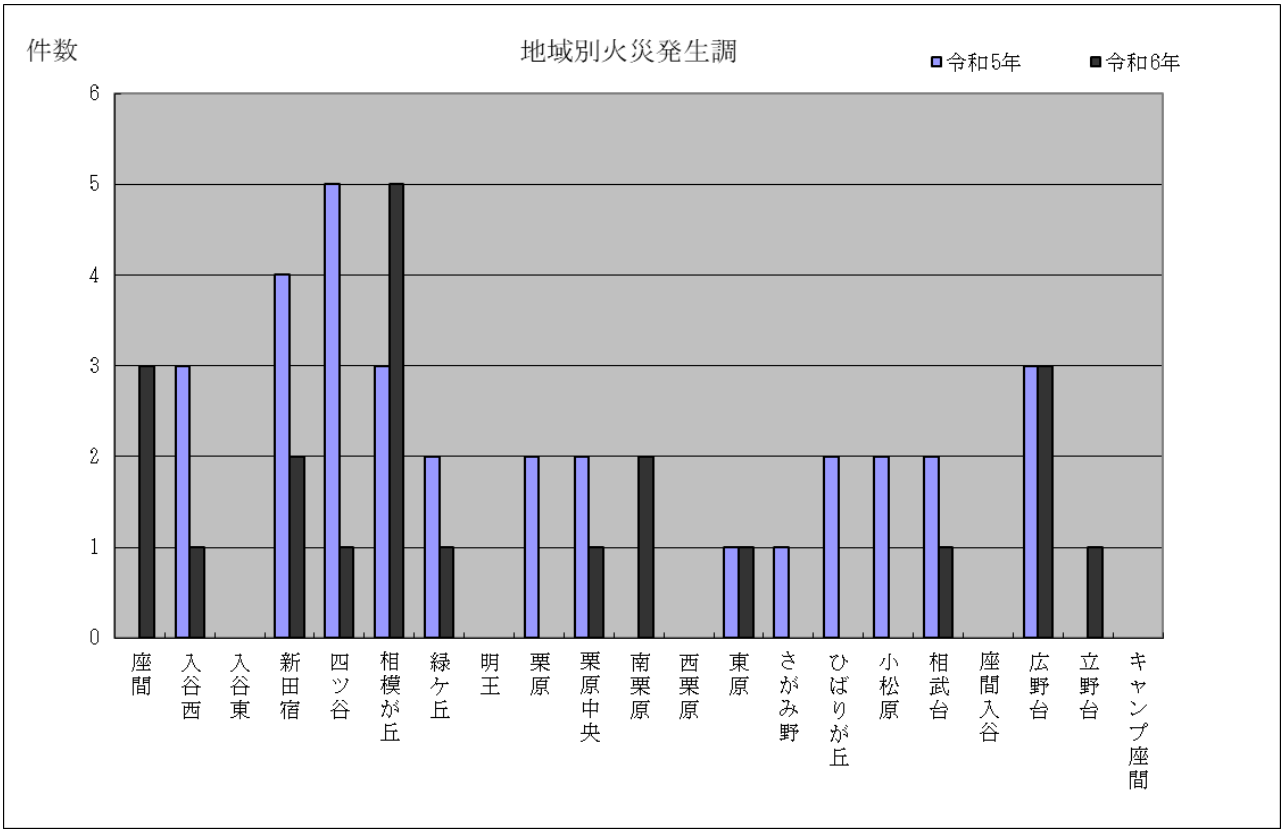

# 建物火災出火場所別調

令和６年中



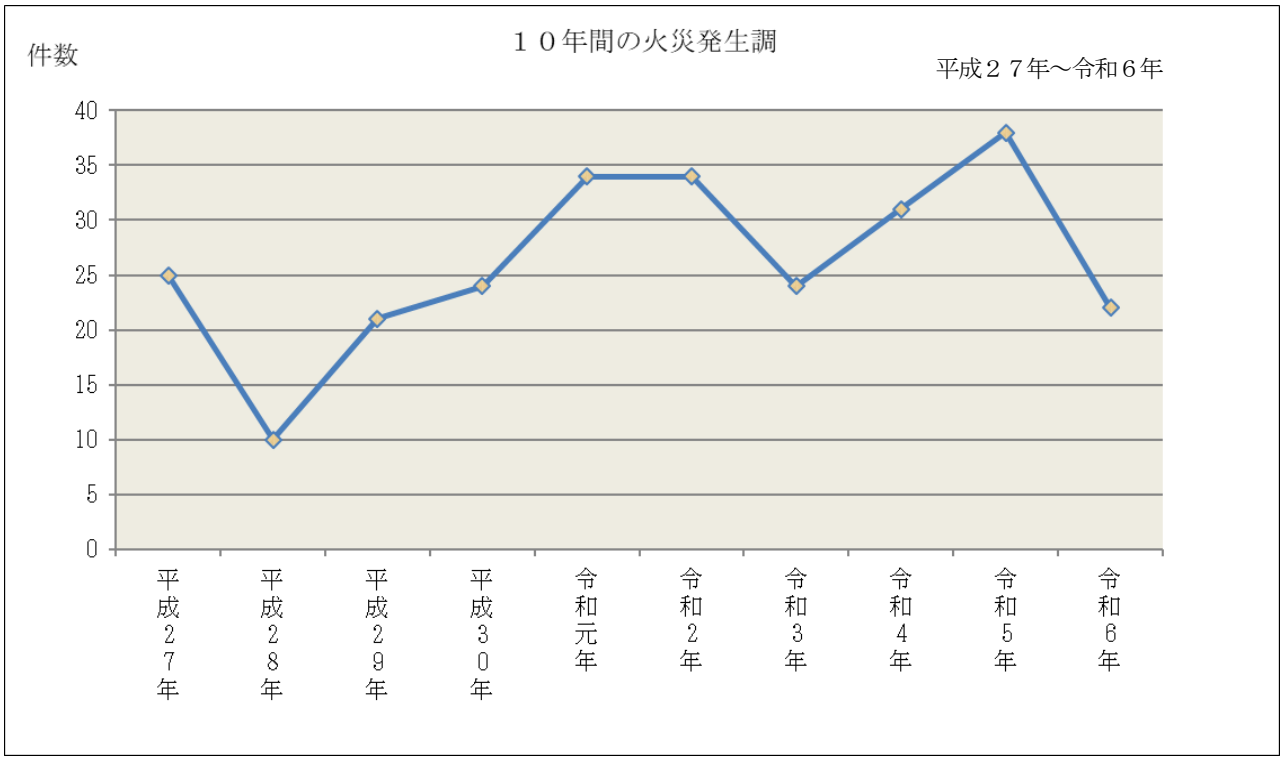
# 地域別火災発生調

各年中




# 10年間の火災発生調

各年中



# 出火時間別火災状況調

令和６年中

| 時間別 | 火災種別 | | | | 焼損棟数 | | | | 死傷者 | | 覚知方法 | | | | | | | | り災世帯 | り災人員 | 焼損床面積 | 焼損表面積 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小計 | 建物 | 車両 | その他 | 全焼 | 半焼 | 部分焼 | ぼや | 死者 | 負傷者 | 火災報知機 | 専用電話 | 携帯電話 | 加入電話 | 警察電話 | 駆付け通報 | 事後聞知 | その他 | （世帯） | （人） | （㎡） | （㎡） |
| ０～２ | 3 | 3 | | | | | | | 1 | | | 3 | | | | | | | 3 | 3 | 32 | |
| ２～４ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ４～６ | 1 | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | 1 | | 1 | 2 | | |
| ６～８ | 3 | 1 | | 2 | | | | 1 | | | | 3 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| ８～１０ | 1 | 1 | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| １０～１２ | 3 | 2 | 1 | | | | 1 | 1 | | | | 2 | | | | | 1 | | | | 48 | |
| １２～１４ | 4 | 2 | | 2 | 2 | | | 9 | | 1 | | 2 | | 1 | | | 1 | | 10 | 22 | 170 | |
| １４～１６ | 1 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| １６～１８ | 2 | 2 | | | | | | 2 | | | | 2 | | | | | | | 2 | 7 | | |
| １８～２０ | 2 | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | 2 | | | | | | | 1 | 3 | | |
| ２０～２２ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２２～２４ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 不明 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 合計 | 22 | 13 | 2 | 7 | 2 | | 1 | 15 | 1 | 2 | | 16 | | 1 | | | 5 | | 19 | 39 | 249 | |

# 出火時間別原因調

令和６年中

| 時間別 | 火災種別 | | | | 火災原因調 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小計 | 建物 | 車両 | その他 | たばこ | こんろ | かまど | 風呂かまど | 炉 | 焼却炉 | ストーブ | こたつ | ボイラー | 煙突・煙道 | 排気管 | 電気機器 | 電気装置 | 電灯・電話等の配線 | 内燃機関 | 配線器具 | 火遊び | マッチ・ライター | たき火 | 溶接機・溶断器 | 灯火 | 衝突の火花 | 取灰 | 火入れ | 放火 | 放火の疑い | その他 | 不明・調査中 |
| ０～２ | 3 | 3 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| ２～４ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ４～６ | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| ６～８ | 3 | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | |
| ８～１０ | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| １０～１２ | 3 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| １２～１４ | 4 | 2 | | 2 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| １４～１６ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| １６～１８ | 2 | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| １８～２０ | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| ２０～２２ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２２～２４ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 不　明 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 合　計 | 22 | 13 | 2 | 7 | 4 | | | | | | 2 | | | | | 2 | 1 | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | 6 | 3 | |

# 署所別火災状況調

令和６年中

| 署所別 | 火災種別 | | | | 死傷者 | | 焼損棟数 | | | | り災世帯 | り災人員 | 焼損床面積 | 焼損表面積 | 損害額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 小計 | 建物 | 車両 | その他 | 死者 | 負傷者 | 全焼 | 半焼 | 部分焼 | ぼや | (世帯) | (人) | (㎡) | (㎡) | (千円) |
| 本　署 | 9 | 3 | 1 | 5 | | | | | | 3 | 4 | 11 | | | 473 |
| 東分署 | 4 | 2 | 1 | 1 | | 1 | 2 | | | 9 | 11 | 23 | 170 | | 18,553 |
| 北分署 | 9 | 8 | | 1 | 1 | 1 | | | 3 | 5 | 5 | 6 | 80 | | 1,151 |
| 合　計 | 22 | 13 | 2 | 7 | 1 | 2 | 2 | | 3 | 17 | 20 | 40 | 250 | | 20,177 |

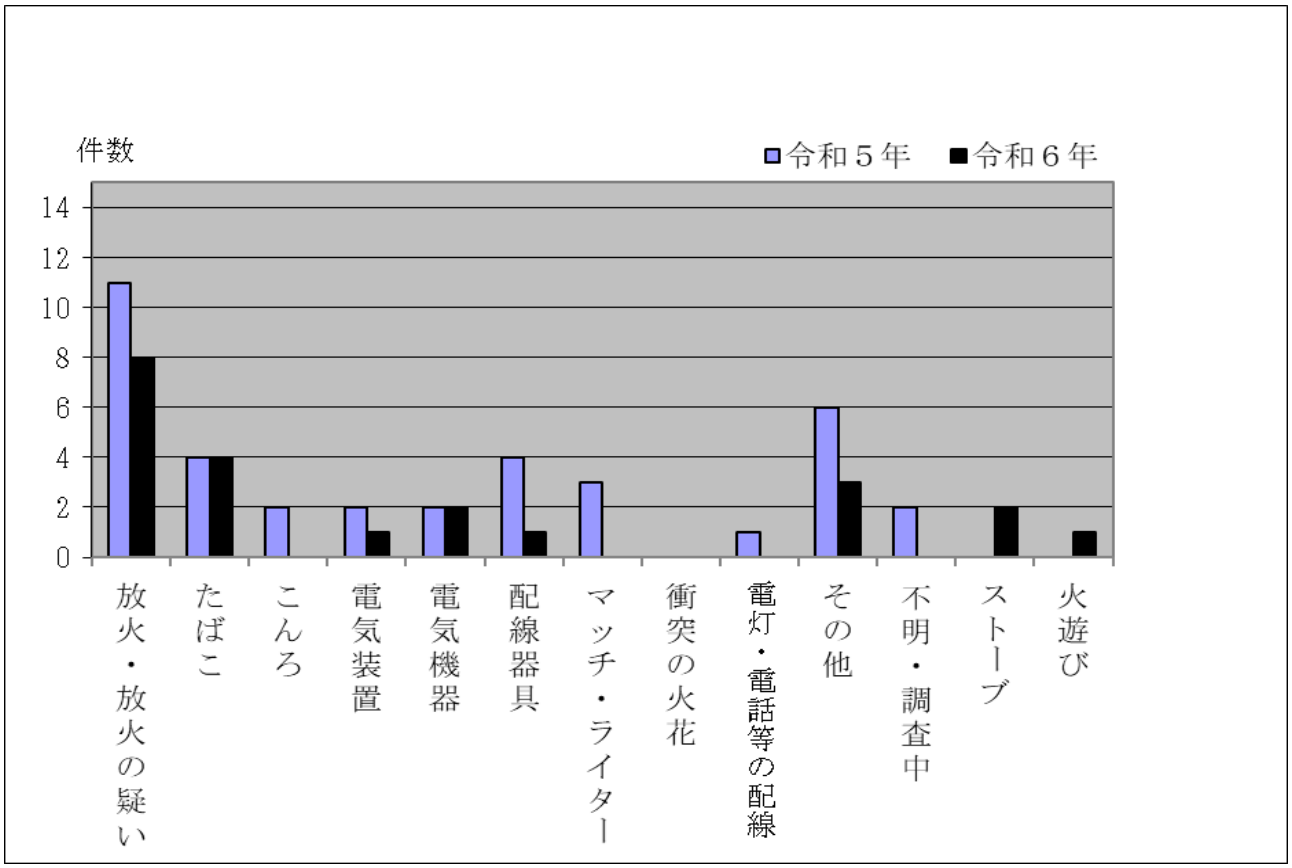
# 火災原因別出火件数

令和６年中

| 原因別／月別 | 小計 | たばこ | こんろ | 火遊び | 電気機器 | 電気装置 | 電灯・電話等の配線 | 配線器具 | マッチライター | 灯火 | ストーブ | 放火 | 放火の疑い | その他 | 不調査中明 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １月 | 2 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| ２月 | 2 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| ３月 | 3 | 1 | | 1 | | | | | | | | | 1 | | |
| ４月 | 2 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| ５月 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ６月 | 3 | | | | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| ７月 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| ８月 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| ９月 | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| １０月 | 3 | | | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | |
| １１月 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| １２月 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 合　計 | 22 | 4 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | | 2 | 2 | 6 | 3 | |

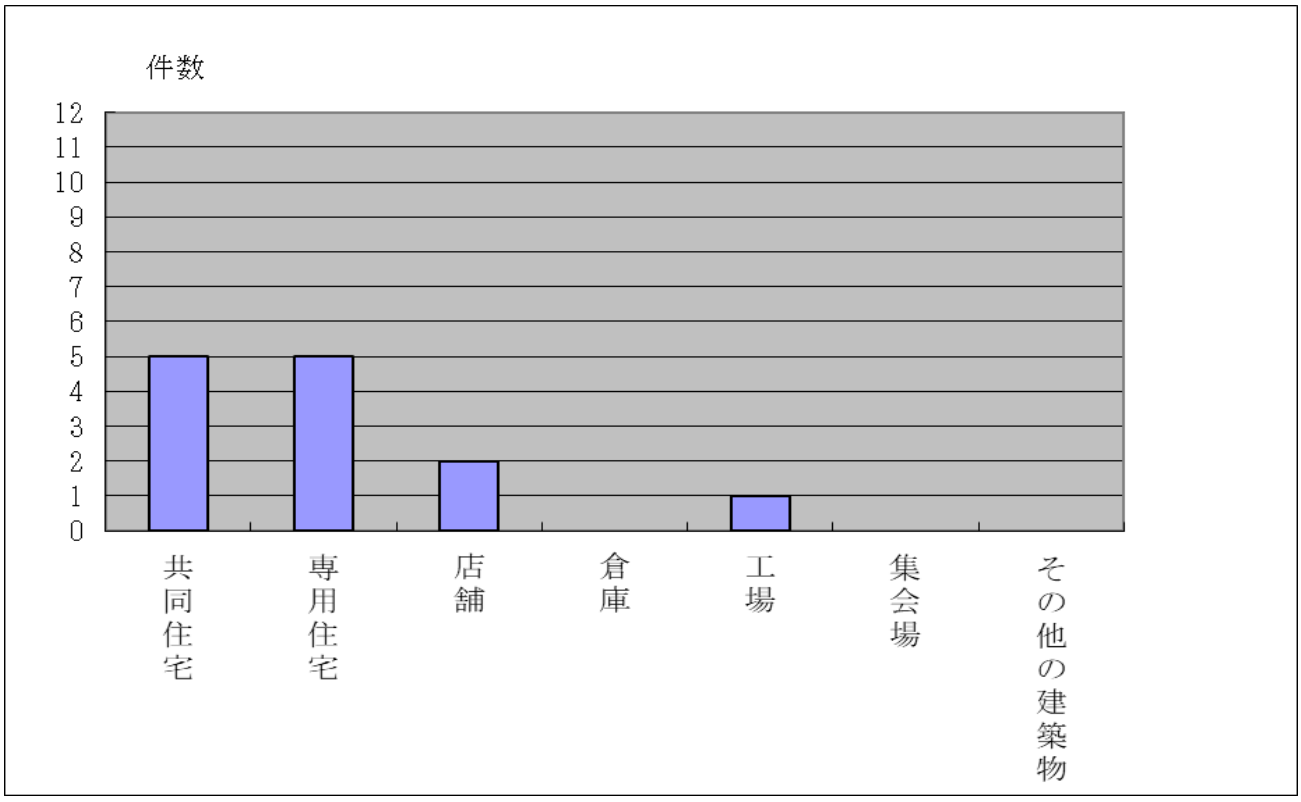
# 火　災　原　因　別　調

各年中




# 建 物 火 災 用 途 別 調

令和６年中



# 救　急　関　係

# 救　急　関　係

◎　救急出動の概要

令和６年の救急出動は７，９１３件・搬送人員７，０１６人で、各救急事故種別の比率は急病が約６７．６％（５，３４６件）と多く次いで一般負傷約１４．８％（１，１７５件）交通事故が約４．３％（３４０件）となっており、この３種別で全体の約８６．７％を占めている。

また、救急出動件数及び搬送人員を令和５年と比較すると、令和６年には出動件数で３０４件(約３．８％)増加し、搬送人員は４０２人（約５．７％）増加している状況である。

# 出　動　件　数

各年中

| 年　別 | 合　計 | 事故種別救急出動件数 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 |
| 令和２年 | 5,924 | 14 | | | 331 | 60 | 18 | 903 | 29 | 60 | 3,970 | 539 |
| 令和３年 | 6,379 | 18 | 3 | 2 | 374 | 43 | 28 | 951 | 44 | 82 | 4,238 | 596 |
| 令和４年 | 7,324 | 22 | 1 | | 359 | 66 | 38 | 1,012 | 32 | 89 | 5,108 | 597 |
| 令和５年 | 7,609 | 26 | 1 | 2 | 365 | 58 | 18 | 1,137 | 23 | 82 | 5,233 | 664 |
| 令和６年 | 7,913 | 11 | 3 | 3 | 340 | 78 | 42 | 1,175 | 31 | 94 | 5,346 | 790 |

※　その他は、転院搬送・医師搬送・資器材輸送・その他の合計

# 搬　送　人　員

各年中

| 年　別 | 合　計 | 事故種別救急搬送人員 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 |
| 令和２年 | 5,383 | 11 | | | 323 | 60 | 18 | 837 | 27 | 40 | 3,612 | 455 |
| 令和３年 | 5,777 | 5 | 3 | | 358 | 43 | 27 | 890 | 34 | 53 | 3,838 | 526 |
| 令和４年 | 6,353 | 3 | 1 | | 336 | 65 | 38 | 895 | 22 | 54 | 4,429 | 510 |
| 令和５年 | 6,614 | 1 | 1 | | 335 | 57 | 17 | 1,026 | 10 | 58 | 4,583 | 526 |
| 令和６年 | 7,016 | 1 | 3 | 1 | 328 | 76 | 42 | 1,093 | 27 | 67 | 4,745 | 633 |

※　その他は、転院搬送・その他の場所への搬送の合計

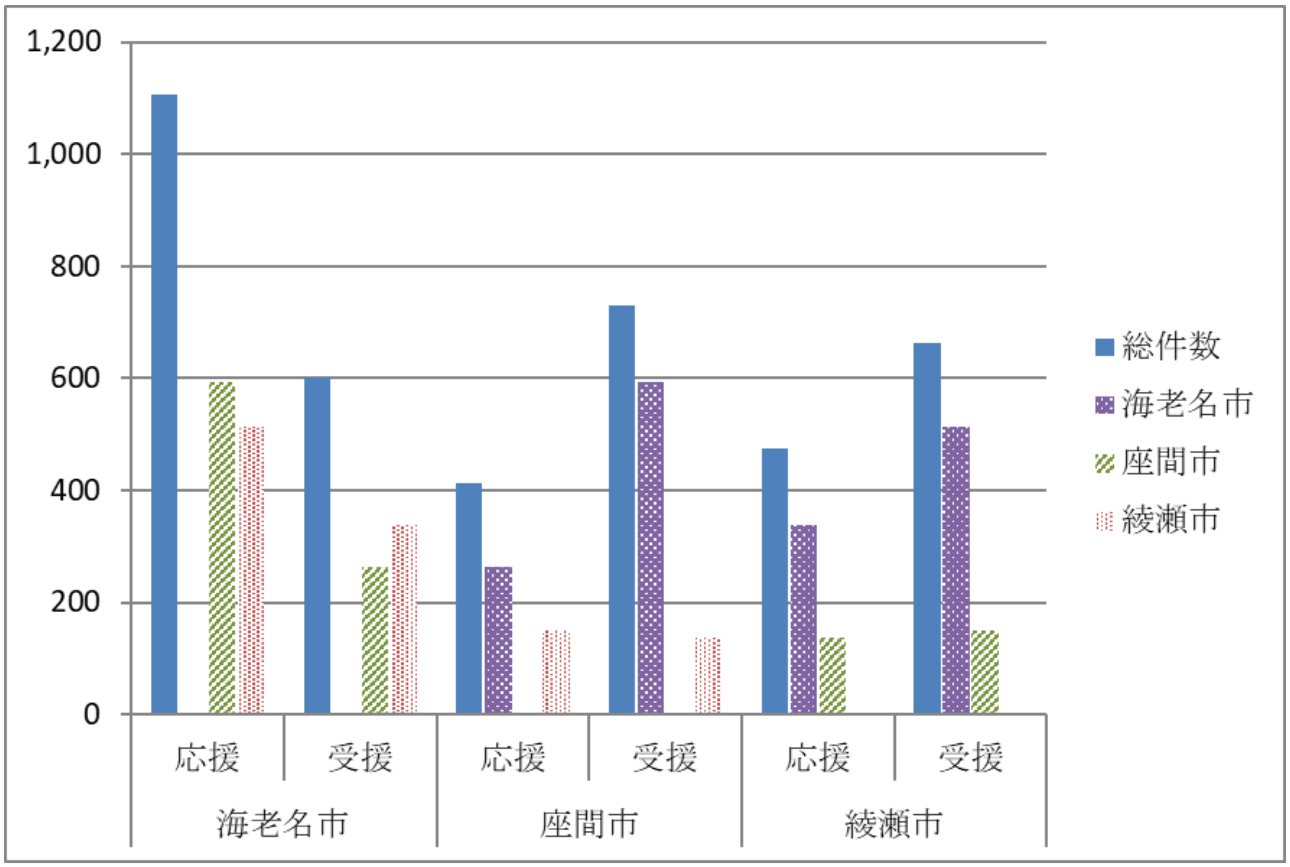
# 海老名市、座間市及び綾瀬市応援受援状況

平成２７年３月から海老名市、座間市及び綾瀬市の間で、救急車の相互応援出動を開始しました。令和６年中の座間市から海老名市及び綾瀬市への応援件数は４１３件で、海老名市及び綾瀬市からの受援件数は７２９件となります。

座間市の応援及び受援件数

令和６年中

| | | 総件数 | 海老名市 | 座間市 | 綾瀬市 |
|---|---|---|---|---|---|
| 海　老　名　市 | 応　援 | 1,105 | | 592 | 513 |
| | 受　援 | 601 | | 264 | 337 |
| 座　　間　　市 | 応　援 | 413 | 264 | | 149 |
| | 受　援 | 729 | 592 | | 137 |
| 綾　　瀬　　市 | 応　援 | 474 | 337 | 137 | |
| | 受　援 | 662 | 513 | 149 | |



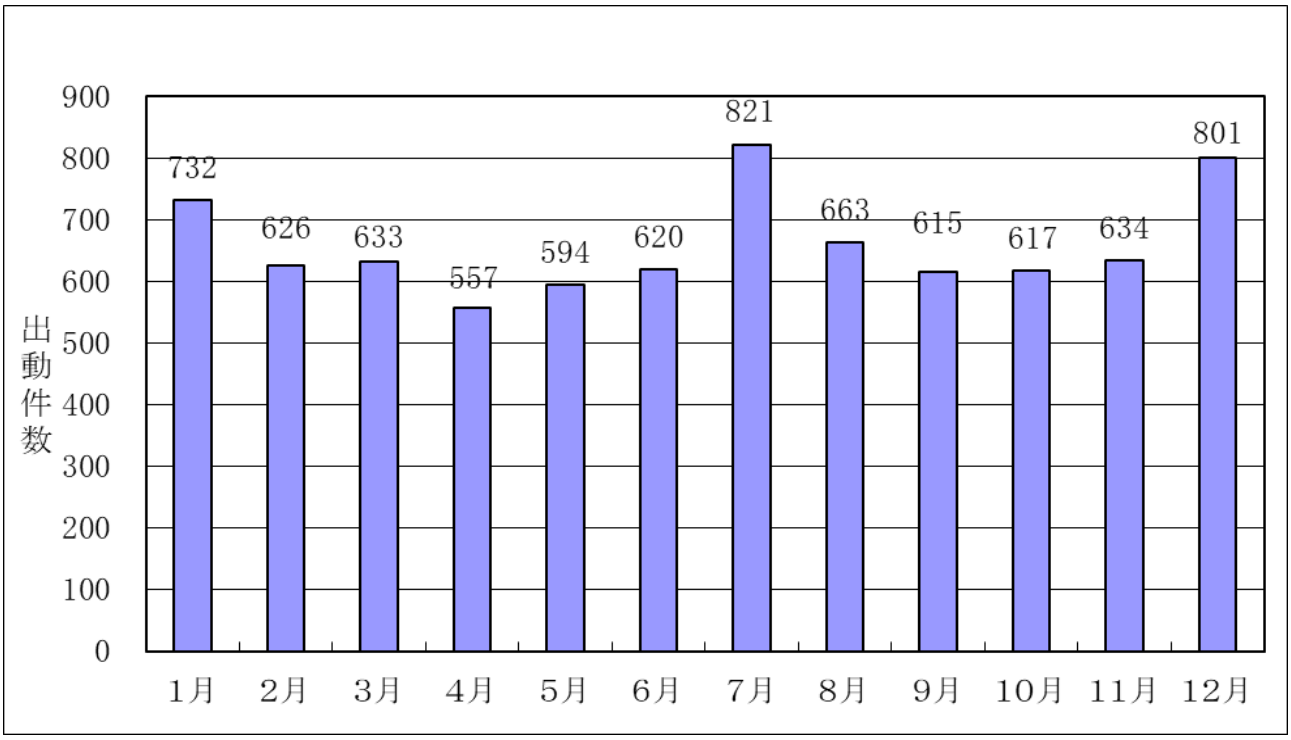
# 月別救急事故種別調

令和６年中

| 区分 | | 小計 | 救急事故種別 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労災 | 運動 | 一般 | 加害 | 自損 | 急病 | その他 |
| １月 | 出動件数 | 732 | 1 | | | 27 | 5 | 2 | 98 | 1 | 11 | 513 | 74 |
| | 搬送人員 | 632 | | | | 25 | 5 | 2 | 89 | | 5 | 444 | 62 |
| ２月 | 出動件数 | 626 | 2 | 1 | | 25 | 1 | 1 | 81 | 2 | 7 | 436 | 70 |
| | 搬送人員 | 542 | | 1 | | 23 | 1 | 2 | 72 | 2 | 5 | 373 | 63 |
| ３月 | 出動件数 | 633 | 2 | 1 | | 21 | 2 | 2 | 97 | 1 | 8 | 425 | 74 |
| | 搬送人員 | 549 | | 1 | | 18 | 2 | 2 | 89 | 1 | 6 | 366 | 64 |
| ４月 | 出動件数 | 557 | 1 | 1 | | 26 | 3 | 3 | 92 | 5 | 6 | 364 | 56 |
| | 搬送人員 | 491 | | 1 | | 26 | 3 | 3 | 87 | 3 | 6 | 317 | 45 |
| ５月 | 出動件数 | 594 | | | | 22 | 4 | 9 | 78 | 2 | 10 | 405 | 64 |
| | 搬送人員 | 530 | | | | 22 | 4 | 9 | 74 | 2 | 7 | 358 | 54 |
| ６月 | 出動件数 | 620 | | | 1 | 25 | 7 | 4 | 82 | 4 | 6 | 429 | 62 |
| | 搬送人員 | 563 | | | | 24 | 7 | 4 | 80 | 3 | 5 | 390 | 50 |
| ７月 | 出動件数 | 821 | 1 | | 1 | 42 | 18 | 7 | 108 | 2 | 12 | 540 | 90 |
| | 搬送人員 | 733 | | | 1 | 39 | 16 | 7 | 101 | 3 | 8 | 485 | 73 |
| ８月 | 出動件数 | 663 | | | | 38 | 10 | 1 | 92 | 4 | 4 | 462 | 52 |
| | 搬送人員 | 602 | | | | 39 | 10 | 1 | 86 | 3 | 2 | 423 | 38 |
| ９月 | 出動件数 | 615 | 1 | | | 26 | 6 | 5 | 102 | 1 | 7 | 417 | 50 |
| | 搬送人員 | 562 | | | | 24 | 6 | 5 | 95 | 1 | 7 | 388 | 36 |
| １０月 | 出動件数 | 617 | 1 | | 1 | 26 | 6 | 4 | 106 | 4 | 11 | 399 | 59 |
| | 搬送人員 | 548 | 1 | | | 27 | 6 | 3 | 102 | 4 | 8 | 359 | 38 |
| １１月 | 出動件数 | 634 | 1 | | | 31 | 6 | 2 | 125 | 3 | 9 | 401 | 56 |
| | 搬送人員 | 558 | | | | 33 | 6 | 2 | 111 | 3 | 5 | 356 | 42 |
| １２月 | 出動件数 | 801 | 1 | | | 31 | 10 | 2 | 114 | 2 | 3 | 555 | 83 |
| | 搬送人員 | 706 | | | | 28 | 10 | 2 | 107 | 2 | 3 | 486 | 68 |
| 合計 | 出動件数 | 7,913 | 11 | 3 | 3 | 340 | 78 | 42 | 1,175 | 31 | 94 | 5,346 | 790 |
| | 搬送人員 | 7,016 | 1 | 3 | 1 | 328 | 76 | 42 | 1,093 | 27 | 67 | 4,745 | 633 |

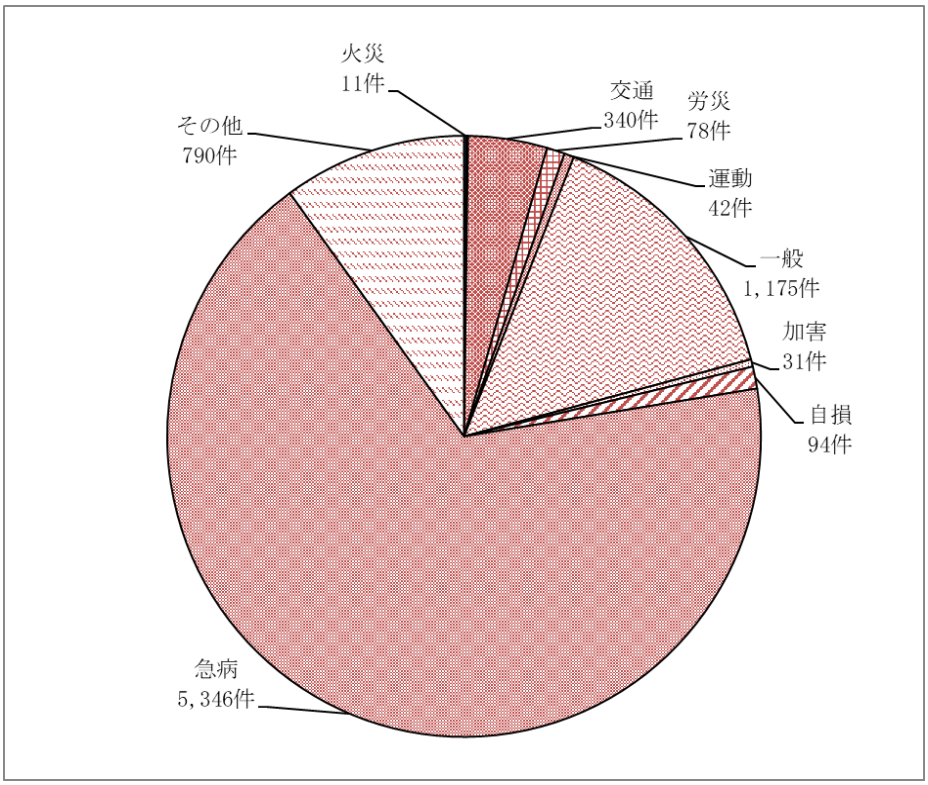
# 月別救急出動件数調

令和６年中




# 救急事故種別出動件数調

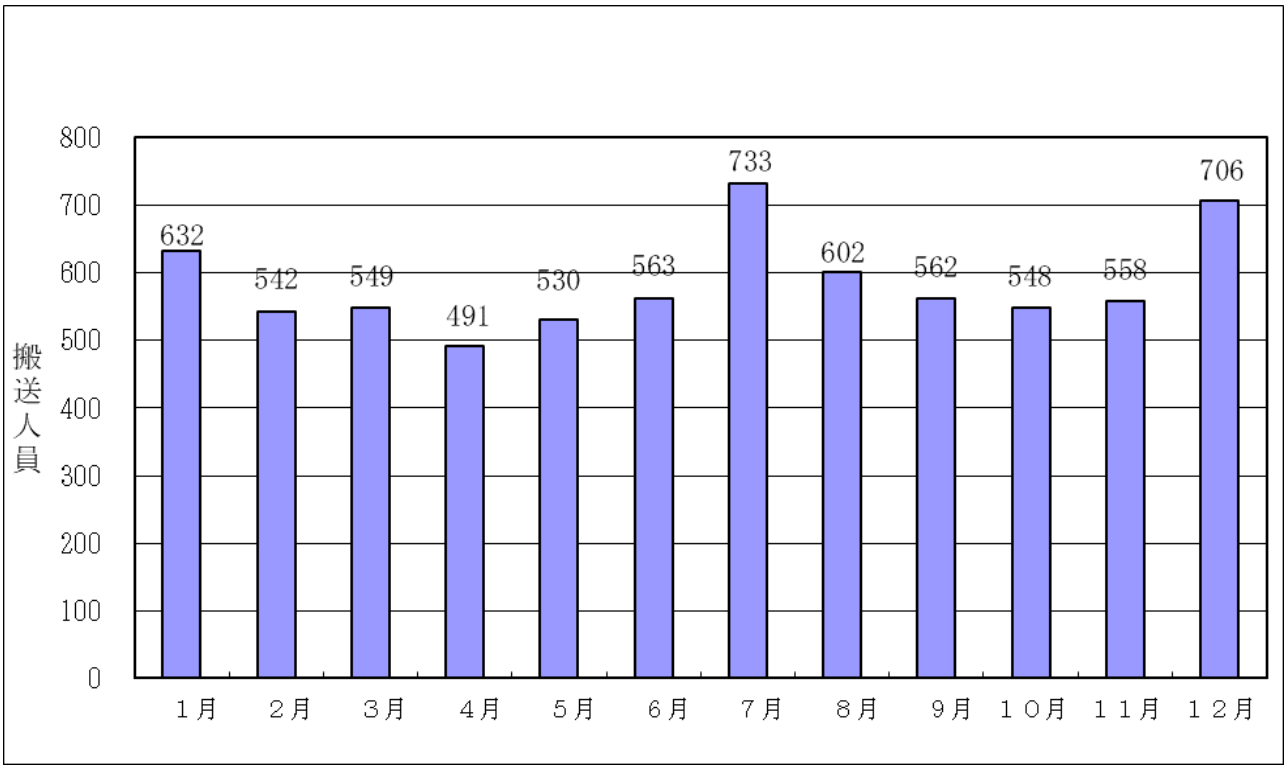
令和６年中




| 種別 | % |
|---|---|
| 火災 | 0.14% |
| 自然 | 0.04% |
| 水難 | 0.04% |
| 交通 | 4.30% |
| 労災 | 0.99% |
| 運動 | 0.53% |
| 一般 | 14.85% |
| 加害 | 0.39% |
| 自損 | 1.19% |
| 急病 | 67.56% |
| その他 | 9.98% |

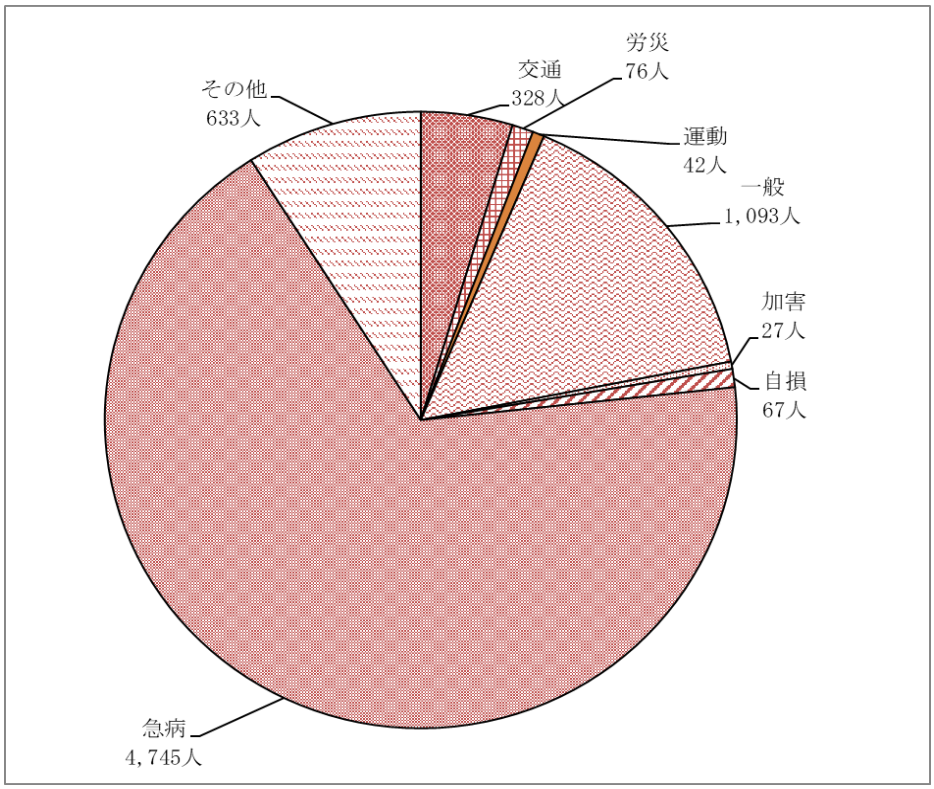
# 月 別 救 急 搬 送 人 員

令和６年中




# 救急事故種別搬送人員

令和６年中




| 種別 | % |
|---|---|
| 火災 | |
| 自然 | |
| 水難 | |
| 交通 | 4.68% |
| 労災 | 1.08% |
| 運動 | 0.60% |
| 一般 | 15.58% |
| 加害 | 0.38% |
| 自損 | 0.95% |
| 急病 | 67.63% |
| その他 | 9.02% |

# 救急月別・傷病程度調

令和６年中

| 区　　分 | 小　　計 | １　月 | ２　月 | ３　月 | ４　月 | ５　月 | ６　月 | ７　月 | ８　月 | ９　月 | １０月 | １１月 | １２月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 死　　亡 | 65 | 9 | 5 | 5 | 5 | 4 | 3 | 8 | 2 | 4 | 6 | 5 | 9 |
| 重　　症 | 375 | 35 | 25 | 38 | 23 | 29 | 28 | 41 | 23 | 24 | 31 | 32 | 46 |
| 中　等　症 | 3,041 | 254 | 263 | 246 | 211 | 246 | 246 | 296 | 275 | 234 | 246 | 214 | 310 |
| 軽　　症 | 3,535 | 334 | 249 | 260 | 252 | 251 | 286 | 388 | 302 | 300 | 265 | 307 | 341 |
| そ　の　他 | | | | | | | | | | | | | |
| 合　　計 | 7,016 | 632 | 542 | 549 | 491 | 530 | 563 | 733 | 602 | 562 | 548 | 558 | 706 |

# 署所別出動件数調

令和６年中

| 事故種別 / 署所別 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通事故 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 | | | | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 転院搬送 | 医師搬送 | 資器材輸送 | その他 | |
| 本　　署 | 6 | 1 | 1 | 158 | 35 | 21 | 560 | 12 | 35 | 2,383 | 371 | | | 73 | 3,656 |
| 東　分　署 | 2 | | 1 | 93 | 18 | 12 | 304 | 11 | 29 | 1,531 | 53 | | | 28 | 2,082 |
| 北　分　署 | 3 | 2 | 1 | 89 | 25 | 9 | 311 | 8 | 30 | 1,432 | 209 | | | 56 | 2,175 |
| 合　　計 | 11 | 3 | 3 | 340 | 78 | 42 | 1,175 | 31 | 94 | 5,346 | 633 | | | 157 | 7,913 |

# 地域別出動件数調

令和６年中

| 事故種別＼地域別 | | 相模が丘 | 広野台 | 小松原 | ひばりが丘 | 相武台 | 緑ケ丘 | 明王 | 座間 | 入谷東 | 入谷西 | 新田宿 | 四ツ谷 | 立野台 | 栗原 | 南栗原 | 西栗原 | 栗原中央 | 東原 | さがみ野 | 座間入谷 | キャンプ座間 | 管外 | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 火災 | | 2 | 1 | | | | | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | 2 | | 1 | | | | | 1 | 11 |
| 自然災害 | | 2 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 水難 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 3 |
| 交通事故 | | 55 | 16 | 17 | 38 | 30 | 20 | | 22 | 13 | 19 | 6 | 6 | 11 | 19 | 10 | 5 | 12 | 12 | 6 | | 1 | 22 | 340 |
| 労働災害 | | 11 | 14 | 14 | 6 | 2 | 4 | | 2 | 7 | 2 | | 3 | 1 | 3 | | | 2 | 2 | | | 1 | 4 | 78 |
| 運動競技 | | 4 | | | 7 | 6 | | | 2 | 1 | 3 | 2 | | | 6 | 3 | | 1 | 1 | | | 6 | | 42 |
| 一般負傷 | | 183 | 59 | 28 | 110 | 123 | 89 | 3 | 49 | 100 | 71 | 24 | 22 | 47 | 27 | 41 | 5 | 46 | 53 | 16 | | 7 | 72 | 1,175 |
| 加害 | | 5 | 2 | | 3 | 6 | 2 | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | 3 | 2 | 2 | | | 2 | 31 |
| 自損行為 | | 19 | 4 | 2 | 8 | 6 | 7 | | 4 | 7 | 8 | 1 | | 3 | 1 | 4 | 1 | 6 | 3 | 2 | 1 | 1 | 6 | 94 |
| 急病 | | 877 | 205 | 211 | 535 | 445 | 325 | 28 | 250 | 441 | 318 | 119 | 86 | 198 | 146 | 211 | 52 | 239 | 279 | 79 | 1 | 24 | 277 | 5,346 |
| その他 | 転院搬送 | 143 | 1 | | | 367 | 33 | | 8 | 19 | 7 | | | 9 | 15 | | | | | 1 | | | 30 | 633 |
| | 医師搬送 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 資器材輸送 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他 | 47 | 4 | 5 | 11 | 21 | 15 | 1 | 4 | 10 | 6 | | 3 | 7 | 2 | 4 | 3 | 5 | 5 | 2 | | | 2 | 157 |
| 合計 | | 1,348 | 306 | 277 | 718 | 1006 | 495 | 32 | 343 | 600 | 437 | 153 | 120 | 278 | 219 | 276 | 66 | 315 | 357 | 108 | 2 | 40 | 417 | 7,913 |

# 時間別出動状況調

令和６年中

| 事故種別 / 時間別 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通事故 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 | | | | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 転院搬送 | 医師搬送 | 資器材輸送 | その他 | |
| ０～２ | 2 | | | 5 | 2 | | 45 | 7 | 1 | 253 | 13 | | | 12 | 340 |
| ２～４ | | | | 3 | | | 39 | 4 | 7 | 252 | 7 | | | 7 | 319 |
| ４～６ | | | | 8 | 1 | | 33 | 2 | 7 | 230 | 6 | | | 14 | 301 |
| ６～８ | | | | 30 | 3 | | 68 | | 11 | 392 | 5 | | | 9 | 518 |
| ８～１０ | 2 | 1 | | 45 | 10 | 5 | 125 | 4 | 2 | 611 | 52 | | | 10 | 867 |
| １０～１２ | | | | 36 | 20 | 9 | 166 | 1 | 11 | 625 | 135 | | | 11 | 1,014 |
| １２～１４ | 4 | | | 37 | 17 | 8 | 147 | 1 | 4 | 517 | 148 | | | 18 | 901 |
| １４～１６ | 1 | 1 | 2 | 36 | 9 | 6 | 130 | 2 | 8 | 558 | 79 | | | 15 | 847 |
| １６～１８ | 1 | | | 45 | 10 | 6 | 148 | 1 | 8 | 531 | 93 | | | 19 | 862 |
| １８～２０ | 1 | | | 52 | 2 | 3 | 119 | 6 | 16 | 526 | 43 | | | 14 | 782 |
| ２０～２２ | | 1 | | 28 | 2 | 5 | 84 | 1 | 14 | 488 | 29 | | | 18 | 670 |
| ２２～２４ | | | 1 | 15 | 2 | | 71 | 2 | 5 | 363 | 23 | | | 10 | 492 |
| 合　計 | 11 | 3 | 3 | 340 | 78 | 42 | 1,175 | 31 | 94 | 5,346 | 633 | | | 157 | 7,913 |

# 時間別搬送人員調

令和６年中

| 事故種別 / 時間別 | 火災 | 自然災害 | 水難 | 交通事故 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 | | | | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 転院搬送 | 医師搬送 | 資器材輸送 | その他 | |
| ０～２ | | | | 3 | 2 | | 37 | 5 | 1 | 197 | 13 | | | | 258 |
| ２～４ | | | | 2 | | | 32 | 4 | 4 | 214 | 7 | | | | 263 |
| ４～６ | | | | 6 | 1 | | 32 | 2 | 4 | 198 | 6 | | | | 249 |
| ６～８ | | | | 33 | 3 | | 67 | | 9 | 367 | 5 | | | | 484 |
| ８～１０ | | 1 | | 44 | 10 | 5 | 123 | 4 | 1 | 568 | 52 | | | | 808 |
| １０～１２ | | | | 35 | 20 | 9 | 159 | 1 | 7 | 584 | 135 | | | | 950 |
| １２～１４ | 1 | | | 32 | 16 | 7 | 140 | | 3 | 461 | 148 | | | | 808 |
| １４～１６ | | 1 | 1 | 40 | 8 | 6 | 122 | 2 | 4 | 504 | 79 | | | | 767 |
| １６～１８ | | | | 46 | 10 | 7 | 138 | 1 | 5 | 480 | 93 | | | | 780 |
| １８～２０ | | | | 49 | 2 | 3 | 103 | 6 | 14 | 454 | 43 | | | | 674 |
| ２０～２２ | | 1 | | 24 | 2 | 5 | 76 | 1 | 11 | 424 | 29 | | | | 573 |
| ２２～２４ | | | | 14 | 2 | | 64 | 1 | 4 | 294 | 23 | | | | 402 |
| 合　計 | 1 | 3 | 1 | 328 | 76 | 42 | 1,093 | 27 | 67 | 4,745 | 633 | | | | 7,016 |

# 救急隊員が行った応急処置に関する調

令和６年中

| 応急処置 / 事故種別 | 処置対象人員 | 止血 | 固定 | 被覆 | 保温 | 人工呼吸 | 酸素吸入 | ※１気道確保 | 用手 | 1 | 2 | 3 | 4 | その他の応急処置 | ※２在宅療法継続 | A | B | C |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 急病 | 4,745 | 12 | 23 | 27 | 3 | 12 | 855 | 216 | 152 | | 2 | 13 | 49 | 4,741 | 302 | 5 | 45 | 259 |
| 交通事故 | 328 | 4 | 88 | 87 | | 1 | 6 | 1 | 1 | | | | | 328 | 2 | | | 2 |
| 一般負傷 | 1,090 | 19 | 99 | 317 | 1 | | 47 | 11 | 7 | | 4 | | | 1,087 | 38 | | 4 | 34 |
| その他 | 850 | 1 | 26 | 41 | | 2 | 181 | 17 | 13 | | | | 4 | 841 | 26 | 2 | 1 | 24 |
| 計 | 7,013 | 36 | 236 | 472 | 4 | 15 | 1,089 | 245 | 173 | | 6 | 13 | 53 | 6,997 | 368 | 7 | 50 | 319 |

※　１ 気道確保

気道確保用手　：　用手による気道確保並びに口腔内の清拭及び吸引（経口エアウェイを含む）

気道確保　１　：　経鼻エアウェイを使用しての気道確保

気道確保　２　：　喉頭鏡・鉗子等による異物除去

気道確保　３　：　ラリンゲアルマスク等を使用しての気道確保

気道確保　４　：　気管挿管処置を実施しての気道確保

※　２ 在宅療法継続

在宅療法　Ａ　：　在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの。

在宅療法　Ｂ　：　気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの。

在宅療法　Ｃ　：　Ａ・Ｂ以外の処置が施されているもの。

令和６年中

| 応急処置 / 事故種別 | 心マッサージ | 自動 | 心肺蘇生 | 自動 | ショックパンツによる血圧保持 | 除細動 | 薬剤投与 | 静脈路確保（輸液） | 血圧測定 | 聴診器による心音呼吸音の聴取 | 血中酸素飽和度の測定 | 心電図 | 伝送 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 急病 | 1 | | 104 | 67 | | 18 | 52 | 94 | 4,497 | 2,773 | 4,638 | 2,358 | | 20,878 |
| 交通事故 | | | | | | | | 1 | 326 | 135 | 328 | 29 | | 1,337 |
| 一般負傷 | | | 3 | 1 | | | | | 1,037 | 319 | 1,077 | 191 | | 4,242 |
| その他 | | | 9 | 2 | | | 6 | 6 | 804 | 255 | 840 | 220 | | 3,278 |
| 計 | 1 | | 116 | 70 | | 18 | 58 | 101 | 6,664 | 3,482 | 6,883 | 2,798 | | 29,735 |

# 収 容 時 間 に 関 す る 調

令和６年中

| 事故種別 | 搬送人員 | 覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間区分別搬送人員 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | １０分未満 | １０分～１９分 | ２０分～２９分 | ３０分～５９分 | ６０分～１１９分 | １２０分以上 |
| 急病 | 4,745 | | | 110 | 3,453 | 1,153 | 29 |
| 交通事故 | 328 | | | 10 | 240 | 77 | 1 |
| 一般負傷 | 1,093 | | | 24 | 780 | 279 | 10 |
| その他 | 850 | | 3 | 128 | 620 | 94 | 5 |
| 合計 | 7,016 | | 3 | 272 | 5,093 | 1,603 | 45 |

# 傷 病 者 年 齢 区 分 調

令和６年中

| 区分 | 小計 | 火災 | 自然災害 | 水難事故 | 交通事故 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新生児 | 19 | | | | | | | | | | 4 | 15 |
| 乳幼児 | 349 | | | | 4 | | | 85 | 1 | | 232 | 27 |
| 少年 | 232 | | | | 43 | | 30 | 28 | 2 | 10 | 107 | 12 |
| 成年 | 2,128 | 1 | | 1 | 200 | 64 | 10 | 184 | 18 | 51 | 1,424 | 175 |
| 高齢者 | 4,288 | | 3 | | 81 | 12 | 2 | 796 | 6 | 6 | 2,978 | 404 |
| 合計 | 7,016 | 1 | 3 | 1 | 328 | 76 | 42 | 1,093 | 27 | 67 | 4,745 | 633 |

※　新生児…生後２８日以内　　乳幼児…生後２９日～６歳　　少　年…７歳～１７歳
　　成　年…１８歳～６４歳　　高齢者…６５歳以上

# 自動体外式除細動器（AED）設置場所一覧

令和７年４月１日現在

自動体外式除細動器（AED）

| No | 名称 | 設置台数 | 住所 | 電話番号 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 市役所（1階・4階） | 2　台 | 緑ケ丘1-1-1 | 046-255-1444 |
| 2 | サニープレイス座間総合福祉センター | 1　台 | 緑ケ丘1-2-1 | 046-266-1294 |
| 3 | 市民健康センター | 1　台 | 緑ケ丘1-1-3 | 046-251-6822 |
| 4 | ハーモニーホール座間 | 1　台 | 緑ケ丘1-1-2 | 046-255-1100 |
| 5 | スカイアリーナ座間 | 1　台 | 相武台1-47-1 | 046-255-0077 |
| 6 | 市公民館 | 1　台 | 入谷西2-53-34 | 046-255-3131 |
| 7 | 北地区文化センター | 1　台 | 相模が丘5-30-4 | 042-747-3361 |
| 8 | 東地区文化センター | 1　台 | 東原3-1-1 | 046-253-0781 |
| 9 | 図書館 | 1　台 | 入谷東1-3-1 | 046-255-1211 |
| 10 | 座間小学校 | 2　台 | 座間2-3133 | 046-251-0009 |
| 11 | 栗原小学校 | 2　台 | 栗原中央6-8-1 | 046-251-0074 |
| 12 | 相模野小学校 | 2　台 | 広野台1-41-1 | 046-251-0625 |
| 13 | 相武台東小学校 | 2　台 | 栗原1302 | 046-251-6446 |
| 14 | ひばりが丘小学校 | 2　台 | ひばりが丘4-1 | 046-252-1124 |
| 15 | 東原小学校 | 2　台 | 東原2-6-1 | 046-253-3145 |
| 16 | 相模が丘小学校 | 2　台 | 相模が丘3-1-1 | 046-254-8202 |
| 17 | 立野台小学校 | 2　台 | 立野台1-1-3 | 046-254-8100 |
| 18 | 入谷小学校 | 2　台 | 入谷西5-8-1 | 046-253-7211 |
| 19 | 旭小学校 | 2　台 | ひばりが丘5-43-1 | 046-253-2255 |
| 20 | 中原小学校 | 2　台 | 西栗原2-16-1 | 046-251-3882 |
| 21 | 座間中学校 | 2　台 | 緑が丘4-6-10 | 046-251-0135 |
| 22 | 西中学校 | 2　台 | 座間2-1230 | 046-251-2277 |
| 23 | 東中学校 | 2　台 | ひばりが丘5-57-1 | 046-253-3357 |
| 24 | 栗原中学校 | 2　台 | 栗原中央6-4-1 | 046-254-9977 |
| 25 | 相模中学校 | 2　台 | 相模が丘6-35-1 | 046-253-2183 |
| 26 | 南中学校 | 2　台 | 南栗原3-8-1 | 046-256-0700 |
| 27 | 立野台コミュニティセンター | 1　台 | 立野台3-14-12 | 046-255-0815 |
| 28 | 新田宿・四ツ谷コミュニティセンター | 1　台 | 四ツ谷1026 | 046-257-4871 |
| 29 | 小松原コミュニティセンター | 1　台 | 小松原1-45-14 | 046-257-9640 |
| 30 | 東原コミュニティセンター | 1　台 | 東原4-13-13 | 046-255-9770 |
| 31 | 相模が丘コミュニティセンター | 1　台 | 相模が丘3-38-1 | 046-258-3000 |
| 32 | 相武台コミュニティセンター | 1　台 | 相武台3-20-18 | 046-258-3001 |
| 33 | ひばりが丘コミュニティセンター | 1　台 | ひばりが丘1-49-1 | 046-257-7698 |
| 34 | 栗原コミュニティセンター | 1　台 | 栗原中央3-29-17 | 046-257-7210 |
| 35 | 市民球場 | 1　台 | 相模が丘6-36-24 | 046-255-3002 |
| 36 | 消防署本署 | 1　台 | 相武台1-48-1 | 046-256-2211 |
| 37 | 消防署東分署 | 1　台 | 東原2-7-11 | 046-256-2200 |
| 38 | 消防署北分署 | 1　台 | 相模が丘4-2-48 | 046-253-2166 |
| 39 | 生きがいセンター | 1　台 | 東原2-16-10 | 046-259-7121 |
| 40 | 新田宿グラウンド | 1　台 | 新田宿2178 | 046-252-2333 |
| 41 | ひまわり公園テニスコート | 1　台 | 入谷東1-6-3 | 046-256-1385 |
| 42 | 栗原遊水地テニスコート | 1　台 | 栗原1702-3 | 046-256-7021 |
| 43 | 座間児童館 | 1　台 | 入谷東4-44-3 | 046-252-0621 |
| 44 | 鳩川児童館 | 1　台 | 座間1-1922 | 046-255-5738 |
| 45 | ひばりが丘南児童館 | 1　台 | ひばりが丘3-56-1 | 046-256-0236 |
| 46 | 相模野児童館 | 1　台 | 広野台1-46-29 | 046-256-2419 |
| 47 | 水道料金お客様センター | 1　台 | 緑ケ丘1-3-1 | 046-266-5520 |
| 48 | スカイグリーンパーク管理棟 | 1　台 | 相武台1-49 | 090-2521-4363 |
| 49 | 相模が丘老人憩いの家 | 1　台 | 相模が丘2-43-39 | |
| 50 | ひばりが丘老人憩いの家 | 1　台 | ひばりが丘1-48-6 | |
| 51 | 立野台老人憩いの家 | 1　台 | 立野台3-20-41 | |
| 52 | 相武台老人憩いの家 | 1　台 | 相武台4-5-24 | |
| 53 | 栗原老人憩いの家 | 1　台 | 栗原中央5-8-1 | |
| 54 | 座間老人憩いの家 | 1　台 | 座間2-2765 | |
| 55 | 入谷老人憩いの家 | 1　台 | 入谷東3-34-16 | |
| 56 | 栗原保育園 | 1　台 | 栗原中央6-5-28 | 046-251-1044 |
| 57 | 相模が丘保育園 | 1　台 | 相模が丘5-12-36 | 042-743-2200 |
| 58 | 東原保育園 | 1　台 | 東原4-12-18 | 046-251-5564 |
| 59 | 相武台保育園 | 1　台 | 相武台3-20-19 | 046-253-2523 |
| 60 | ひばりが丘保育園 | 1　台 | ひばりが丘2-58-1 | 046-254-9338 |
| 61 | 小松原保育園 | 1　台 | 小松原1-29-8 | 046-255-6671 |
| 62 | 相模が丘西保育園 | 1　台 | 相模が丘2-43-41 | 046-255-2100 |
| 63 | 子育て支援センター（ゆめ） | 1　台 | 東原2-8-1　サンホープ2階 | 046-254-2634 |
| 64 | 子育て支援センター（ひまわり） | 1　台 | 相模が丘1-25-1　リビオタワー小田急相模原コモンズざま2階 | 042-740-2788 |
| 65 | 子育て支援センター（かがやき） | 1　台 | 入谷東3-59-4　ホシノタニ団地4号棟1階 | 046-255-7070 |
| 66 | 通園センター | 1　台 | 東原2-8-1 | 046-254-2655 |
| 67 | もくせい園 | 1　台 | 栗原中央6-7-27 | 046-253-0804 |
| 68 | 児童発達支援センター | 1　台 | 小松原1-45-21 | 046-259-7121 |
| 69 | プラっと座間 | 1　台 | 相模が丘1-25-1　リビオタワー小田急相模原コモンズざま3階 | 042-705-3610 |

# 救　助　関　係

# 救　助　の　体　制

昭和６１年に、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令により救助業務の体制が整備された。これに基づき本市では、昭和６３年から救助工作車の運用を開始し、令和４年度には最新型の救助工作車を更新し、各種災害に対処するための資機材の充実化及び隊員の教育訓練を図り、安全・確実・迅速な救助活動に努力しています。

# 5 年間の救助発生状況

各年中

| 種別 | 区分＼年別 | 令和２年 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 火災 | 出動件数 | 5 | 3 | 4 | 3 | 2 |
| | 活動件数 | 5 | 3 | 4 | 3 | 2 |
| | 救助人員 | 2 | 6 | 1 | 2 | |
| 交通事故 | 出動件数 | 4 | 9 | 10 | 15 | 6 |
| | 活動件数 | 2 | 4 | 4 | 5 | 2 |
| | 救助人員 | 2 | 4 | 5 | 5 | 2 |
| 水難事故 | 出動件数 | 2 | 4 | 1 | 1 | 3 |
| | 活動件数 | 1 | 4 | 1 | | 2 |
| | 救助人員 | | 4 | | | 1 |
| 風水害等自然災害事故 | 出動件数 | | | | | |
| | 活動件数 | | | | | |
| | 救助人員 | | | | | |
| 機械による事故 | 出動件数 | 2 | | 2 | | 1 |
| | 活動件数 | | | | | |
| | 救助人員 | | | | | |
| 建物等による事故 | 出動件数 | 42 | 54 | 75 | 72 | 95 |
| | 活動件数 | 36 | 45 | 60 | 56 | 71 |
| | 救助人員 | 24 | 31 | 32 | 38 | 45 |
| ガス及び酸欠事故 | 出動件数 | | | 1 | | |
| | 活動件数 | | | 1 | | |
| | 救助人員 | | | | | |
| 破裂事故 | 出動件数 | | | | | |
| | 活動件数 | | | | | |
| | 救助人員 | | | | | |
| その他の事故 | 出動件数 | 33 | 44 | 36 | 49 | 50 |
| | 活動件数 | 11 | 11 | 6 | 8 | 9 |
| | 救助人員 | 10 | 10 | 6 | 6 | 6 |
| 他種別事故 | 出動件数 | 26 | 20 | 23 | 44 | 28 |
| | 活動件数 | | | | | |
| | 救助人員 | | | | | |
| 総合計 | 出動件数 | 114 | 134 | 152 | 184 | 185 |
| | 活動件数 | 55 | 67 | 76 | 72 | 86 |
| | 救助人員 | 38 | 55 | 44 | 51 | 54 |

※　他種別事故とは、火災に関する件数外（誤報等）・水難応援活動・危険物排除等をいう。

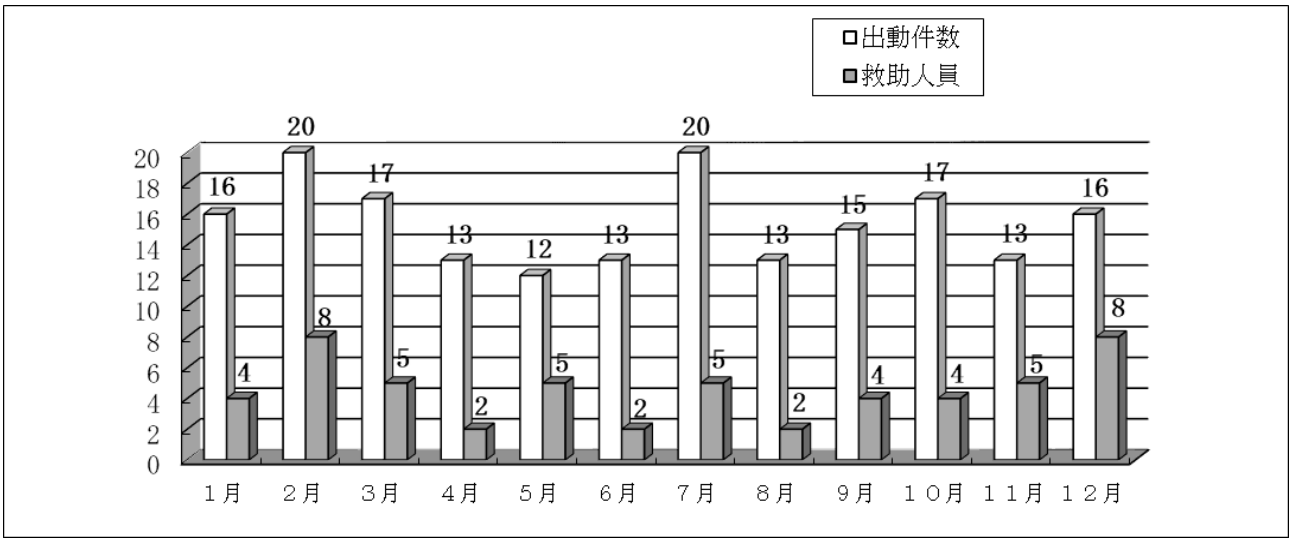
# 救助出動状況調

令和６年中

| 区分 | 救助事故種別 | | | | | | | | | | 小計 | 救助人員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 火災 | 交通事故 | 水難事故 | 風水害等自然災害事故 | 機械による事故 | 建物等による事故 | ガス及び酸欠事故 | 破裂事故 | その他の事故 | 他種別事故 | | |
| １月 | | | | | | 11 | | | 4 | 1 | 16 | 4 |
| ２月 | | 1 | | | | 11 | | | 7 | 1 | 20 | 8 |
| ３月 | | | | | | 7 | | | 4 | 6 | 17 | 5 |
| ４月 | | 1 | | | | 6 | | | 4 | 2 | 13 | 2 |
| ５月 | | | | | | 8 | | | 3 | 1 | 12 | 5 |
| ６月 | | 1 | 2 | | | 6 | | | 2 | 2 | 13 | 2 |
| ７月 | 1 | 2 | | | | 9 | | | 4 | 4 | 20 | 5 |
| ８月 | | | | | | 9 | | | 1 | 3 | 13 | 2 |
| ９月 | | 1 | | | 1 | 7 | | | 4 | 2 | 15 | 4 |
| １０月 | | | 1 | | | 6 | | | 6 | 4 | 17 | 4 |
| １１月 | 1 | | | | | 5 | | | 7 | | 13 | 5 |
| １２月 | | | | | | 10 | | | 4 | 2 | 16 | 8 |
| 合計 | 2 | 6 | 3 | | 1 | 95 | | | 50 | 28 | 185 | 54 |

# 救助出動件数及び救助人員

令和６年中



# 地域別出動件数調

令和６年中

| 事故種別 / 地域別 | 火災 | 交通事故 | 水難事故 | 風水害等自然災害事故 | 機械による事故 | 建物等による事故 | ガス及び酸欠事故 | 破裂事故 | その他の事故 | 他種別事故 | 小計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 相模が丘 | 1 | | | | | 26 | | | 11 | 5 | 43 |
| 広野台 | 1 | | | | 1 | 4 | | | 3 | 1 | 10 |
| 小松原 | | | | | | 2 | | | | 1 | 3 |
| ひばりが丘 | | | | | | 10 | | | 6 | 2 | 18 |
| 相武台 | | 2 | | | | 5 | | | 2 | 4 | 13 |
| 緑ケ丘 | | | | | | 9 | | | 5 | 1 | 15 |
| 明王 | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| 座間 | | | | | | 3 | | | 1 | 1 | 5 |
| 入谷 | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 入谷東 | | 1 | | | | 13 | | | 6 | 2 | 22 |
| 入谷西 | | 2 | 1 | | | 4 | | | 2 | 2 | 11 |
| 新田宿 | | 1 | | | | 1 | | | | 1 | 3 |
| 四ツ谷 | | | | | | 1 | | | | 1 | 2 |
| 立野台 | | | | | | 1 | | | 3 | 1 | 5 |
| 栗原 | | | | | | | | | 2 | | 2 |
| 南栗原 | | | 1 | | | 5 | | | | 1 | 7 |
| 西栗原 | | | | | | 2 | | | | 1 | 3 |
| 栗原中央 | | | | | | 2 | | | 3 | 1 | 6 |
| 東原 | | | | | | 5 | | | 2 | | 7 |
| さがみ野 | | | | | | 2 | | | 1 | | 3 |
| 座間入谷 | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| キャンプ座間 | | | | | | | | | | | |
| 管外 | | | | | | | | | | 3 | 3 |
| 合計 | 2 | 6 | 3 | | 1 | 95 | | | 50 | 28 | 185 |

# 水　防　関　係

# 水　　防　　関　　係

市内には、西部に相模川、鳩川、中央部に目久尻川の一級河川が流れています。ここ数年は、異常気象によるゲリラ豪雨や台風による道路冠水、建物の浸水、損壊の出動が増加傾向にあります。

令和元年１０月の台風１９号では、当市が初めて災害対策本部を設置し警戒する中で、相模川の上流にある城山ダムから異常洪水時防災操作の緊急放流が予告されたことから、河川の水位が上昇し大規模な水害の発生する恐れがあると判断し、浸水等が予想される地域の４，２６８世帯に対し、避難勧告を発令しました。

# 風水害出動状況調

各年中

| 年　　別 | 令和２年 | 令和３年 | 令和４年 | 令和５年 | 令和６年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 件　　数 | １１ | ８ | ４ | ２ | １２ |
| 消防職員　（人） | ３９ | ３４ | １６ | １５ | ４８ |
| 消防団員　（人） | | | | | |
| 合　　計　（人） | ３９ | ３４ | １６ | １５ | ４８ |

# 水　防　倉　庫　の 状　況

令和７年４月１日現在

| 名　　称 | 所　　在　　地 | 建物構造 | 延べ面積 |
|---|---|---|---|
| 水防倉庫 | 座間２丁目２３９１番地 | 鉄骨造 | ７０㎡ |

※　令和４年２月、消防団第２分団第２部、資機材倉庫兼待機室に併設

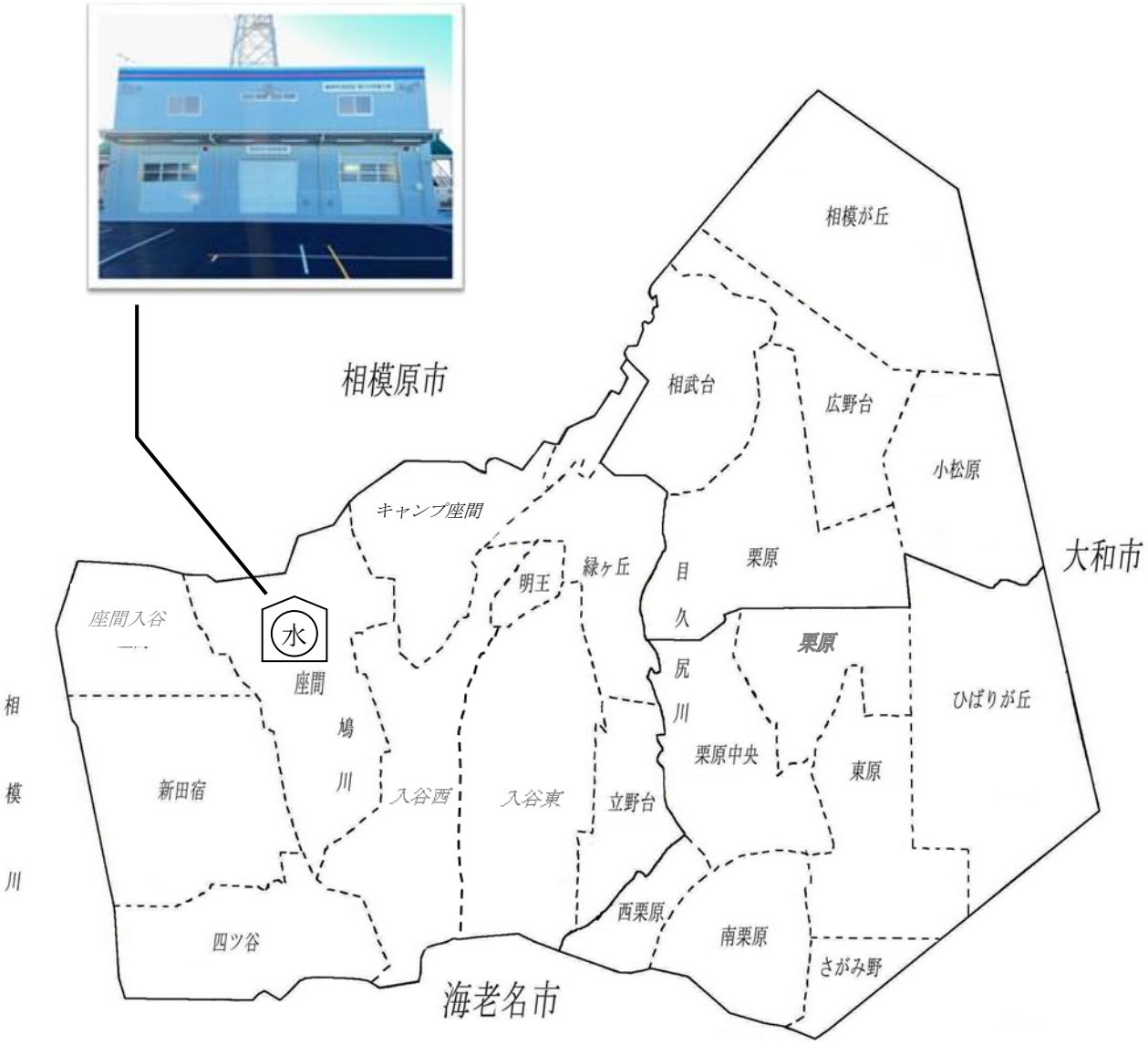
# 資　機　材　備　蓄　状　況

令和７年４月１日現在

| 資器材／名称 | 土のう類 | 鉄杭 | 鉄線 | なわ類 | スコップ | ツルハシ | 掛矢 | ノコギリ | ナタ | シート | パイプ | コンパネ | カッター | 一輪車 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 枚 | 本 | 巻 | 巻 | 丁 | 丁 | 丁 | 丁 | 丁 | 枚 | 本 | 枚 | 丁 | 台 |
| 水防倉庫 | 2,400 | 800 | 6 | | 19 | 5 | 12 | 2 | 3 | 155 | 104 | 30 | | 4 |

# 座間市水防倉庫位置図

| 凡　　例 | 名　　称 | 所 在 地 |
|---|---|---|
| 水 | 水　　防　　倉　　庫 | 座間２丁目２３９１番地 |



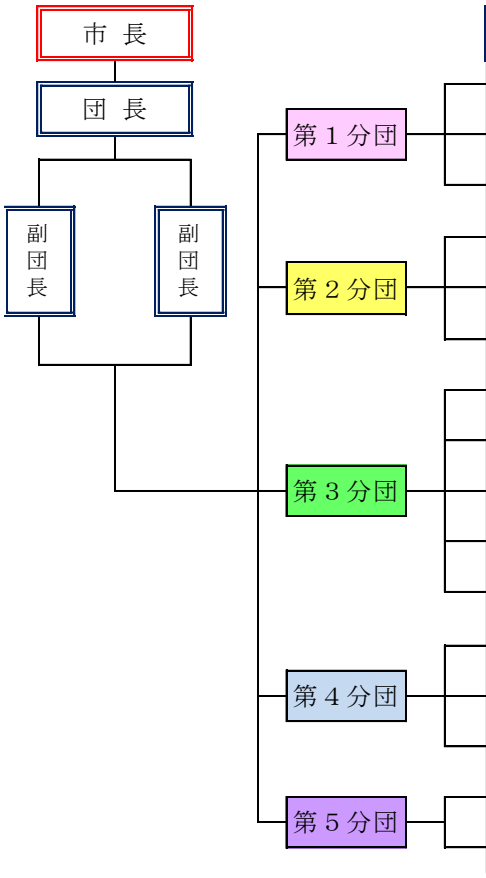
# 消 防 団 関 係

# 消　防　団　の 組　織　等

座間市消防団は、現在、５分団、１６部、団員１８４名で組織されており、郷土愛護と奉仕の精神に基づいて活発な活動を展開している。

令和６年中は、火災等の防ぎょ活動に１３回出動し８６名が従事すると共に、火災の予防広報や各種訓練にも参加し、地域防災に重要な役割を果たしている。

令和７年４月１日現在




| 消　防　団　員　数 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 ＼ 階級 | | 団長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 部長 | 班長 | 団員 |
| 定員 | 223 | 1 | 2 | 5 | 8 | 16 | 52 | 139 |
| 現有 | 184 | 1 | 2 | 5 | 8 | 16 | 51 | 101 |
| 定員 | 実員 | | | | | | | |
| 3 | 3 | 1 | 2 | | | | | |
| 13 | 10 | | | | 1 | 1 | 3 | 5 |
| 13 | 11 | | | | | 1 | 3 | 7 |
| 12 | 9 | | | 1 | | 1 | 3 | 4 |
| 17 | 15 | | | | 1 | 1 | 4 | 9 |
| 13 | 11 | | | 1 | | 1 | 3 | 6 |
| 13 | 9 | | | | 1 | 1 | 3 | 4 |
| 13 | 12 | | | | 1 | 1 | 3 | 7 |
| 13 | 13 | | | | 1 | 1 | 3 | 8 |
| 13 | 3 | | | | | 1 | 2 | |
| 16 | 15 | | | 1 | | 1 | 4 | 9 |
| 12 | 10 | | | | | 1 | 3 | 6 |
| 16 | 16 | | | | 1 | 1 | 4 | 10 |
| 13 | 11 | | | 1 | | 1 | 3 | 6 |
| 13 | 13 | | | | 1 | 1 | 3 | 8 |
| 17 | 14 | | | 1 | | 1 | 4 | 8 |
| 13 | 9 | | | | 1 | 1 | 3 | 4 |

○消防団の年間事業計画（抜粋）

| | |
|---|---|
| ４月 | 教育訓練 |
| ７月 | 消防操法大会 |
| ９月 | 防災訓練・水防訓練 |
| １０月 | 車両運行訓練 |
| １１月 | 非常招集訓練・秋季火災予防運動 |
| １２月 | 歳末火災特別警戒 |
| １月 | 消防出初式 |
| ２月 | 普通救命講習・合同訓練 |
| ３月 | 春季火災予防運動 |

# 消 防 団 員 報 酬 調

令和７年４月１日現在

| 報酬年額(円) | 団　長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 部　長 | 班　長 | 団　員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 171,600 | 141,800 | 124,200 | 104,900 | 98,200 | 94,500 | 89,400 |

# 消 防 団 活 動 状 況 調

令和６年中

| 種別<br>区分 | 合　　計 | 火災等 | 風水害 | 演習訓練 | 特別警戒 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 出動件数 | 74 | 13 | | 11 | 21 | 29 |
| 出動人員 | 5,750 | 86 | | 910 | 1,974 | 2,780 |

# 消防団員出動手当等調

令和７年４月１日現在

| 区　　分 | 火災 | 風水害 | 警戒、訓練等 |
|---|---|---|---|
| ３時間未満の災害への対応（日額） | 2,000 | 2,000 | 1,000 |
| ３時間以上７時間４５分未満の災害への対応（日額） | 4,000 | 4,000 | 1,000 |
| ７時間４５分以上の災害への対応（日額） | 8,000 | 8,000 | 1,000 |

# 産 業 別 消 防 団 員 調

令和７年４月１日現在

| 産業別 | 農業 | 鉱業 | 建設業 | 林業 | 製造業 | 小売業卸売業 | 金融保険業 | 不動産業 | 運輸業通信業 | 電気・ガス・水道業 | サービス業 | 公務員 | 郵政グループ | 医療福祉 | 学生 | 分類不能 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人員 | 5 | | 48 | | 21 | 18 | 4 | 3 | 14 | 10 | 25 | 9 | 2 | 13 | 8 | | 4 | 184 |

# 消防団員勤続年数調

令和７年４月１日現在

| 勤続年数 | 小計 | 団本部 | 第１分団 | | | | 第２分団 | | | | 第３分団 | | | | | | 第４分団 | | | | 第５分団 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 計 | 第1部 | 第2部 | 第3部 | 計 | 第1部 | 第2部 | 第3部 | 計 | 第1部 | 第2部 | 第3部 | 第4部 | 第5部 | 計 | 第1部 | 第2部 | 第3部 | 計 | 第1部 | 第2部 |
| 1年未満 | 17 | | 1 | | | 1 | | | | | 8 | 1 | 1 | | 3 | 3 | 7 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | |
| １年 | 9 | | 2 | 1 | 1 | | | | | | 5 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 2 | 1 | | 1 | | | |
| ２年 | 11 | | 1 | 1 | | | 3 | 1 | 2 | | 4 | 2 | | 1 | | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | |
| ３年 | 5 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | | 2 | 2 | | | | | 1 | 1 | | | | | |
| ４年 | 6 | | 3 | 1 | | 2 | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | |
| ５年 | 11 | | 3 | 2 | 1 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | | 1 | | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | | |
| ６年 | 8 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 5 | | 1 | | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | | |
| ７年 | 15 | | 4 | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | 3 | | 1 | 1 | | 1 | 5 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | |
| ８年 | 11 | | 1 | | | 1 | 5 | 2 | 3 | | 1 | 1 | | | | | 3 | 1 | 2 | | 1 | | 1 |
| ９年 | 11 | | 3 | 1 | | 2 | 5 | 2 | | 3 | | | | | | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | 1 |
| １０年 | 7 | | 1 | | 1 | | 2 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 1 |
| １１年 | 10 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 2 | 1 | 1 | | | | 1 | | | 1 | 3 | 2 | 1 |
| １２年 | 8 | | 1 | | 1 | | 2 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | | | | 2 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| １３年 | 8 | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | 1 | | | 1 | | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | |
| １４年 | 6 | | | | | | 2 | 2 | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 3 | 2 | 1 |
| １５年 | 4 | | 1 | | 1 | | 1 | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | | | 1 | | 1 |
| １６年 | 7 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | |
| １７年 | 8 | | 1 | | 1 | | 3 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 1 |
| １８年 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| １９年 | 4 | | | | | | 2 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | |
| ２０年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２１年 | 9 | | 2 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 4 | | 2 | | | 2 | 2 | 2 | | | | | |
| ２２年 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２３年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２４年 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| ２５年 | 2 | | | | | | | | | | 2 | | | | 2 | | | | | | | | |
| ２６年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２７年 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２８年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ２９年 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | |
| ３０年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ３１年 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | |
| 合　計 | 184 | 3 | 30 | 10 | 11 | 9 | 35 | 15 | 11 | 9 | 53 | 12 | 13 | 3 | 15 | 10 | 40 | 16 | 11 | 13 | 23 | 14 | 9 |

# 消防団員階級別年齢調

令和７年４月１日現在

| 区分 / 年齢 | 小計 | 団長 | 副団長 | 分団長 | 副分団長 | 部長 | 班長 | 団員 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １８歳 | | | | | | | | |
| １９歳 | 2 | | | | | | | 2 |
| ２０歳 | 2 | | | | | | | 2 |
| ２１歳 | 2 | | | | | | | 2 |
| ２２歳 | 1 | | | | | | | 1 |
| ２３歳 | | | | | | | | |
| ２４歳 | 5 | | | 1 | | | 2 | 2 |
| ２５歳 | 4 | | | | | | 1 | 3 |
| ２６歳 | 3 | | | | | | | 3 |
| ２７歳 | 2 | | | | | | | 2 |
| ２８歳 | 7 | | | | | | 4 | 3 |
| ２９歳 | | | | | | | | |
| ３０歳 | 3 | | | | | | 1 | 2 |
| ３１歳 | 2 | | | | | | 1 | 1 |
| ３２歳 | 10 | | | | | 1 | 3 | 6 |
| ３３歳 | 4 | | | | | | 1 | 3 |
| ３４歳 | 6 | | | | | | 2 | 4 |
| ３５歳 | 10 | | | | | 2 | 3 | 5 |
| ３６歳 | 8 | | | | | 3 | 3 | 2 |
| ３７歳 | 7 | | | | | | 2 | 5 |
| ３８歳 | 8 | | | | | 1 | 1 | 6 |
| ３９歳 | 4 | | | | | | 2 | 2 |
| ４０歳 | 5 | | | | 1 | 2 | 1 | 1 |
| ４１歳 | 4 | | | | | | 1 | 3 |
| ４２歳 | 15 | | | 1 | 3 | 3 | 2 | 6 |
| ４３歳 | 6 | | | 1 | | | 3 | 2 |
| ４４歳 | 7 | | | | | | 3 | 4 |
| ４５歳 | 11 | | | 2 | 1 | | 4 | 4 |
| ４６歳 | 8 | | | | | | 3 | 5 |
| ４７歳 | 8 | | | | | | 3 | 5 |
| ４８歳 | 9 | | | | | 2 | 2 | 5 |
| ４９歳 | 10 | | | | 1 | 1 | 1 | 7 |
| ５０歳 | 3 | | | | | 1 | | 2 |
| ５１歳 | 1 | | | | 1 | | | |
| ５２歳 | 2 | | | | 1 | | | 1 |
| ５３歳 | | | | | | | | |
| ５４歳 | 2 | | | | | | 2 | |
| ５５歳 | 1 | | 1 | | | | | |
| ５６歳 | 1 | | 1 | | | | | |
| ５７歳 | | | | | | | | |
| ５８歳 | | | | | | | | |
| ５９歳 | | | | | | | | |
| ６０歳 | | | | | | | | |
| ６１歳 | | | | | | | | |
| ６２歳 | | | | | | | | |
| ６３歳 | | | | | | | | |
| ６４歳 | | | | | | | | |
| ６５歳 | | | | | | | | |
| ６６歳 | 1 | 1 | | | | | | |
| ６７歳 | | | | | | | | |
| 合計 | 184 | 1 | 2 | 5 | 8 | 16 | 51 | 101 |
| 平均年齢 | 39.0 | | 55.5 | 39.8 | 45.4 | 40.6 | 38.9 | 37.6 |

# 消 防 団 車 両 の 配 置

令和７年４月１日現在

| 区　　分 | 小　　計 | 消防ポンプ自動車<br>（Ａ－２） | 小型動力ポンプ付積載車<br>（Ｂ－３） |
|---|---|---|---|
| 第　１　分　団 | 3 | 1 | 2 |
| 第　２　分　団 | 3 | 1 | 2 |
| 第　３　分　団 | 5 | 4 | 1 |
| 第　４　分　団 | 3 | 1 | 2 |
| 第　５　分　団 | 2 | 1 | 1 |
| 合　　計 | 16 | 8 | 8 |

【消防力の整備指針：令和４年消防施設整備計画実態調査】

| | 消防ポンプ自動車 | 小型動力ポンプ |
|---|---|---|
| 算定数 | ８台 | ８台 |
| 整備数 | ８台 | ８台 |
| 比　率 | 100％ | 100％ |

# 消 防 団 受 持 区 域 表

令和７年４月１日現在

| 分　団　名 | 受　持　区　域 |
|---|---|
| 第　１　分　団 | 明王、入谷西一丁目～五丁目、入谷東一丁目～四丁目 |
| 第　２　分　団 | 座間１丁目・２丁目・座間・座間入谷 |
| 第　３　分　団 | 栗原、立野台一丁目～三丁目、緑ケ丘一丁目、広野台二丁目<br>ひばりが丘一丁目～五丁目、東原一丁目～五丁目、さがみ野一丁目～三丁目<br>南栗原一丁目～六丁目、栗原中央一丁目～六丁目、西栗原一丁目・二丁目 |
| 第　４　分　団 | 緑ケ丘二丁目～六丁目、相武台一丁目～四丁目、広野台一丁目<br>小松原一丁目・二丁目、相模が丘一丁目～六丁目 |
| 第　５　分　団 | 四ツ谷、新田宿 |

# 消 防 団 現 有 車 両 調

令和７年４月１日現在

| 区分<br>分団 | 車種別 | 車　名 | 登録番号 | 登録年月日 | 気筒容積 | ポンプ級 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1分団第1部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　産 | 相模800す3022 | H18.11.7 | 4,770 | Ａ－２ |
| 第1分団第2部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模800す1779 | H17.11.28 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第1分団第3部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模830す103 | H29.12.18 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第2分団第1部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　野 | 相模830た201 | H27.10.20 | 4,000 | Ａ－２ |
| 第2分団第2部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模830せ202 | R1.12.9 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第2分団第3部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模830せ203 | H30.11.26 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第3分団第1部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　野 | 相模830す301 | H24.10.16 | 4,000 | Ａ－２ |
| 第3分団第2部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　野 | 相模830す302 | H26.10.24 | 4,000 | Ａ－２ |
| 第3分団第3部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　野 | 相模800す8372 | H25.10.25 | 4,000 | Ａ－２ |
| 第3分団第4部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　産 | 相模800す579 | H16.12.17 | 4,770 | Ａ－２ |
| 第3分団第5部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模830さ305 | H28.11.10 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第4分団第1部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　野 | 相模800せ7720 | R6.5.17 | 4,000 | Ａ－２ |
| 第4分団第2部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模800す3890 | H19.9.28 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第4分団第3部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模800す4827 | H20.11.10 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |
| 第5分団第1部 | 消 防 ポ ン プ 自 動 車 | 日　野 | 相模800す6386 | H23.3.10 | 4,000 | Ａ－２ |
| 第5分団第2部 | 小型動力ポンプ付積載車 | 日　産 | 相模830さ502 | R2.12.21 | 1,990 | Ｂ－３　トーハツ |

# 消防団資機材保有状況

令和７年４月１日現在

| 資機材<br>消防団 | エンジンカッター | チェーンソー | 削岩機 | 削岩機（手動式） | 油圧救助器具（手動式） | ジャッキ | 発電機投光器 | チェーンブロック | 担 架 | 排水ポンプ | 簡易貯水槽 | ピンチバール | ライフジャケット | ハンマードリル |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第1分団第1部 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 5 | 1 |
| 第1分団第2部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第1分団第3部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第2分団第1部 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 5 | 1 |
| 第2分団第2部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第2分団第3部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第3分団第1部 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 5 | 1 |
| 第3分団第2部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第3分団第3部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第3分団第4部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第3分団第5部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第4分団第1部 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 5 | 1 |
| 第4分団第2部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第4分団第3部 | 2 | 1 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |
| 第5分団第1部 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | 5 | 5 | 1 |
| 第5分団第2部 | 2 | 2 |  | 1 |  | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 |  | 5 | 5 |  |

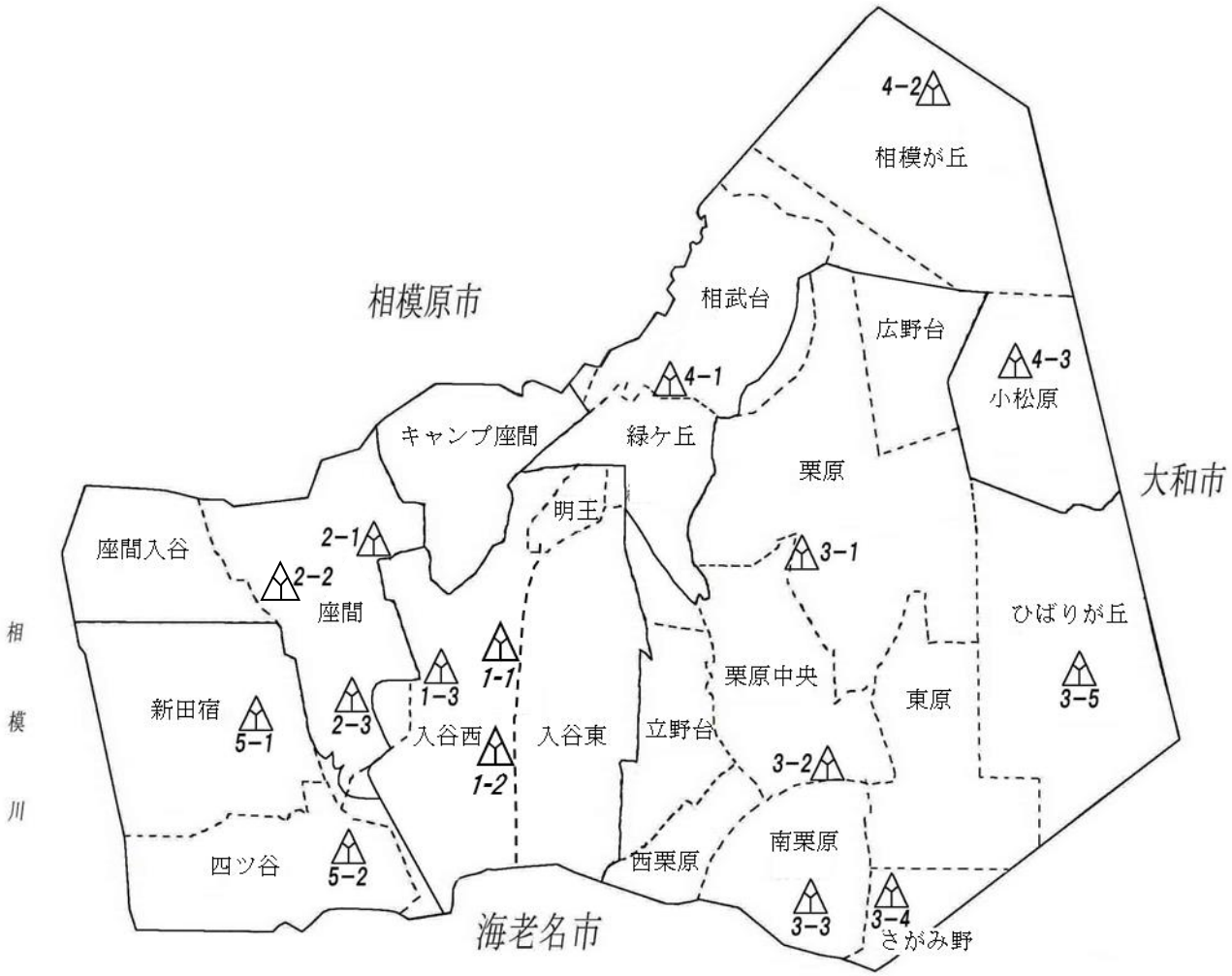
# 消防団器具置場の現況

令和７年４月１日現在

| 区分<br>分団名 | | 施設名 | 所在地 | 構　造 | 便所 | 建築年月 | 敷地面積（㎡） | 建築面積（㎡） | 延べ面積（㎡） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１分団 | 第１部 | 器具置場兼待機室 | 入谷西3-5-7 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | S58.3 | 111.7 | 25.89 | 42.11 |
| | 第２部 | 器具置場兼待機室 | 入谷西3-19-1 | 鉄骨造３Ｆ | 水洗 | H31.2 | 102.06 | 35 | 105 |
| | 第３部 | 器具置場兼待機室 | 入谷西2-46-5 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | S53.3 | 40 | 24.32 | 38.76 |
| 第２分団 | 第１部 | 器具置場 | 座間1-3412-2 | 鉄骨造１Ｆ | なし | S60.3 | 119 | 26.97 | 26.97 |
| | | 待機室 | 座間1-3100-1 | 木造１Ｆ | 水洗 | S53.2 | 90 | 19.83 | 19.83 |
| | 第２部 | 器具置場兼待機室 | 座間2-2391 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | R4.1 | 496.79 | 146.2 | 232 |
| | | 器具置場 | 座間1-2119-1（中河原） | 軽量鉄骨１Ｆ | なし | S55.7 | 33 | 9.72 | 9.72 |
| | 第３部 | 器具置場兼待機室 | 座間2-2858-6 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | S63.2 | 68.68 | 22.15 | 38.11 |
| 第３分団 | 第１部 | 器具置場兼待機室 | 栗原中央1-35-34 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H3.3 | 136 | 35 | 70 |
| | 第２部 | 器具置場兼待機室 | 栗原中央5-6-1 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H4.12 | 89 | 35.4 | 70.4 |
| | | 器具置場 | 西栗原1-4366-2（中原） | 木造１Ｆ | なし | S43.9 | 32 | 4.95 | 4.95 |
| | 第３部 | 器具置場兼待機室 | 南栗原5-4-7 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H4.3 | 195.3 | 35 | 70 |
| | 第４部 | 器具置場兼待機室 | さがみ野1-6-12 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H6.3 | 83.6 | 36.96 | 71.4 |
| | 第５部 | 器具置場兼待機室 | ひばりが丘5-59-12 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H元.3 | 64.04 | 26.49 | 43.56 |
| 第４分団 | 第１部 | 器具置場兼待機室 | 相武台1-37-24 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | S57.1 | 40 | 26.89 | 43.11 |
| | 第２部 | 器具置場兼待機室 | 相模が丘2-31-41 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H8.6 | 76 | 30.8 | 55.3 |
| | 第３部 | 器具置場兼待機室 | 小松原1-17-18 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | S53.3 | 68 | 25.46 | 39.9 |
| 第５分団 | 第１部 | 器具置場兼待機室 | 新田宿442 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | H2.3 | 72 | 26.6 | 47.88 |
| | 第２部 | 器具置場兼待機室 | 四ツ谷770-3 | 鉄骨造２Ｆ | 水洗 | S61.3 | 89 | 25.89 | 42.11 |

# 消 防 団 施 設 配 置 図

| 凡 | 例 |
|---|---|
| △ | 消防団器具置場 |
| ―――― | 受 持 区 域 線 |
| ･････････ | 地 区 境 界 線 |



# 附　属　資　料

座間市総合防災備蓄倉庫

# 防災備蓄倉庫設置一覧

令和７年４月１日現在

| №. | 年度 | 設置場所 | 面積［㎡］ | 構造 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | S60 | 相模が丘小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 2 | S61 | 栗原小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 3 | S61 | 入谷小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 4 | S61 | 西中学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 5 | R５ | 東中学校 | 14.4 | アルミ製平屋建（再設置） |
| 6 | S62 | ひばりが丘小学校① | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 7 | S62 | 相模中学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 8 | S62 | 座間中学校① | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 9 | S63 | 立野台小学校①北側 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 10 | S63 | 座間小学校① | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 11 | H元 | 栗原中学校① | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 12 | H元 | 東原小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 13 | H元 | 相模野小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 14 | H2 | 中原小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 15 | H2 | 旭小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 16 | H2 | 相武台東小学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 17 | H7 | 南中学校 | 15.9 | アルミ製平屋建 |
| 18 | H8 | 座間中学校② | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 19 | H9 | ひばりが丘小学校② | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 20 | H9 | 座間小学校② | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 21 | H9 | ひばりが丘老人憩いの家北側 | 14.4 | アルミ製平屋建（建設業協会より寄贈） |
| 22 | H10 | 入谷小学校　２Ｆ | 64.0 | （余裕教室） |
| 23 | H12 | 県立座間総合高等学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 24 | H12 | 県立相模向陽館高等学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 25 | H12 | 県立座間高等学校 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 26 | H13 | 立野台女性消防隊詰所① | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 27 | H13 | 北分署 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 28 | H13 | 市民球場 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 29 | H14 | かにが沢公園 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 30 | H14 | 東分署 | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 31 | H15 | 東中学校 | 41.0 | （旧用務員住宅） |
| 32 | H15 | 座間立体下① | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 33 | H15 | 座間立体下② | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 34 | H15 | 座間立体下③ | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 35 | H15 | 栗原中学校 | 41.0 | （旧用務員住宅） |
| 36 | H16 | クリーンセンター | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 37 | H16 | 栗原中学校② | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 38 | H16 | 東原小学校　２Ｆ | 31.5 | （余裕教室） |
| 39 | H16 | 旭小学校 | 41.0 | （旧用務員住宅） |
| 40 | H17 | アガペセンター | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 41 | H17 | 新田宿・四ツ谷コミュニティセンター | 14.4 | アルミ製平屋建 |
| 42 | H18 | 立野台女性消防隊詰所② | 30.5 | コンテナ倉庫平屋建（寄贈） |
| 43 | H18 | 立野台コミュニティセンター | 9.6 | アルミ製平屋建 |
| 44 | H18 | 相模が丘コミュニティセンター | 9.6 | アルミ製平屋建 |
| 45 | H19 | 相武台コミュニティセンター | 9.6 | アルミ製平屋建 |
| 46 | H19 | 東地区文化センター | 9.6 | アルミ製平屋建 |
| 47 | H20 | 北地区文化センター | 9.3 | アルミ製平屋建 |
| 48 | H20 | 東原コミュニティセンター | 6.8 | アルミ製平屋建 |
| 49 | H21 | 栗原コミュニティセンター | 13.0 | 耐火構造 |
| 50 | H21 | 小松原コミュニティセンター | 6.8 | アルミ製平屋建 |
| 51 | R5 | 総合防災倉庫敷地内 | 9.3 | アルミ製平屋建（旧サニープレイス座間倉庫） |
| 52 | | 座間立体④ | 2.5 | アルミ製倉庫 |
| 53 | H29 | 芹沢公園管理棟 | 31.5 | 鉄筋コンクリート造 |
| 54 | H30 | 座間市総合防災備蓄倉庫 | 643.5 | 鉄筋コンクリート造 |

# 地震防災応急対策整備状況

各年度中

| 区分＼年度 | | H18以前 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 災害飲料水貯水槽 | | 18 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 18 基 |
| 自主防災組織（共同住宅含む） | | 108 | 5 | 1 | | 4 | 5 | 1 | 2 | 2 | | 3 | 1 | | 20 | － | － | － | | 152 組織 |
| 広域避難場所 | | 22 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 22 箇所 |
| エアーテント | | 6 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 6 基 |
| 食糧備蓄（アルファ米、梅がゆ、調理不要米） | | | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 1,500 | 1,500 | 18,500 | 18,500 | 17,000 | 20,000 | 18,500 | 95,500 食 |
| 備蓄倉庫（余裕教室含） | | 51 | 2 | 2 | 3 | － | 3 | −1 | － | － | −1 | － | 1 | 1 | −7 | － | － | － | － | 54 棟 |
| 移動式炊飯器（組立式煮炊レンジ含） | | 90 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 90 台 |
| 発電機 | | 81 | － | － | － | － | － | － | － | 2 | 2 | － | － | － | － | － | － | － | － | 85 台 |
| 簡易組立トイレ | 和式（S） | 128 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | −6 | 122 台 |
| | 洋式車いす対応　（H、ニード） | 99 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | −3 | 96 台 |
| | 洋式（W、ニード、ベンチャー） | 103 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 12 | −7 | 108 台 |
| | マンホール型 | 3 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 3 台 |
| | マンホール型（貯留） | | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 10 | 10 | 11 | 12 | － | － | － | 43 台 |
| 段ボールトイレ | | 4,200 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 4,200 台 |
| 軽可搬式消防ポンプ | | 58 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | −1 | −3 | － | | −9 | 45 台 |
| 大型暖房機 | | 79 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 79 台 |
| 車いす | | 53 | 4 | 4 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | −8 | － | 1 台 |
| 真空パック毛布 | | 13,600 | 600 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 100 | － | － | － | － | － | － | 14,300 枚 |

# 災害用飲料水貯水槽

令和７年４月１日現在

| No. | 設置場所 | 貯水量 | 緊急遮断弁 | 形　式 | 設置年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 座間谷戸山公園 | 40㎥ | ○ | 地下式 | S55 |
| 2 | 座間谷戸山公園 | 40㎥ | ○ | 地下式 | S56 |
| 3 | 東原小学校 | 40㎥ | ○ | 地下式 | S57 |
| 4 | 座間小学校 | 40㎥ | ○ | 地下式 | S58 |
| 5 | 相模中学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | S59 |
| 6 | 入谷小学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | S60 |
| 7 | 相模野小学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | S61 |
| 8 | 東中学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | S62 |
| 9 | 栗原中学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | S63 |
| 10 | 南中学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | H元 |
| 11 | 相模が丘小学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | H 2 |
| 12 | 立野台小学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | H 3 |
| 13 | 座間中学校 | 60㎥ | ○ | 地下式 | H 7 |
| 14 | 栗原小学校 | 60㎥ | ○ | 地下式 | H 7 |
| 15 | 旭小学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | H 8 |
| 16 | 西中学校 | 50㎥ | ○ | 地下式 | H 8 |
| 17 | ひばりが丘小学校 | 60㎥ | ○ | 地下式 | H 9 |
| 18 | 相武台東小学校 | 60㎥ | ○ | 地下式 | H13 |

# 生活用水施設（プール）

令和７年４月１日現在

| No. | プール名 | 所　在　地 | 面　積 | 施設の内容 | 容量 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 東原プール | 東原3-3-14 | 1,530㎡ | 鋼板 25m×15m<br>水深 1.1～1.3m | 450㎥ |
| 2 | ひばりが丘プール | ひばりが丘4-4-3 | 1,838㎡ | 鋼板 25m×15m<br>水深 0.9～1.2m | 395㎥ |
| 3 | 相武台プール | 相武台4-2-13 | 1,607㎡ | アルミ 25m×15m<br>水深 0.9～1.2m | 395㎥ |
| 4 | 相模が丘プール | 相模が丘2-1-9 | 2,541㎡ | ＦＲＰ 25m×15m<br>水深 0.9～1.2m | 395㎥ |
| 5 | 入谷プール | 入谷西5-43-1 | 1,982㎡ | アルミ 25m×15m<br>水深 1.0～1.2m | 412㎥ |
| 6 | 旭プール | ひばりが丘5-28-5 | 2,500㎡ | アルミ 25m×15m<br>水深 1.0～1.2m | 412㎥ |
| 7 | 中原プール | 西栗原2-14-1 | 2,000㎡ | アルミ 25m×15m<br>水深 1.0～1.2m | 412㎥ |
| 8 | 座間公園プール | 座間1-3671 | 1,471㎡ | FRP 25m×15m<br>水深 1.0～1.2m | 395㎥ |
| 9 | 立野台プール | 立野台1-1-2 | 1,474㎡ | ｽﾃﾝﾚｽ 25m×15m<br>水深 1.0～1.2m | 395㎥ |

# 広　域　避　難　場　所

令和７年４月１日現在

| No. | 避　難　場　所 | 所　在　地 | 収容可能人員（人） | 総面積（㎡） |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 座間小学校 | 座間2-3133 | 3,009 | 6,018 |
| 2 | 栗原小学校 | 栗原中央6-8-1 | 4,707 | 9,415 |
| 3 | 相模野小学校 | 広野台1-41-1 | 4,447 | 8,895 |
| 4 | 相武台東小学校 | 栗原1302 | 4,612 | 9,224 |
| 5 | 東原小学校 | 東原2-6-1 | 6,419 | 12,839 |
| 6 | 相模が丘小学校 | 相模が丘3-1-1 | 3,389 | 6,779 |
| 7 | 立野台小学校 | 立野台1-1-3 | 4,112 | 8,225 |
| 8 | 入谷小学校 | 入谷西5-8-1 | 4,404 | 8,808 |
| 9 | 東中学校 | ひばりが丘5-57-1 | 13,704 | 27,408 |
| | ひばりが丘小学校 | ひばりが丘4-4-1 | | |
| 10 | 座間中学校 | 緑ケ丘4-6-10 | 11,023 | 22,047 |
| 11 | 西中学校 | 座間2-1230 | 6,740 | 13,480 |
| 12 | 栗原中学校 | 栗原中央6-4-1 | 5,219 | 10,438 |
| 13 | 相模中学校 | 相模が丘6-35-1 | 6,088 | 12,177 |
| 14 | 南中学校 | 南栗原3-8-1 | 4,096 | 8,193 |
| 15 | 県立座間高等学校 | 入谷西5-11-1 | 12,600 | 25,200 |
| 16 | 県立座間総合高等学校 | 栗原2487 | 9,061 | 18,122 |
| 17 | 県立相模向陽館高等学校 | ひばりが丘3-58-1 | 6,980 | 13,960 |
| 18 | 芹沢公園（一部） | 栗原2593-1 | 15,000 | 30,000 |
| 19 | 相模カンツリークラブゴルフ場 | 大和市中央林間西7-1-1 | 179,200 | 575,446 |
| 20 | 座間市民球場 | 相模が丘6-36-24 | 8,198 | 16,397 |
| 21 | 富士山公園 | 入谷西1-12 | 3,500 | 7,000 |
| 22 | 県立座間谷戸山公園（一部） | 入谷東1-6-1 | 7,500 | 15,000 |
| | | 合　　計 | 324,008 | 865,071 |

# 防災行政無線設備（固定系）

令和７年４月１日現在

| No. | 区　分 | 設置場所名称 | 設置場所住所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 親　局 | 座間市役所（防災指令室） | 緑ケ丘1-1-1 | |
| 1 | 遠隔制御装置 | 座間市消防本部 | 相武台1-48-1 | |
| 1 | 子　局 | 新田宿グランド | 新田宿2178 | 15m柱 |
| 2 | 子　局 | 西中学校 | 座間2-1230 | 20m柱 |
| 3 | 子　局 | 座間１丁目中宿不動尊 | 座間1-3100 | 20m柱 |
| 4 | 子　局 | 座間小学校 | 座間2-3133 | 15m柱 |
| 5 | 子　局 | 県立座間高等学校東側 | 入谷西5-11-1付近 | 15m柱 |
| 6 | 子　局 | 星の谷公園 | 入谷西3-28 | 15m柱 |
| 7 | 子　局 | 座間児童館 | 入谷東4-44-3 | 15m柱 |
| 8 | 子　局 | 入谷老人憩いの家 | 入谷東3-34-16 | 15m柱 |
| 9 | 子　局 | 緑ケ丘保育園南側 | 緑ケ丘6-3付近 | 15m柱 |
| 10 | 子　局 | 座間中学校 | 緑ケ丘4-6-10 | 15m柱 |
| 11 | 子　局 | 立野台小学校 | 立野台1-1-3 | 15m柱 |
| 12 | 子　局 | 立野台公園 | 立野台3-21 | 15m柱 |
| 13 | 子　局 | 道路応急復旧用備蓄資材置場 | 立野台1-4525-10先 | 15m柱 |
| 14 | 子　局 | 北向庚申堂西側 | 栗原中央1-33 | 15m柱 |
| 15 | 子　局 | 栗原小学校 | 栗原中央6-8-1 | 15m柱 |
| 16 | 子　局 | 南中学校 | 南栗原3-8-1 | 屋上取付 |
| 17 | 子　局 | 市営栗原住宅 | 南栗原4-12 | 15m柱 |
| 18 | 子　局 | 東原保育園 | 東原4-12-18 | 15m柱 |
| 19 | 子　局 | ひばりが丘保育園 | ひばりが丘2-58-1 | 15m柱 |
| 20 | 子　局 | ひばりが丘小学校 | ひばりが丘4-4-1 | 屋上取付 |
| 21 | 子　局 | ひばりが丘老人憩いの家 | ひばりが丘1-41-6 | 20m柱 |
| 22 | 子　局 | 小松原保育園 | 小松原1-29-8 | 15m柱 |
| 23 | 子　局 | 相模が丘６－２子ども広場 | 相模が丘6-32 | 15m柱 |
| 24 | 子　局 | 北地区文化センター | 相模が丘5-30-4 | 15m柱 |
| 25 | 子　局 | 相模が丘２丁目なかよし小道 | 相模が丘2-330付近 | 15m柱 |
| 26 | 子　局 | 相模が丘小学校 | 相模が丘3-1-1 | 屋上取付 |
| 27 | 子　局 | 相武台コミュニティセンター | 相武台3-20-18 | 15m柱 |
| 28 | 子　局 | 相武台老人憩いの家 | 相武台4-5-24 | 15m柱 |
| 29 | 子　局 | 東原小学校 | 東原2-6-1 | 屋上取付 |
| 30 | 子　局 | ふたば住宅集会所 | 南栗原6-12-18 | 15m柱 |
| 31 | 子　局 | 中原小学校 | 西栗原2-16-1 | 屋上取付 |
| 32 | 子　局 | 相武台坂道公園 | 相武台1-4 | 20m柱 |
| 33 | 子　局 | 皆原公民館 | 入谷西4-3-8 | 15m柱 |
| 34 | 子　局 | ひばりが丘３－３子ども広場 | ひばりが丘3-703-10 | 15m柱 |
| 35 | 子　局 | 相模野小学校 | 広野台1-41-1 | 屋上取付 |
| 36 | 子　局 | 座間市役所 | 緑ケ丘1-1-1 | 屋上取付 |
| 37 | 子　局 | 新田宿・四ツ谷コミュニティセンター | 四ツ谷1026 | 15m柱 |
| 38 | 子　局 | 河内公民館 | 座間2-819-3 | 15m柱 |
| 39 | 子　局 | 榎戸橋跡 | 入谷西5-33 | 15m柱 |
| 40 | 子　局 | 天台線ポケットパーク　アベリア | 入谷東2-28-14付近 | 15m柱 |
| 41 | 子　局 | 立野台東公園 | 立野台2-10 | 15m柱 |
| 42 | 子　局 | 芹沢公園 | 栗原2890-1 | 15m柱 |
| 43 | 子　局 | 栗原老人憩いの家 | 栗原中央5-8-1 | 15m柱 |
| 44 | 子　局 | 東原第３公園 | 東原4-21 | 15m柱 |
| 45 | 子　局 | 旭小学校 | ひばりが丘5-43-1 | 屋上取付 |
| 46 | 子　局 | 小松原新開公園 | 小松原2-44 | 15m柱 |
| 47 | 子　局 | 市民球場 | 相模が丘6-36 | 15m柱 |
| 48 | 子　局 | 相模が丘東保育園 | 相模が丘5-12-36 | 15m柱 |
| 49 | 子　局 | 相武台東小学校 | 栗原1302 | 屋上取付 |
| 50 | 子　局 | 下小池橋 | 栗原1759 | 15m柱 |

※　NO.1～32 は、平成 10 年 4 月 1 日開局　　※　NO.33～35 は、平成 18 年 4 月 1 日開局

※　NO.36～50 は、平成 27 年 12 月 15 日開局

# デジタルMCA無線設置場所

令和７年４月１日現在

| No. | 区分 | 設置場所 | 所在地 | 種別 | 無線局 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 災害対策本部統制 | 危機管理課事務所 | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 2 | 情報収集統制 | ３－２会議室 | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 2 |
| 3 | 情報収集用 | 危機管理課事務所（移動用） | 緑ケ丘1-1-1 | ポータブル型 | 3 |
| 4 | 特命班用 | 危機管理課事務所（移動用） | 緑ケ丘1-1-1 | ポータブル型 | 2 |
| 5 | 都市部統制 | 都市部事務所 | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 6 | 情報収集用 | 都市部事務所（車載用） | 緑ケ丘1-1-1 | ポータブル型 | 4 |
| 7 | 上下水道局統制 | 上下水道局事務所 | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 8 | 情報収集用 | 上下水道局事務所（車載用） | 緑ケ丘1-1-1 | ポータブル型 | 4 |
| 9 | 水道施設 | 配水管理所 | 四ツ谷1018 | 半固定型 | 1 |
| 10 | 市民協働課統制 | 市民協働課事務所 | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 11 | 避難所 | 立野台コミュニティセンター | 立野台1-1-4 | 半固定型 | 1 |
| 12 | 避難所 | 新田宿・四ツ谷コミュニティセンター | 四ツ谷1026 | 半固定型 | 1 |
| 13 | 避難所 | 小松原コミュニティセンター | 小松原1-45-14 | 半固定型 | 1 |
| 14 | 避難所 | 東原コミュニティセンター | 東原4-13-13 | 半固定型 | 1 |
| 15 | 避難所 | 相模が丘コミュニティセンター | 相模が丘3-38-1 | 半固定型 | 1 |
| 16 | 避難所 | 相武台コミュニティセンター | 相武台3-20-18 | 半固定型 | 1 |
| 17 | 避難所 | ひばりが丘コミュニティセンター | ひばりが丘1-49-1 | 半固定型 | 1 |
| 18 | 避難所 | 栗原コミュニティセンター | 栗原中央3-29-17 | 半固定型 | 1 |
| 19 | 生涯学習課統制 | 教育部生涯学習課事務所（生涯学習課統制） | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 20 | 二次避難所 | 座間市公民館 | 入谷西2-53-34 | 半固定型 | 1 |
| 21 | 二次避難所 | 北地区文化センター | 相模が丘5-30-4 | 半固定型 | 1 |
| 22 | 二次避難所 | 東地区文化センター | 東原3-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 23 | 二次避難所 | 青少年センター | 立野台1-1-4 | 半固定型 | 1 |
| 24 | 二次避難所 | もくせい園 | 栗原中央6-7-27 | 半固定型 | 1 |
| 25 | 二次避難所 | 通園センター | 東原2-8-1 | 半固定型 | 1 |
| 26 | 防災拠点施設 | 市民体育館 | 相武台1-5971 | 半固定型 | 1 |
| 27 | 教育総務課統制 | 教育部教育総務課事務所 | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 28 | 避難所 | 座間小学校 | 座間2-3133 | 半固定型 | 1 |
| 29 | 避難所 | 栗原小学校 | 栗原中央6-8-1 | 半固定型 | 1 |
| 30 | 避難所 | 相武台東小学校 | 栗原1302 | 半固定型 | 1 |
| 31 | 避難所 | 相模野小学校 | 広野台1-41-1 | 半固定型 | 1 |
| 32 | 避難所 | ひばりが丘小学校 | ひばりが丘4-4-1 | 半固定型 | 1 |
| 33 | 避難所 | 東原小学校 | 東原2-6-1 | 半固定型 | 1 |
| 34 | 避難所 | 相模が丘小学校 | 相模が丘3-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 35 | 避難所 | 立野台小学校 | 立野台1-1-3 | 半固定型 | 1 |
| 36 | 避難所 | 入谷小学校 | 入谷西5-8-1 | 半固定型 | 1 |
| 37 | 避難所 | 旭小学校 | ひばりが丘5-43-1 | 半固定型 | 1 |
| 38 | 避難所 | 中原小学校 | 西栗原2-16-1 | 半固定型 | 1 |
| 39 | 避難所 | 座間中学校 | 緑ケ丘4-6-10 | 半固定型 | 1 |
| 40 | 避難所 | 西中学校 | 座間2-1230 | 半固定型 | 1 |
| 41 | 避難所 | 東中学校 | ひばりが丘5-57-1 | 半固定型 | 1 |
| 42 | 避難所 | 栗原中学校 | 栗原中央6-4-1 | 半固定型 | 1 |
| 43 | 避難所 | 相模中学校 | 相模が丘6-35-1 | 半固定型 | 1 |
| 44 | 避難所 | 南中学校 | 南栗原3-8-1 | 半固定型 | 1 |
| 45 | 避難所 | 県立座間高等学校 | 入谷西5-50-23 | 半固定型 | 1 |
| 46 | 避難所 | 県立座間総合高等学校 | 栗原2487 | 半固定型 | 1 |
| 47 | 避難所 | 県立相模向陽館高等学校 | ひばりが丘3-58-1 | 半固定型 | 1 |
| 48 | 福祉部統制 | 福祉部事務所（災対福祉部統制） | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 49 | 社会福祉施設 | 社会福祉法人アガペセンター | 小松原2-10-14 | 半固定型 | 1 |
| 50 | 社会福祉施設 | 社会福祉法人慈恵会（座間苑） | 新田宿151 | 半固定型 | 1 |
| 51 | 社会福祉施設 | 社会福祉法人敬心会（栗原ホーム） | 栗原中央6-1-18 | 半固定型 | 1 |
| 52 | 社会福祉施設 | 社会福祉法人三栄会（ベルホーム） | 栗原1261-1 | 半固定型 | 1 |
| 53 | 社会福祉施設 | 座間市社会福祉協議会（ボランティアセンター） | 緑ケ丘1-2-1 | 半固定型 | 1 |
| 54 | 社会福祉施設 | 社会福祉法人互恵会（サライ） | 小松原1-17-15 | 半固定型 | 1 |
| 55 | 社会福祉施設 | 社会福祉法人ユーアイ２１（太陽の家座間） | 座間2-861-1 | 半固定型 | 1 |
| 56 | 社会福祉施設 | 社会福祉慈恵会（第２座間苑） | 新田宿623 | 半固定型 | 1 |
| 57 | 情報収集用 | 消防本部（消防総務課） | 相武台1-48-1 | 携帯型 | 1 |
| 58 | 消防本部統制 | 消防署本署(通信指令室) | 相武台1-48-1 | 半固定型 | 1 |
| 59 | 情報収集用 | 消防署東分署 | 東原2-7-11 | 携帯型 | 1 |
| 60 | 情報収集用 | 消防署北分署 | 相模が丘4-2-48 | 携帯型 | 1 |
| 61 | 医療施設 | 医療法人興生会相模台病院 | 相模が丘6-24-28 | 半固定型 | 1 |
| 62 | 医療施設 | 医療法人社団昌栄会相武台病院 | 相武台1-9-7 | 半固定型 | 1 |
| 63 | 医療施設 | 社会医療法人座間総合病院 | 相武台1-50-1 | 半固定型 | 1 |
| 64 | 防災関係機関 | 座間警察署（警備課） | 入谷西5-50-23 | 半固定型 | 1 |
| 65 | 防災関係機関 | 陸上自衛隊第４施設群（第３科） | 座間無番地陸上自衛隊座間駐屯地 | 半固定型 | 1 |
| 66 | 情報収集用 | 帰宅困難対策用（相武台前駅） | 緑ケ丘1-1-1 | ポータブル型 | 1 |
| 67 | 健康部統制 | 座間市健康部事務所（災対健康部統制） | 緑ケ丘1-1-1 | 半固定型 | 1 |
| 68 | 二次避難所 | 座間支援学校 | 入谷西5-10-1 | ポータブル型 | 1 |
| 合計 | | | | | 78 |

# 消　防　力　の 整　備　指　針

消防力の整備指針は、市町村が近年における消防を取り巻く環境の変化等に的確に対応し、火災の予防、警戒及び鎮圧、救急業務、人命救助、災害応急対策、その他の消防に関する責任を十分に果たすために必要な最小限度の施設及び人員を定める基準として制定されている指針となります。

１　署所

出火建築物１棟を独立火災で消火するために、出動から現場到着までの時間の４．５分を「走行限界時間」、現場到着からの放水開始までの所要時間２分を「放水準備時間」として、出動から６．５分で放水を開始できる面積を「署所担当面積」として算出しています。

【消防力の整備指針：令和４年度消防施設整備計画実態調査】

| 施設等 | 算定数 | 整備数 | 比率 |
|---|---|---|---|
| 署　所 | 4 署所 | 3 署所 | 75% |

２　車両

人口及び地域実情を勘案した台数により算出しています。

⑴　常備消防

【消防力の整備指針：令和４年度消防施設整備計画実態調査】

| | ポンプ車 | はしご車 | 化学車 | 救助工作車 | 指揮車 | 救急車 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 算定数 | 5 台 | 2 台 | 1 台 | 1 台 | 1 台 | 4 台 |
| 整備数 | 4 台 | 2 台 | 1 台 | 1 台 | 1 台 | 4 台 |
| 比　率 | 80% | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% |

⑵　非常備消防

【消防力の整備指針：令和４年消防施設整備計画実態調査】

| | 消防ポンプ自動車 | 小型動力ポンプ |
|---|---|---|
| 算定数 | 8 台 | 8 台 |
| 整備数 | 8 台 | 8 台 |
| 比　率 | 100% | 100% |

# 消　防　水　利　の 基　準

水利とは、消火栓、防火水槽、プール、河川、池などで、消防水利の基準は、市町村の消防機関が消防活動をするために必要とする水利について定めており、地図上で市内の市街地及び近隣商業地域等を一定の間隔でメッシュ状に区分けした総数を基準数とし、一定の能力を満たした消防水利が含まれる場合を充足数としています。

１　消防水利の数

| | 消火栓 | 公　設<br>防火水槽 | 私　設<br>防火水槽 | その他<br>の水利 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 総　数 | 1,022 | 200 | 230 | 18 | 1,470 |
| 一定の基準を<br>満たした水利 | 891 | 193 | 227 | 18 | 1,329 |

２　消防水利の充足率

【消防力の整備指針：令和４年度消防施設整備計画実態調査】

| 基準数 | 充足数<br>（実充足数） | 不足数<br>（実不足数） | 充足率％<br>（実充足率％） |
|---|---|---|---|
| 562 | 562<br>（601） | 0<br>（－39） | 100<br>（106.93） |

令　和　６　年　版

# 座　間　市　消　防　年　報

令和７年１０月発行
編集発行　　座間市消防本部　消防総務課消防総務係

〒２５２－００１１　神奈川県座間市相武台一丁目４８番１号
電　話　０４６－２５６－２２１１
ＦＡＸ　０４６－２５６－２２１５